

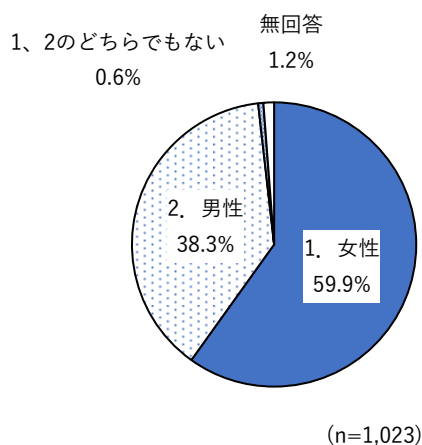
Ⅱ 市民意識調査の結果

Ⅱ 市民意識調査の結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

【図F1 性別】

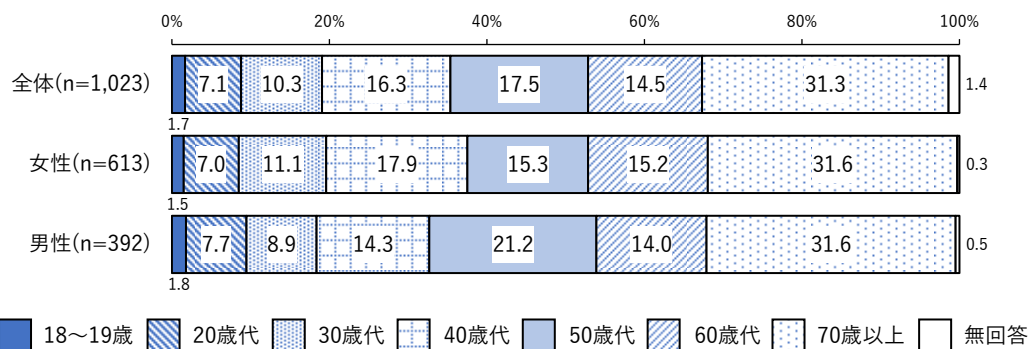


※「1, 2のどちらでもない」は分析に必要なサンプル数が得られなかったため、以降の性別グラフには掲載していません。

回答者の性別は、「1. 女性」が 59.9%、「2. 男性」が 38.3%、「1, 2のどちらでもない」が 0.6%となっており、女性が6割を占めている。

(2) 年齢

【図F2 年齢】



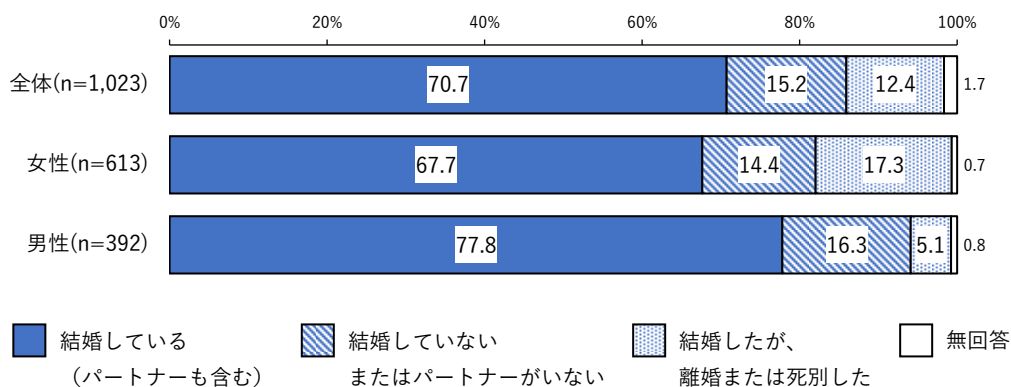
回答者の年齢は、「70歳以上」が 31.3%で最も高く、次いで「50歳代」が 17.5%、「40歳代」が 16.3%、「60歳代」が 14.5%、「30歳代」が 10.3%、「20歳代」が 7.1%となっている。

性別にみると、男女ともに「70歳以上」が最も高く、女性・男性ともに 31.6%となっている。次いで、女性は「40歳代」が 17.9%、男性は「50歳代」が 21.2%となっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

(3) 配偶関係

【図F3 配偶関係】

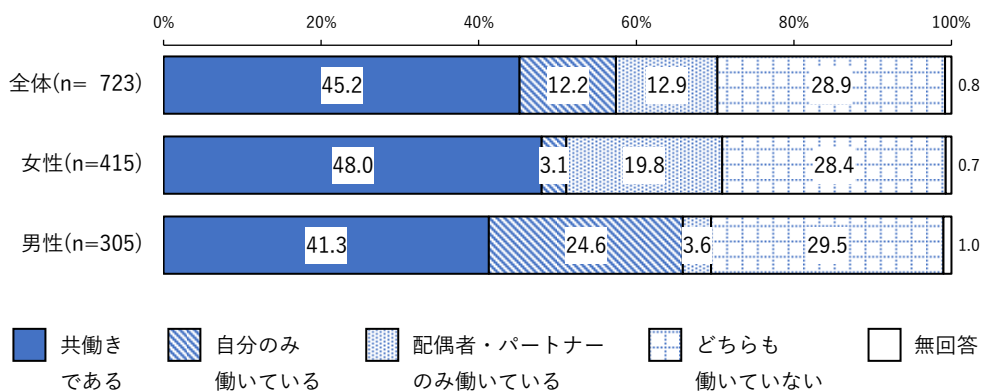


回答者の配偶関係は、「結婚している(パートナーも含む)」が 70.7%で最も高く、次いで「結婚していないまたはパートナーがいない」が 15.2%、「結婚したが、離婚または死別した」が 12.4%となっている。

性別にみると、「結婚している(パートナーも含む)」が女性で 67.7%、男性で 77.8%となっており、男性の方が 10.1 ポイント高くなっている。「結婚していないまたはパートナーがいない」は男女ともに1割台で、「結婚したが、離婚または死別した」は女性で 17.3%、男性で 5.1%となっている。

(4) 就業状態

【図F4 就業状態】

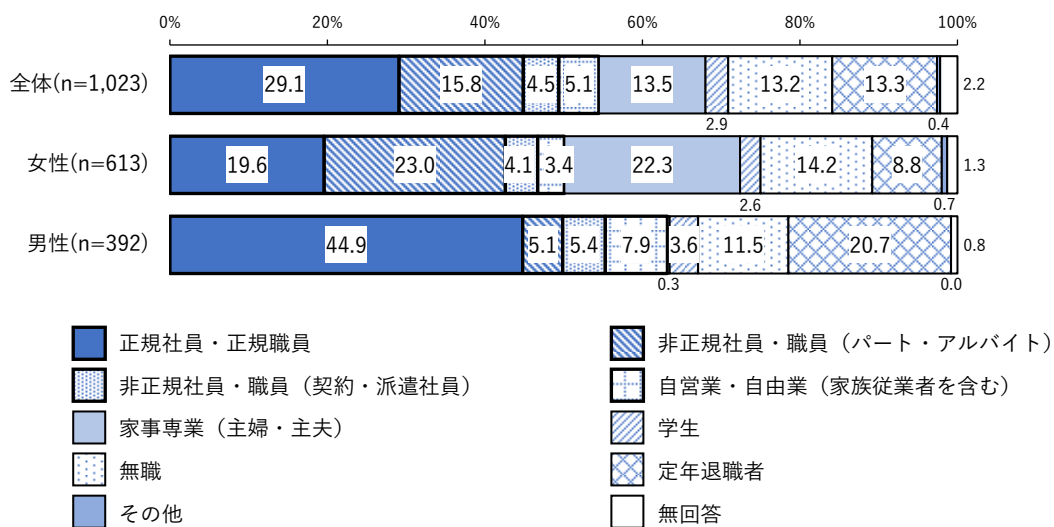


回答者の就業状態は、「共働きである」が 45.2%で最も高く、次いで「どちらも働いていない」が 28.9%、「配偶者・パートナーのみ働いている」が 12.9%、「自分のみ働いている」が 12.2%となっている。

性別にみると、男女ともに「共働きである」が最も高く、女性で 48.0%、男性で 41.3%となっている。次いで、女性は「どちらも働いていない」が 28.4%、「配偶者・パートナーのみ働いている」が 19.8%となっており、男性は「どちらも働いていない」が 29.5%、「自分のみ働いている」が 24.6%となっている。

(5) 職業

【図F5 職業】



回答者の職業は、「正規社員・正規職員」が 29.1%で最も高く、次いで「非正規社員・職員(パート・アルバイト)」が 15.8%、「家事専業(主婦・主夫)」が 13.5%、「定年退職者」が 13.3%、「無職」が 13.2%となっている。

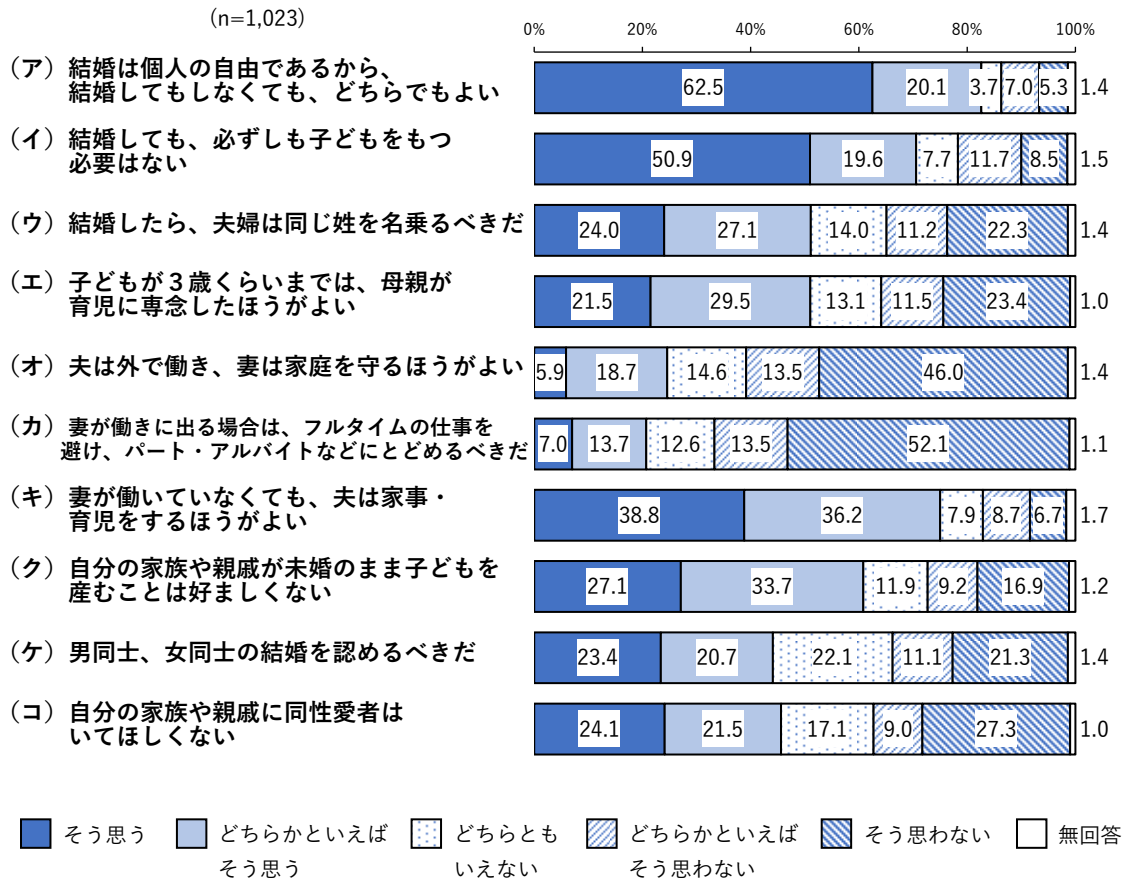
性別にみると、女性は、「非正規社員・職員(パート・アルバイト)」(23.0%)、「家事専業(主婦・主夫)」(22.3%)、「正規社員・正規職員」(19.6%)がいずれも約2割となっている。男性は、「正規社員・正規職員」が 44.9%で最も高く、次いで「定年退職者」が 20.7%、「無職」が 11.5%となっている。

2. 男女平等について

(1) 結婚や家族に関する考え方

問1 あなたは、次の(ア)～(コ)のような意見や考え方について、どう思いますか。(各項目に○は1つ)

【図1-1 結婚や家族に関する考え方】



(ア) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくても、どちらでもよい

『そう思う』(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)が 82.6%、『そう思わない』(「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計)が 12.3%、「どちらともいえない」が 3.7%となっている。

性別にみると、『そう思う』は、女性で 85.2%、男性で 78.8%と、女性の方がやや高くなっている。『そう思わない』は、女性で 10.1%、男性で 16.1%となっている。

(イ) 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

『そう思う』が 70.5%、『そう思わない』が 20.2%、「どちらともいえない」が 7.7%となっている。

性別にみると、『そう思う』は、女性で 73.4%、男性で 66.4%と、女性の方が高く、女性は「そう思う」が 53.8%と5割を超えている。『そう思わない』は、女性で 17.0%、男性で 25.5%となっている。

(ウ) 結婚したら、夫婦は同じ姓を名乗るべきだ

『そう思う』が 51.1%、『そう思わない』が 33.5%、「どちらともいえない」が 14.0%となっている。

性別にみると、『そう思う』は、女性で 48.4%、男性で 55.7%と、男性の方が高く5割を超えている。『そう思わ

ない』は、女性で 34.8%、男性で 31.4%となっている。

(エ) 子どもが3歳くらいまでは、母親が育児に専念したほうがよい

『そう思う』が 51.0%、『そう思わない』が 34.9%、「どちらともいえない」が 13.1%となっている。

性別にみると、『そう思う』は、女性で 49.0%、男性で 54.3%と、男性の方がやや高く5割を超えている。『そう思わない』は、女性で 37.0%、男性で 31.9%となっている。

(オ) 夫は外で働き、妻は家庭を守るほうがよい

『そう思う』が 24.6%、『そう思わない』が 59.5%、「どちらともいえない」が 14.6%となっている。

性別にみると、『そう思う』は、女性で 22.7%、男性で 27.3%、『そう思わない』は、女性で 62.2%、男性で 56.2%となっており、女性は「そう思わない」が約5割を占めている。

(カ) 妻が働きに出る場合は、フルタイムの仕事を避け、パート・アルバイトなどにとどめるべきだ

『そう思う』が 20.7%、『そう思わない』が 65.6%、「どちらともいえない」が 12.6%となっている。

性別にみると、『そう思う』は、女性で 20.9%、男性で 20.4%、『そう思わない』は、女性で 65.6%、男性で 66.1%となっており、男女で大きな違いはみられない。

(キ) 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするほうがよい

『そう思う』が 75.0%、『そう思わない』が 15.4%、「どちらともいえない」が 7.9%となっている。

性別にみると、『そう思う』は、女性で 79.1%、男性で 69.7%と女性の方が高く、「そう思う」は女性が 12.6 ポイント高くなっている。『そう思わない』は、女性で 13.6%、男性で 18.4%と男性の方が高くなっている。

(ク) 自分の家族や親戚が未婚のまま子どもを産むことは好ましくない

『そう思う』が 60.8%、『そう思わない』が 26.1%、「どちらともいえない」が 11.9%となっている。

性別にみると、『そう思う』は、女性で 57.6%、男性で 66.1%と男性の方が高く、『そう思わない』は、女性で 28.6%、男性で 22.5%と女性の方が高くなっている。

(ケ) 男同士、女同士の結婚を認めるべきだ

『そう思う』が 44.1%、『そう思わない』が 32.4%、「どちらともいえない」が 22.1%となっている。

性別にみると、『そう思う』は、女性で 49.4%、男性で 35.8%と女性の方が 13.6 ポイント高く、『そう思わない』は、女性で 24.9%、男性で 44.2%と女性の方が 19.3 ポイント低くなっている。男女ともに「どちらともいえない」が2割前後を占めている。

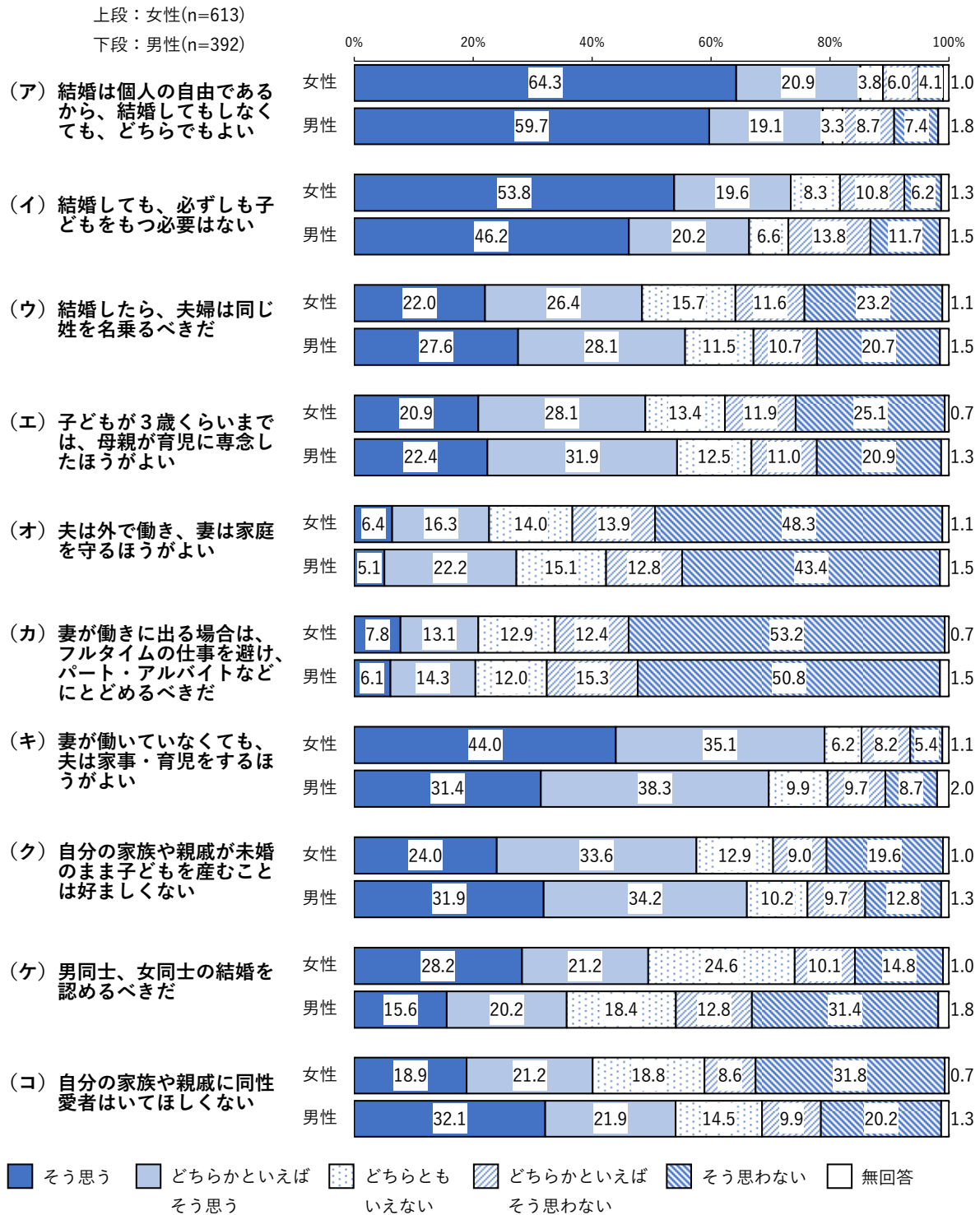
(コ) 自分の家族や親戚に同性愛者はいてほしくない

『そう思う』が 45.6%、『そう思わない』が 36.3%、「どちらともいえない」が 17.1%となっている。

性別にみると、『そう思う』は、女性で 40.1%、男性で 54.0%と男性の方が 13.9 ポイント高く、『そう思わない』は、女性で 40.4%、男性で 30.1%と女性の方が 10.3 ポイント高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【図1-2 性別 結婚や家族に関する考え方】



【表1-1 年代別 (ア) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくても、どちらでもよい】

	女性							男性						
	回答者数 (n)	そう思う	どちらか かといえ ば	どちら ともい えない	ど ちらか といえ ば	ど ちらか といえ ば	無 回 答	回答者数 (n)	そう 思う	ど ちらか といえ ば	ど ちら ともい えない	ど ちらか といえ ば	ど ちらか といえ ば	無 回 答
全体	613	64.3%	20.9%	3.8%	6.0%	4.1%	1.0%	392	59.7%	19.1%	3.3%	8.7%	7.4%	1.8%
10・20歳代	116	87.9%	11.2%	-	-	-	0.9%	67	79.1%	13.4%	4.5%	1.5%	1.5%	-
30歳代	68	76.5%	17.6%	-	2.9%	1.5%	1.5%	35	91.4%	8.6%	-	-	-	-
40歳代	110	69.1%	25.5%	0.9%	3.6%	0.9%	-	56	58.9%	23.2%	1.8%	10.7%	5.4%	-
50歳代	94	73.4%	19.1%	-	4.3%	2.1%	1.1%	83	63.9%	24.1%	1.2%	4.8%	4.8%	1.2%
60歳代	93	61.3%	19.4%	4.3%	7.5%	7.5%	-	55	40.0%	29.1%	7.3%	10.9%	10.9%	1.8%
70歳以上	194	47.4%	24.2%	9.3%	10.3%	6.7%	2.1%	124	50.0%	16.9%	4.0%	13.7%	11.3%	4.0%

年代別にみると、女性では『そう思う』は年代が下がるほど概ね割合が高くなる傾向で、50歳代以下はいずれも9割を超えている。男性では『そう思う』は30歳代で最も高く100.0%となっている。

【表1-2 年代別 (イ) 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない】

	女性							男性						
	回答者数 (n)	そう 思う	ど ちらか といえ ば	ど ちら ともい えない	ど ちらか といえ ば	ど ちらか といえ ば	無 回 答	回答者数 (n)	そう 思う	ど ちらか といえ ば	ど ちら ともい えない	ど ちらか といえ ば	ど ちらか といえ ば	無 回 答
全体	613	53.8%	19.6%	8.3%	10.8%	6.2%	1.3%	392	46.2%	20.2%	6.6%	13.8%	11.7%	1.5%
10・20歳代	116	82.8%	13.8%	0.9%	1.7%	-	0.9%	67	77.6%	16.4%	3.0%	1.5%	1.5%	-
30歳代	68	80.9%	14.7%	-	2.9%	-	1.5%	35	74.3%	20.0%	-	2.9%	2.9%	-
40歳代	110	58.2%	29.1%	3.6%	8.2%	0.9%	-	56	50.0%	21.4%	5.4%	16.1%	7.1%	-
50歳代	94	66.0%	18.1%	5.3%	8.5%	1.1%	1.1%	83	49.4%	20.5%	8.4%	13.3%	7.2%	1.2%
60歳代	93	47.3%	20.4%	14.0%	12.9%	5.4%	-	55	36.4%	21.8%	5.5%	18.2%	16.4%	1.8%
70歳以上	194	30.4%	19.1%	13.9%	17.5%	16.0%	3.1%	124	29.0%	21.0%	9.7%	17.7%	19.4%	3.2%

年代別にみると、男女とも年代が下がるほど『そう思う』の割合が概ね高くなる傾向にあり、30歳代以下は「そう思う」が女性で8割、男性で7割を超えている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表1-3 年代別 (ウ) 結婚したら、夫婦は同じ姓を名乗るべきだ】

	女性							男性						
	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	613	22.0%	26.4%	15.7%	11.6%	23.2%	1.1%	392	27.6%	28.1%	11.5%	10.7%	20.7%	1.5%
10・20歳代	116	5.2%	25.9%	15.5%	18.1%	34.5%	0.9%	67	9.0%	25.4%	14.9%	11.9%	38.8%	-
30歳代	68	10.3%	23.5%	14.7%	11.8%	38.2%	1.5%	35	17.1%	8.6%	22.9%	14.3%	37.1%	-
40歳代	110	8.2%	26.4%	17.3%	20.0%	27.3%	0.9%	56	16.1%	28.6%	14.3%	16.1%	25.0%	-
50歳代	94	10.6%	26.6%	23.4%	10.6%	27.7%	1.1%	83	26.5%	33.7%	9.6%	7.2%	21.7%	1.2%
60歳代	93	17.2%	30.1%	22.6%	5.4%	24.7%	-	55	25.5%	36.4%	9.1%	10.9%	16.4%	1.8%
70歳以上	194	45.4%	26.3%	9.3%	7.2%	9.8%	2.1%	124	41.9%	28.2%	9.7%	8.9%	8.1%	3.2%

年代別にみると、男女とも年代が上がるほど「そう思う」の割合が高くなる傾向にあり、70歳以上では女性は45.4%、男性は41.9%となっており、『そう思う』の割合は7割を超えている。一方、男女とも30歳代以下では「そう思わない」が3割を超えており、他の年齢層に比べて高くなっている。

【表1-4 年代別 (エ) 子どもが3歳くらいまでは、母親が育児に専念したほうがよい】

	女性							男性						
	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	613	20.9%	28.1%	13.4%	11.9%	25.1%	0.7%	392	22.4%	31.9%	12.5%	11.0%	20.9%	1.3%
10・20歳代	116	6.9%	24.1%	12.9%	17.2%	37.9%	0.9%	67	11.9%	23.9%	7.5%	19.4%	37.3%	-
30歳代	68	10.3%	14.7%	14.7%	17.6%	41.2%	1.5%	35	-	22.9%	22.9%	5.7%	48.6%	-
40歳代	110	9.1%	23.6%	13.6%	11.8%	41.8%	-	56	12.5%	46.4%	14.3%	7.1%	19.6%	-
50歳代	94	14.9%	34.0%	13.8%	16.0%	20.2%	1.1%	83	18.1%	28.9%	19.3%	13.3%	19.3%	1.2%
60歳代	93	21.5%	29.0%	15.1%	8.6%	25.8%	-	55	23.6%	36.4%	9.1%	12.7%	18.2%	-
70歳以上	194	37.6%	33.5%	10.3%	8.2%	9.3%	1.0%	124	37.9%	32.3%	8.9%	9.7%	8.1%	3.2%

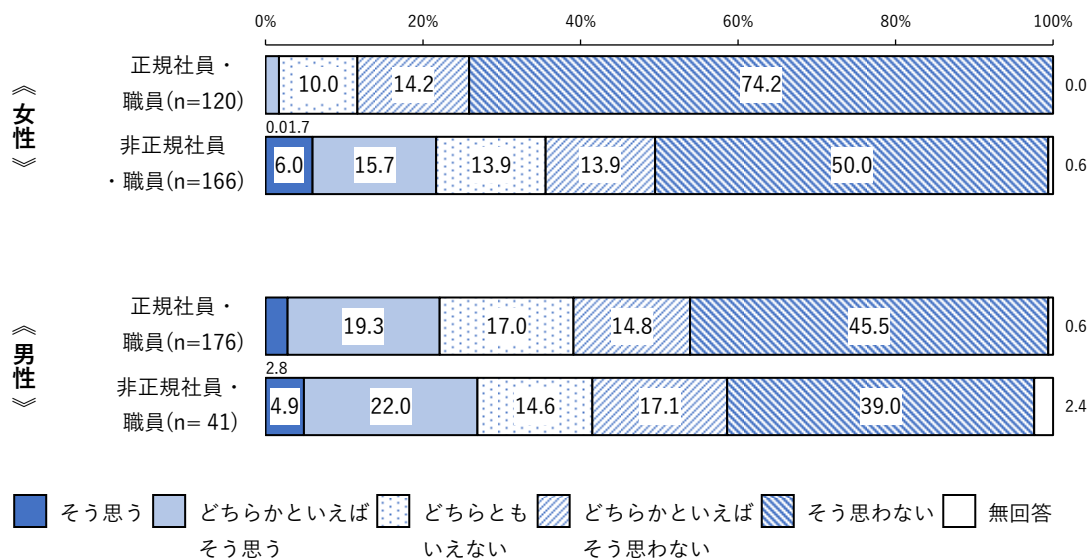
年代別にみると、『そう思う』は、男女とも70歳以上で女性が71.1%、男性が70.2%と高くなっている。また、男性の40歳代では『そう思う』が58.9%で、同年代の女性と比べ26.2ポイント高くなっている。

【表1-5 年代別 (オ) 夫は外で働き、妻は家庭を守るほうがよい】

	女性							男性						
	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらか といえ ば そう 思わ ない	そう 思わ ない	無 回 答	回答者数 (n)	そう 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答
全体	613	6.4%	16.3%	14.0%	13.9%	48.3%	1.1%	392	5.1%	22.2%	15.1%	12.8%	43.4%	1.5%
10・20歳代	116	0.9%	3.4%	9.5%	12.1%	73.3%	0.9%	67	1.5%	10.4%	14.9%	14.9%	58.2%	-
30歳代	68	2.9%	10.3%	10.3%	16.2%	58.8%	1.5%	35	-	8.6%	14.3%	5.7%	71.4%	-
40歳代	110	4.5%	11.8%	10.0%	12.7%	60.9%	-	56	1.8%	25.0%	21.4%	10.7%	41.1%	-
50歳代	94	3.2%	14.9%	16.0%	16.0%	48.9%	1.1%	83	3.6%	22.9%	20.5%	18.1%	33.7%	1.2%
60歳代	93	5.4%	14.0%	17.2%	15.1%	48.4%	-	55	3.6%	21.8%	14.5%	14.5%	45.5%	-
70歳以上	194	12.4%	27.3%	16.0%	13.9%	27.8%	2.6%	124	9.7%	27.4%	12.9%	12.1%	33.9%	4.0%

年代別にみると、女性では年代が下がるほど『そう思わない』が高くなっており、10・20歳代で85.4%となっている。男性では30歳代で『そう思わない』が77.1%と高くなっている。

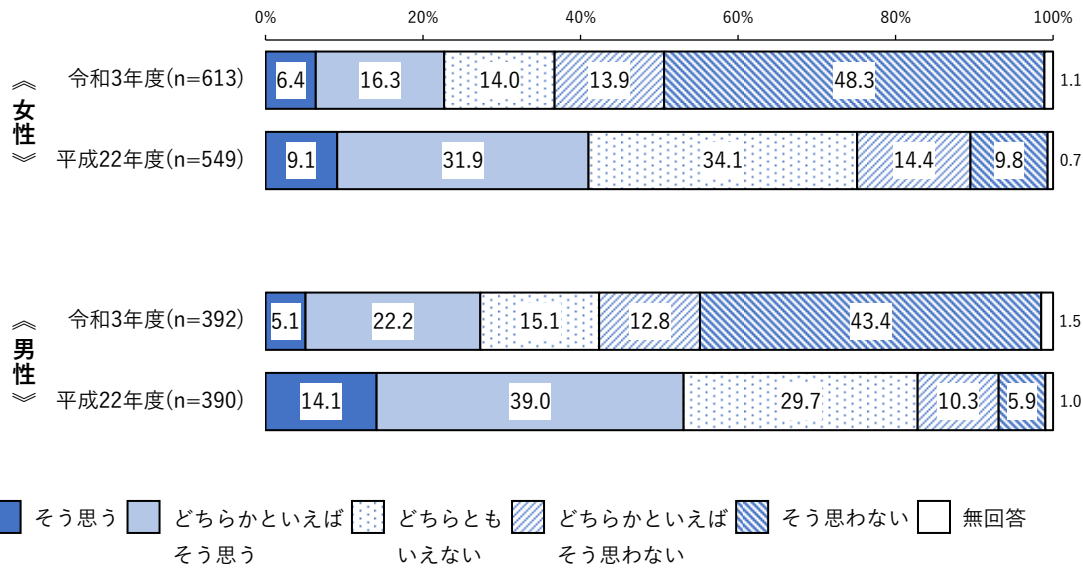
【図1-3 職業別 (オ) 夫は外で働き、妻は家庭を守るほうがよい】



職業別にみると、女性では、『そう思わない』の回答割合が、正規社員・職員(88.4%)と非正規社員・職員(63.9%)とでは、その差が24.5ポイントと大きいですが、男性では、正規社員・職員、非正規社員・職員による差はほとんどみられない。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【図1-4 経年比較 (オ) 夫は外で働き、妻は家庭を守るほうがよい】



※1 平成22年度調査の選択肢は、「賛成である」「どちらかといえば賛成である」「どちらともいえない」「どちらかといえば反対である」「反対である」

経年比較をみると、男女ともに「そう思わない」が大幅に高くなり、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」は低くなっている。『そう思わない』は女性で38.0ポイント、男性で40.0ポイント増加し、『そう思う』は女性で18.3ポイント、男性で25.8ポイント減少している。

【表1-6 年代別 (カ) 妻が働きに出る場合は、フルタイムの仕事を選び、パート・アルバイトなどにとどめるべきだ】

	女性							男性						
	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	613	7.8%	13.1%	12.9%	12.4%	53.2%	0.7%	392	6.1%	14.3%	12.0%	15.3%	50.8%	1.5%
10・20歳代	116	1.7%	2.6%	9.5%	12.1%	73.3%	0.9%	67	4.5%	16.4%	13.4%	14.9%	50.7%	-
30歳代	68	1.5%	11.8%	5.9%	5.9%	73.5%	1.5%	35	2.9%	2.9%	14.3%	11.4%	68.6%	-
40歳代	110	3.6%	7.3%	10.9%	16.4%	61.8%	-	56	-	12.5%	17.9%	17.9%	51.8%	-
50歳代	94	2.1%	7.4%	18.1%	13.8%	57.4%	1.1%	83	4.8%	18.1%	13.3%	20.5%	42.2%	1.2%
60歳代	93	7.5%	11.8%	15.1%	10.8%	54.8%	-	55	5.5%	10.9%	7.3%	14.5%	61.8%	-
70歳以上	194	17.0%	23.2%	13.9%	12.4%	32.5%	1.0%	124	10.5%	17.7%	11.3%	13.7%	42.7%	4.0%

年代別にみると、女性では年代が下がるほど「そう思わない」が高くなる傾向にあり、30歳代以下で7割を超えている。一方、70歳以上では『そう思う』が40.2%と高くなっており、男女の年齢層の中で最も高くなっている。

【表1-7 年代別 (キ) 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするほうがよい】

	女性							男性						
	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	613	44.0%	35.1%	6.2%	8.2%	5.4%	1.1%	392	31.4%	38.3%	9.9%	9.7%	8.7%	2.0%
10・20歳代	116	61.2%	24.1%	5.2%	5.2%	3.4%	0.9%	67	59.7%	26.9%	3.0%	4.5%	6.0%	-
30歳代	68	58.8%	29.4%	2.9%	5.9%	1.5%	1.5%	35	51.4%	25.7%	8.6%	8.6%	5.7%	-
40歳代	110	50.9%	36.4%	5.5%	3.6%	3.6%	-	56	25.0%	50.0%	10.7%	3.6%	10.7%	-
50歳代	94	44.7%	39.4%	5.3%	7.4%	2.1%	1.1%	83	27.7%	42.2%	14.5%	7.2%	7.2%	1.2%
60歳代	93	45.2%	37.6%	4.3%	6.5%	6.5%	-	55	23.6%	45.5%	7.3%	9.1%	12.7%	1.8%
70歳以上	194	26.8%	37.6%	10.3%	13.4%	9.3%	2.6%	124	23.4%	35.5%	10.5%	16.9%	8.9%	4.8%

年代別にみると、女性では『そう思う』は60歳代以下で8割以上と高くなっている。男性では年代が下がるほど『そう思う』は高くなっており、10・20歳代で86.6%と高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表1-8 年代別 (ク) 自分の家族や親戚が未婚のまま子どもを産むことは好ましくない】

	女性							男性						
	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	613	24.0%	33.6%	12.9%	9.0%	19.6%	1.0%	392	31.9%	34.2%	10.2%	9.7%	12.8%	1.3%
10・20歳代	116	6.9%	35.3%	11.2%	13.8%	31.9%	0.9%	67	23.9%	17.9%	14.9%	14.9%	26.9%	1.5%
30歳代	68	5.9%	39.7%	10.3%	7.4%	35.3%	1.5%	35	11.4%	34.3%	11.4%	20.0%	22.9%	-
40歳代	110	10.9%	33.6%	18.2%	12.7%	24.5%	-	56	26.8%	39.3%	16.1%	10.7%	7.1%	-
50歳代	94	18.1%	34.0%	12.8%	13.8%	20.2%	1.1%	83	28.9%	41.0%	14.5%	4.8%	9.6%	1.2%
60歳代	93	36.6%	25.8%	16.1%	3.2%	18.3%	-	55	34.5%	32.7%	5.5%	10.9%	16.4%	-
70歳以上	194	39.2%	33.0%	10.8%	7.7%	7.2%	2.1%	124	42.7%	32.3%	7.3%	8.9%	5.6%	3.2%

年代別にみると、男女ともに年代が上がるほど『そう思う』が高くなる傾向にあり、70歳以上は女性で72.2%、男性で75.0%と高くなっている。一方、男女ともに30歳代以下では『そう思う』と『そう思わない』の割合はいずれも4割台と拮抗している。男性の40歳代、50歳代では同年代の女性と比べ『そう思う』の割合が高く、40歳代で21.6ポイント、50歳代で17.8ポイント高くなっている。

【表1-9 年代別 (ケ) 男同士、女同士の結婚を認めるべきだ】

	女性							男性						
	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	613	28.2%	21.2%	24.6%	10.1%	14.8%	1.0%	392	15.6%	20.2%	18.4%	12.8%	31.4%	1.8%
10・20歳代	116	57.8%	24.1%	14.7%	2.6%	-	0.9%	67	40.3%	34.3%	19.4%	1.5%	4.5%	-
30歳代	68	48.5%	25.0%	17.6%	2.9%	4.4%	1.5%	35	37.1%	20.0%	22.9%	2.9%	17.1%	-
40歳代	110	33.6%	28.2%	26.4%	7.3%	4.5%	-	56	17.9%	26.8%	28.6%	5.4%	21.4%	-
50歳代	94	34.0%	34.0%	16.0%	7.4%	7.4%	1.1%	83	9.6%	20.5%	24.1%	16.9%	27.7%	1.2%
60歳代	93	31.2%	15.1%	31.2%	9.7%	12.9%	-	55	12.7%	16.4%	18.2%	14.5%	36.4%	1.8%
70歳以上	194	6.2%	12.4%	28.4%	18.0%	33.0%	2.1%	124	6.5%	12.9%	11.3%	18.5%	46.8%	4.0%

年代別にみると、男女ともに30歳代以下で「そう思う」が高く、女性の10・20歳代で57.8%と特に高くなっている。女性の70歳以上、男性の60歳代以上では『そう思わない』が5割以上となっており、男性の70歳以上で65.3%と高くなっている。

【表1-10 年代別 (コ) 自分の家族や親戚に同性愛者はいてほしくない】

	女性							男性						
	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえ ば	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば	そう思わない	無回答	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえ ば	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば	そう思わない	無回答
全体	613	18.9%	21.2%	18.8%	8.6%	31.8%	0.7%	392	32.1%	21.9%	14.5%	9.9%	20.2%	1.3%
10・20歳代	116	0.9%	10.3%	12.9%	13.8%	61.2%	0.9%	67	6.0%	6.0%	16.4%	16.4%	55.2%	-
30歳代	68	4.4%	13.2%	17.6%	11.8%	51.5%	1.5%	35	17.1%	14.3%	14.3%	14.3%	40.0%	-
40歳代	110	4.5%	19.1%	23.6%	11.8%	40.9%	-	56	19.6%	33.9%	14.3%	5.4%	26.8%	-
50歳代	94	9.6%	17.0%	18.1%	6.4%	47.9%	1.1%	83	30.1%	22.9%	24.1%	9.6%	12.0%	1.2%
60歳代	93	21.5%	18.3%	25.8%	7.5%	26.9%	-	55	29.1%	25.5%	18.2%	12.7%	14.5%	-
70歳以上	194	39.7%	32.0%	14.4%	7.2%	5.7%	1.0%	124	50.8%	21.8%	9.7%	8.1%	6.5%	3.2%

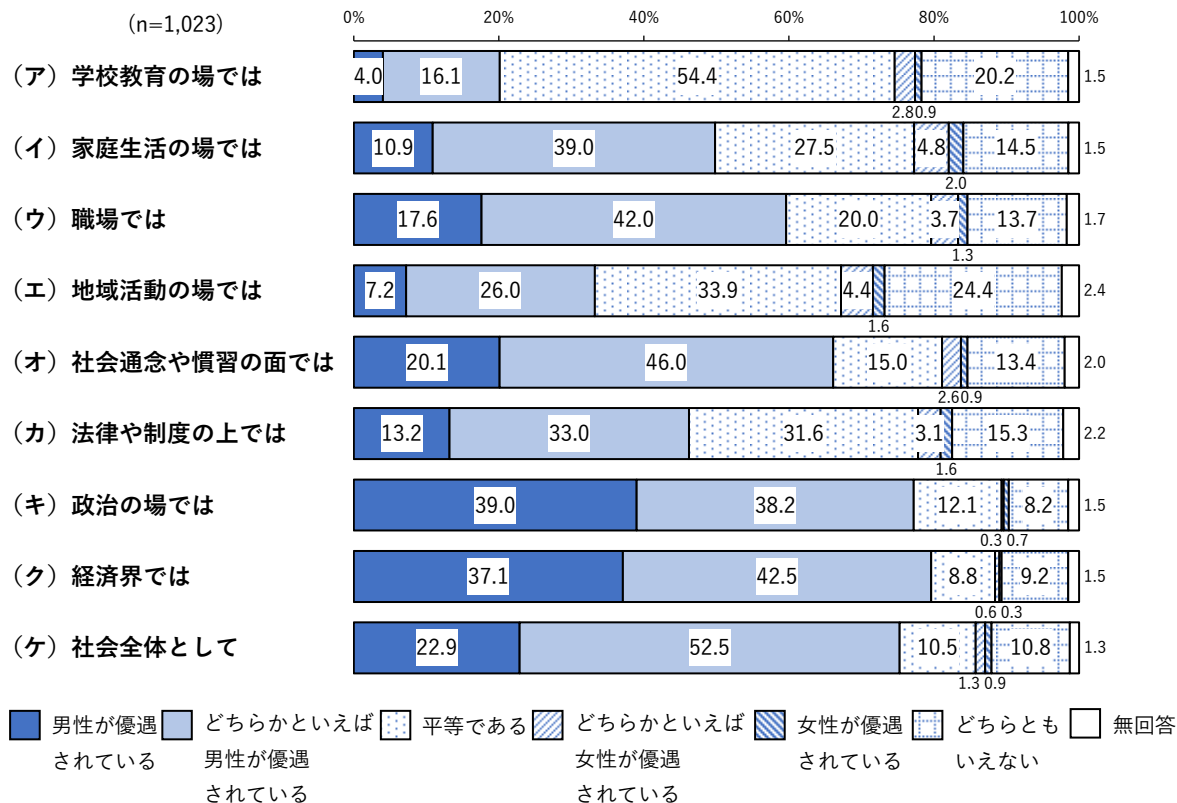
年代別にみると、男女ともに年代が上がるほど『そう思う』は概ね高くなる傾向で、70歳以上で7割以上を占め、男性の50.8%が「そう思う」と回答している。一方、男女ともに10・20歳代で『そう思わない』の割合は7割以上となっている。女性の40歳代、60歳代と男性の50歳代では、2割以上が「どちらともいえない」と回答している。

Ⅱ 市民意識調査の結果

(2) 男女の地位の平等感

問2 あなたは、次の(ア)～(ケ)の分野で、男女の地位がどの程度平等になっていると思いますか。
(各項目に〇は1つ)

【図2-1 男女の地位の平等感】

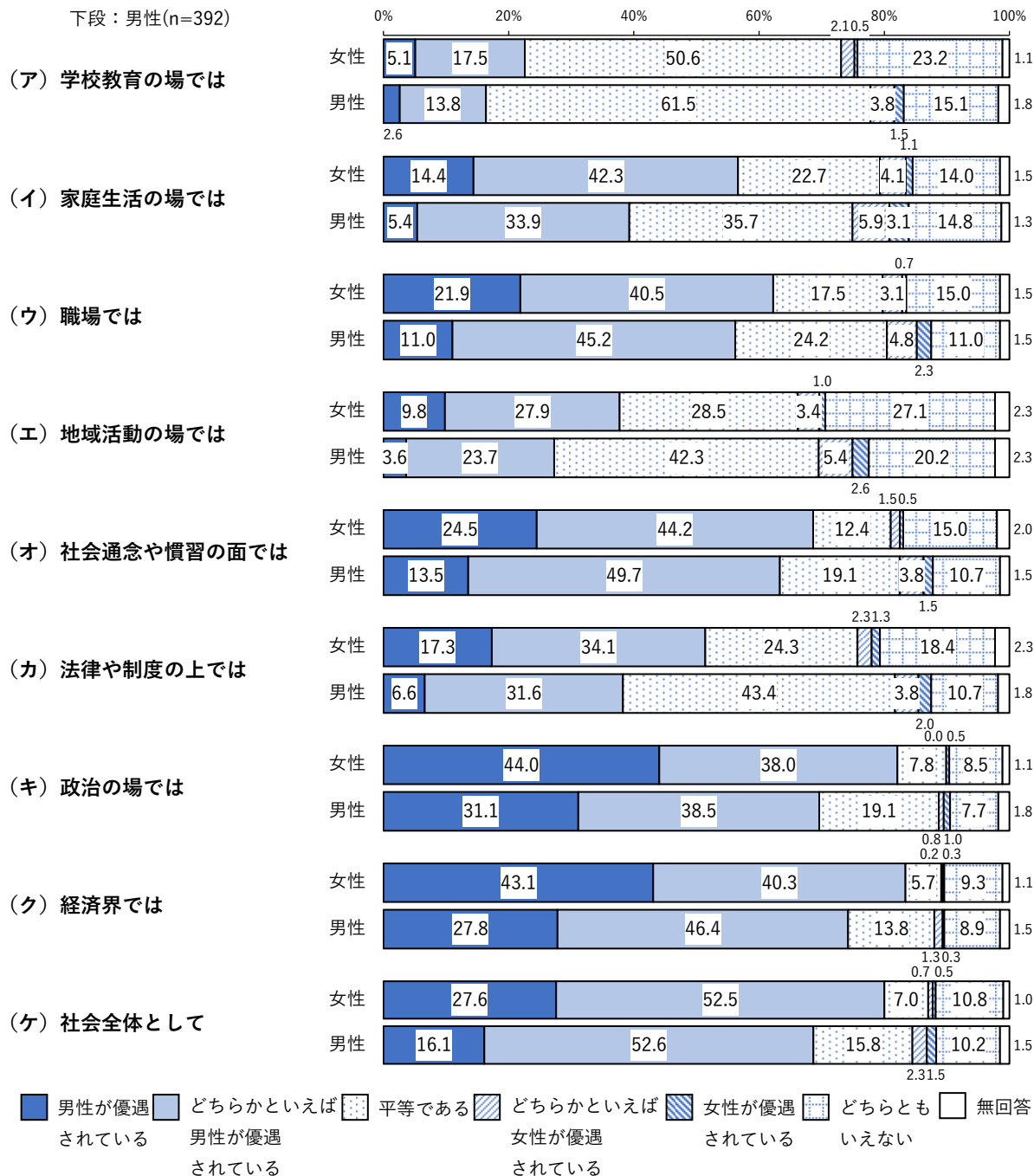


男女の地位の平等感について、「(ウ)職場では」「(オ)社会通念や慣習の面では」「(キ)政治の場では」「(ク)経済界では」「(ケ)社会全体として」の分野で『男性優遇』(「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計)の割合が5割を超えており、「(ク)経済界では」で79.6%、「(キ)政治の場では」で77.2%、「(ケ)社会全体として」で75.4%と高くなっている。

【図2-2 性別 男女の地位の平等感】

上段：女性(n=613)

下段：男性(n=392)



性別にみると、すべての分野で『男性優遇』の割合は女性の方が高くなっている。特に、「(ク) 経済界では」で 83.4%、「(キ) 政治の場では」で 82.0%、「(ケ) 社会全体として」で 80.1%と、と女性は8割を超えている。「(イ) 家庭生活の場では」は『男性優遇』が女性で56.7%、男性で39.3%と女性が17.4ポイント高くなっている。一方、すべての分野で「平等である」の割合は男性の方が高くなっており、「(カ) 法律や制度の上では」は男性で43.4%、女性で24.3%と男性が19.1ポイント高くなっている。

II 市民意識調査の結果

【表2-1 年代別 男女の地位の平等感 - (ア) 学校教育の場では】

	回答者数 (n)	いる 男性が 優遇さ れて	いる 男性が どちら かとい えれば	平等 である	いる 女性 が優 遇さ れて	いる 女性 が優 遇さ れて	い ど ち ら と も い え な	無 回 答	
全体	1,023	4.0%	16.1%	54.4%	2.8%	0.9%	20.2%	1.5%	
女性	10・20 歳代	116	0.9%	10.3%	62.1%	5.2%	-	20.7%	0.9%
	30 歳代	68	-	7.4%	63.2%	-	-	26.5%	2.9%
	40 歳代	110	3.6%	13.6%	53.6%	2.7%	0.9%	24.5%	0.9%
	50 歳代	94	8.5%	22.3%	47.9%	2.1%	1.1%	17.0%	1.1%
	60 歳代	93	4.3%	17.2%	48.4%	1.1%	-	29.0%	-
	70 歳以上	194	7.2%	21.6%	45.4%	2.1%	0.5%	21.6%	1.5%
男性	10・20 歳代	67	-	13.4%	62.7%	6.0%	6.0%	10.4%	1.5%
	30 歳代	35	5.7%	14.3%	65.7%	-	-	14.3%	-
	40 歳代	56	1.8%	10.7%	60.7%	3.6%	1.8%	21.4%	-
	50 歳代	83	1.2%	12.0%	60.2%	7.2%	-	18.1%	1.2%
	60 歳代	55	3.6%	14.5%	63.6%	3.6%	3.6%	10.9%	-
	70 歳以上	124	3.2%	16.1%	60.5%	2.4%	0.8%	12.9%	4.0%

年代別にみると、女性の30歳代以下と男性のすべての年齢層で「平等である」がいずれも6割台と高く、女性の50歳代と70歳以上で『男性優遇』が約3割と他の年齢層に比べて高くなっている。

【表2-2 年代別 男女の地位の平等感 - (イ) 家庭生活の場では】

	回答者数 (n)	いる 男性が 優遇さ れて	いる 男性が どちら かとい えれば	平等 である	いる 女性 が優 遇さ れて	いる 女性 が優 遇さ れて	い ど ち ら と も い え な	無 回 答	
全体	1,023	10.9%	39.0%	27.5%	4.8%	2.0%	14.5%	1.5%	
女性	10・20 歳代	116	6.0%	37.1%	36.2%	4.3%	1.7%	13.8%	0.9%
	30 歳代	68	17.6%	33.8%	19.1%	5.9%	2.9%	19.1%	1.5%
	40 歳代	110	16.4%	40.9%	21.8%	3.6%	-	17.3%	-
	50 歳代	94	19.1%	43.6%	19.1%	4.3%	-	11.7%	2.1%
	60 歳代	93	10.8%	43.0%	21.5%	3.2%	1.1%	20.4%	-
	70 歳以上	194	13.9%	45.9%	24.2%	3.1%	1.5%	8.2%	3.1%
男性	10・20 歳代	67	3.0%	23.9%	34.3%	14.9%	4.5%	19.4%	-
	30 歳代	35	5.7%	25.7%	37.1%	2.9%	5.7%	22.9%	-
	40 歳代	56	3.6%	23.2%	41.1%	10.7%	1.8%	19.6%	-
	50 歳代	83	3.6%	32.5%	36.1%	4.8%	3.6%	18.1%	1.2%
	60 歳代	55	5.5%	36.4%	40.0%	1.8%	5.5%	10.9%	-
	70 歳以上	124	6.5%	40.3%	33.9%	4.0%	1.6%	10.5%	3.2%

年代別にみると、女性では10・20歳代で「平等である」が36.2%と比較的高くなっているが、30歳代以上はいずれも『男性優遇』が5割以上を占めており、50歳代で62.7%と高くなっている。男性の10・20歳代では、『女性優遇』が19.4%で、他の年代に比べて高い。

【表2-3 年代別 男女の地位の平等感 - (ウ) 職場では】

	回答者数 (n)	いる 男性が 優遇さ れて	いる 男性が どちら かとい えれば	平等 である	いる 女性 が優 遇さ れて	いる 女性 が優 遇さ れて	い ど ち ら と も い え な	無 回 答	
全体	1,023	17.6%	42.0%	20.0%	3.7%	1.3%	13.7%	1.7%	
女性	10・20 歳代	116	17.2%	32.8%	26.7%	6.0%	0.9%	15.5%	0.9%
	30 歳代	68	16.2%	39.7%	22.1%	2.9%	-	17.6%	1.5%
	40 歳代	110	17.3%	41.8%	17.3%	6.4%	1.8%	15.5%	-
	50 歳代	94	25.5%	36.2%	22.3%	1.1%	-	12.8%	2.1%
	60 歳代	93	26.9%	46.2%	12.9%	1.1%	1.1%	11.8%	-
	70 歳以上	194	23.7%	38.7%	14.9%	2.6%	0.5%	16.5%	3.1%
男性	10・20 歳代	67	9.0%	43.3%	29.9%	-	1.5%	16.4%	-
	30 歳代	35	25.7%	40.0%	11.4%	5.7%	-	17.1%	-
	40 歳代	56	8.9%	33.9%	30.4%	8.9%	5.4%	12.5%	-
	50 歳代	83	7.2%	42.2%	22.9%	9.6%	2.4%	14.5%	1.2%
	60 歳代	55	5.5%	43.6%	32.7%	3.6%	5.5%	9.1%	-
	70 歳以上	124	12.9%	53.2%	21.8%	1.6%	-	6.5%	4.0%

年代別にみると、女性では 60 歳代で『男性優遇』が 73.1%と高く、男性では 30 歳代と 70 歳以上で『男性優遇』がそれぞれ 65.7%、66.1%と高くなっている。

【表2-4 年代別 男女の地位の平等感 - (エ) 地域活動の場では】

	回答者数 (n)	いる 男性が 優遇さ れて	いる 男性が どちら かとい えれば	平等 である	いる 女性 が優 遇さ れて	いる 女性 が優 遇さ れて	い ど ち ら と も い え な	無 回 答	
全体	1,023	7.2%	26.0%	33.9%	4.4%	1.6%	24.4%	2.4%	
女性	10・20 歳代	116	6.9%	14.7%	35.3%	5.2%	-	36.2%	1.7%
	30 歳代	68	7.4%	16.2%	35.3%	2.9%	-	36.8%	1.5%
	40 歳代	110	11.8%	29.1%	25.5%	3.6%	-	30.0%	-
	50 歳代	94	13.8%	34.0%	23.4%	3.2%	1.1%	22.3%	2.1%
	60 歳代	93	11.8%	30.1%	23.7%	4.3%	2.2%	28.0%	-
	70 歳以上	194	7.7%	30.4%	30.4%	3.1%	1.5%	21.6%	5.2%
男性	10・20 歳代	67	-	16.4%	49.3%	6.0%	1.5%	25.4%	1.5%
	30 歳代	35	8.6%	20.0%	34.3%	2.9%	5.7%	28.6%	-
	40 歳代	56	1.8%	19.6%	33.9%	12.5%	1.8%	28.6%	1.8%
	50 歳代	83	2.4%	24.1%	38.6%	4.8%	2.4%	25.3%	2.4%
	60 歳代	55	5.5%	25.5%	47.3%	1.8%	7.3%	12.7%	-
	70 歳以上	124	4.0%	26.6%	49.2%	4.8%	-	11.3%	4.0%

年代別にみると、女性では 30 歳代以下で「どちらともいえない」と「平等である」の割合がほぼ同率で高くなっている。男性では 10・20 歳代と 60 歳代以上で「平等である」が5割近くとなっている。

II 市民意識調査の結果

【表2-5 年代別 男女の地位の平等感 - (オ) 社会通念や慣習の面では】

	回答者数 (n)	いる 男性が 優遇さ れて	いる 男性が 優遇さ れてい え	ど ち ら か と い え ば	平 等 で あ る	い る 女 性 が 優 遇 さ れ て	い る 女 性 が 優 遇 さ れ て	い ど ち ら と も い え な	無 回 答
全体	1,023	20.1%	46.0%	15.0%	2.6%	0.9%	13.4%	2.0%	
女性									
10・20歳代	116	21.6%	37.1%	16.4%	3.4%	-	20.7%	0.9%	
30歳代	68	22.1%	32.4%	19.1%	2.9%	-	22.1%	1.5%	
40歳代	110	21.8%	46.4%	7.3%	-	0.9%	23.6%	-	
50歳代	94	33.0%	45.7%	6.4%	4.3%	-	9.6%	1.1%	
60歳代	93	33.3%	43.0%	10.8%	-	1.1%	9.7%	2.2%	
70歳以上	194	19.1%	45.9%	16.5%	1.0%	0.5%	12.9%	4.1%	
男性									
10・20歳代	67	13.4%	35.8%	26.9%	7.5%	1.5%	14.9%	-	
30歳代	35	20.0%	51.4%	11.4%	2.9%	-	14.3%	-	
40歳代	56	8.9%	50.0%	12.5%	12.5%	3.6%	12.5%	-	
50歳代	83	12.0%	54.2%	16.9%	3.6%	1.2%	10.8%	1.2%	
60歳代	55	14.5%	45.5%	23.6%	5.5%	3.6%	7.3%	-	
70歳以上	124	14.5%	50.0%	22.6%	-	-	8.9%	4.0%	

年代別にみると、女性では50歳代と60歳代で「男性が優遇されている」が3割以上と高くなっている。30歳代では『男性優遇』が女性で54.5%、男性で71.4%と男性の方が高く意識の違いがみられる。

【表2-6 年代別 男女の地位の平等感 - (カ) 法律や制度の上では】

	回答者数 (n)	いる 男性が 優遇さ れて	いる 男性が 優遇さ れてい え	ど ち ら か と い え ば	平 等 で あ る	い る 女 性 が 優 遇 さ れ て	い る 女 性 が 優 遇 さ れ て	い ど ち ら と も い え な	無 回 答
全体	1,023	13.2%	33.0%	31.6%	3.1%	1.6%	15.3%	2.2%	
女性									
10・20歳代	116	8.6%	30.2%	24.1%	6.9%	0.9%	26.7%	2.6%	
30歳代	68	11.8%	29.4%	23.5%	2.9%	2.9%	27.9%	1.5%	
40歳代	110	16.4%	33.6%	18.2%	2.7%	-	29.1%	-	
50歳代	94	21.3%	42.6%	12.8%	2.1%	-	20.2%	1.1%	
60歳代	93	24.7%	31.2%	26.9%	2.2%	3.2%	11.8%	-	
70歳以上	194	14.9%	34.5%	31.4%	1.0%	1.0%	11.3%	5.7%	
男性									
10・20歳代	67	3.0%	23.9%	37.3%	10.4%	1.5%	23.9%	-	
30歳代	35	8.6%	28.6%	34.3%	8.6%	5.7%	14.3%	-	
40歳代	56	3.6%	32.1%	46.4%	3.6%	3.6%	8.9%	1.8%	
50歳代	83	2.4%	36.1%	43.4%	2.4%	-	14.5%	1.2%	
60歳代	55	7.3%	40.0%	43.6%	3.6%	3.6%	1.8%	-	
70歳以上	124	10.5%	27.4%	47.6%	0.8%	0.8%	8.9%	4.0%	

年代別にみると、女性では50歳代で『男性優遇』が高く6割を超えており、同年代の男性より25.4ポイント高くなっている。

【表2-7 年代別 男女の地位の平等感 - (キ) 政治の場では】

	回答者数 (n)	いる 男性が 優遇さ れて	いる 男性が 優遇さ れて ど ちらか といえ ば	平 等 で あ る	い る 女 性 が 優 遇 さ れ て ど ちら か とい え ば	い る 女 性 が 優 遇 さ れ て	い ど ち ら と も い え な	無 回 答	
全体	1,023	39.0%	38.2%	12.1%	0.3%	0.7%	8.2%	1.5%	
女性	10・20歳代	116	44.8%	36.2%	6.9%	0.9%	-	10.3%	0.9%
	30歳代	68	48.5%	27.9%	10.3%	-	-	11.8%	1.5%
	40歳代	110	43.6%	40.9%	3.6%	-	-	11.8%	-
	50歳代	94	47.9%	42.6%	1.1%	-	-	7.4%	1.1%
	60歳代	93	61.3%	28.0%	5.4%	-	1.1%	4.3%	-
	70歳以上	194	32.0%	42.3%	13.9%	-	1.0%	8.2%	2.6%
男性	10・20歳代	67	34.3%	37.3%	17.9%	3.0%	-	7.5%	-
	30歳代	35	45.7%	37.1%	8.6%	2.9%	-	5.7%	-
	40歳代	56	30.4%	39.3%	17.9%	1.8%	-	10.7%	-
	50歳代	83	34.9%	36.1%	15.7%	-	1.2%	10.8%	1.2%
	60歳代	55	23.6%	40.0%	30.9%	-	3.6%	1.8%	-
	70歳以上	124	25.8%	39.5%	21.0%	-	0.8%	8.1%	4.8%

年代別にみると、女性の60歳代で「男性が優遇されている」が高く6割を超えている。一方、男性の60歳代では「平等である」が約3割で他の年齢層に比べて高くなっている。

【表2-8 年代別 男女の地位の平等感 - (ク) 経済界では】

	回答者数 (n)	いる 男性が 優遇さ れて	いる 男性が 優遇さ れて ど ちらか といえ ば	平 等 で あ る	い る 女 性 が 優 遇 さ れ て ど ちら か とい え ば	い る 女 性 が 優 遇 さ れ て	い ど ち ら と も い え な	無 回 答	
全体	1,023	37.1%	42.5%	8.8%	0.6%	0.3%	9.2%	1.5%	
女性	10・20歳代	116	33.6%	39.7%	6.9%	0.9%	-	17.2%	1.7%
	30歳代	68	47.1%	29.4%	10.3%	-	-	11.8%	1.5%
	40歳代	110	46.4%	40.9%	3.6%	-	-	9.1%	-
	50歳代	94	45.7%	44.7%	-	-	-	8.5%	1.1%
	60歳代	93	57.0%	31.2%	4.3%	-	1.1%	6.5%	-
	70歳以上	194	34.0%	46.4%	8.2%	0.5%	0.5%	8.2%	2.1%
男性	10・20歳代	67	19.4%	47.8%	19.4%	1.5%	-	11.9%	-
	30歳代	35	37.1%	28.6%	11.4%	2.9%	-	20.0%	-
	40歳代	56	26.8%	46.4%	14.3%	1.8%	-	10.7%	-
	50歳代	83	30.1%	44.6%	13.3%	1.2%	-	9.6%	1.2%
	60歳代	55	14.5%	56.4%	18.2%	1.8%	1.8%	7.3%	-
	70歳以上	124	32.3%	44.4%	12.9%	-	-	6.5%	4.0%

年代別にみると、女性の60歳代で「男性が優遇されている」が高く5割を超えている。男性では『男性優遇』の割合は年代による大きな違いはみられない。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表2-9 年代別 男女の地位の平等感 - (ケ) 社会全体として】

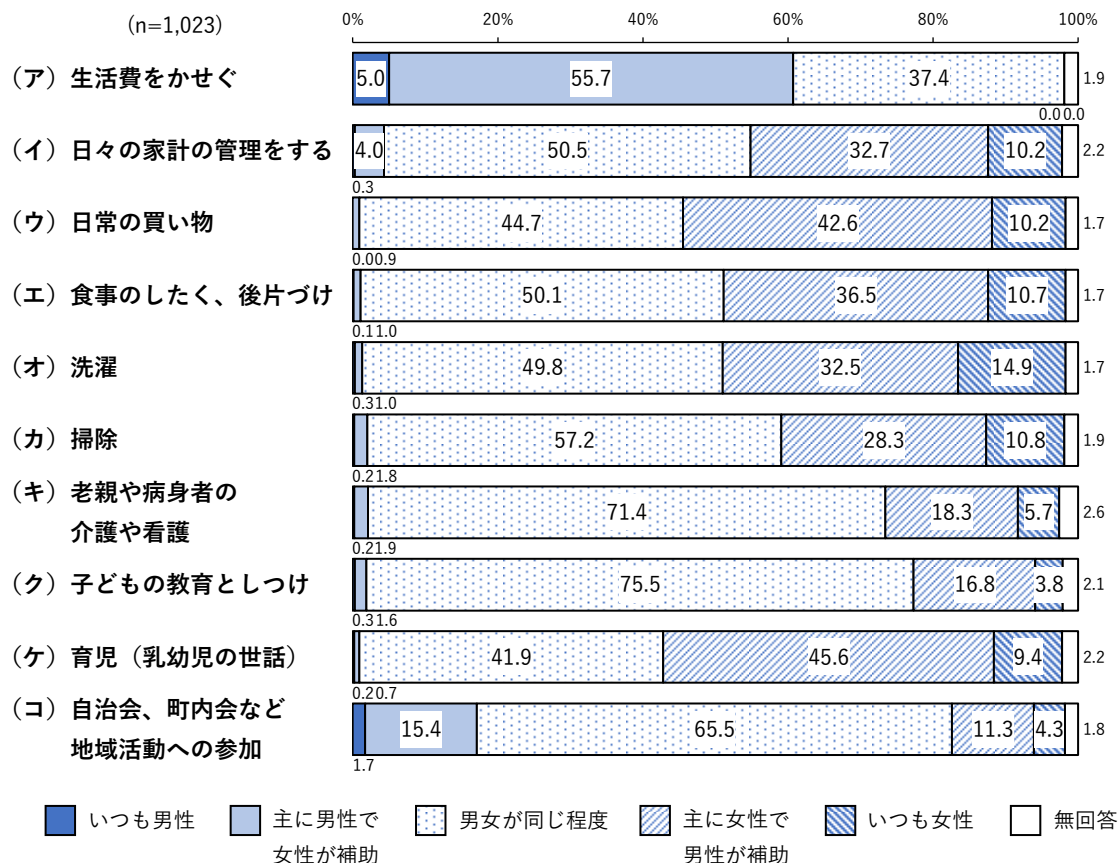
	回答者数 (n)	男性が 優遇され ている	どちらか と男性が 優遇され ている	平等 である	女性 が優遇 されて いる	どちら かと女 性が優 遇され ている	い ど ち ら と も い え な い	無 回 答	
全体	1,023	22.9%	52.5%	10.5%	1.3%	0.9%	10.8%	1.3%	
女性	10・20 歳代	116	20.7%	46.6%	8.6%	0.9%	-	21.6%	1.7%
	30 歳代	68	26.5%	54.4%	5.9%	1.5%	-	10.3%	1.5%
	40 歳代	110	29.1%	54.5%	3.6%	-	-	12.7%	-
	50 歳代	94	38.3%	46.8%	4.3%	1.1%	-	8.5%	1.1%
	60 歳代	93	40.9%	41.9%	8.6%	1.1%	1.1%	6.5%	-
	70 歳以上	194	18.0%	59.3%	9.3%	0.5%	1.0%	10.3%	1.5%
男性	10・20 歳代	67	10.4%	43.3%	23.9%	7.5%	-	14.9%	-
	30 歳代	35	20.0%	54.3%	11.4%	2.9%	2.9%	8.6%	-
	40 歳代	56	14.3%	42.9%	21.4%	7.1%	5.4%	8.9%	-
	50 歳代	83	13.3%	57.8%	9.6%	1.2%	1.2%	15.7%	1.2%
	60 歳代	55	10.9%	65.5%	16.4%	1.8%	1.8%	3.6%	-
	70 歳以上	124	21.0%	50.0%	15.3%	-	-	9.7%	4.0%

年代別にみると、女性では30～60歳代で『男性優遇』はいずれも8割台となっている。10・20歳代では「どちらともいえない」が21.6%と他の年齢層と比べて高くなっている。男性の10・20歳代と40歳代で「平等である」が2割台と高くなっている。

(3) 家庭における性別による役割分担の意識

問3 男女の夫婦・カップルの家庭における様々な役割について、お聞きします。あなたはそれぞれの役割について男女のどちらが担うのがよいと思いますか。(各項目に〇は1つ)

【図3-1 家庭における性別による役割分担の意識】



家庭における性別による役割分担の意識について、「男女が同じ程度」の割合は、「(ア)生活費をかせぐ」と「(ケ)育児(乳幼児の世話)」以外の項目で最も高くなっており、「(キ)老親や病身者の介護や看護」と「(ク)子どもの教育としつけ」で7割台と高くなっている。『いつも男性』(「いつも男性」「主に男性で女性が補助」の合計)の割合は、「(ア)生活費をかせぐ」(60.7%)と「(コ)自治会、町内会など地域活動への参加」(17.1%)以外はいずれも5%以下である。『いつも女性』(「いつも女性」「主に女性で男性が補助」の合計)の割合が高いのは、「(ウ)日常の買い物」と「(ケ)育児(乳幼児の世話)」でいずれも5割を超えている。

性別にみると、「(イ)日々の家計の管理をする」「(ク)子どもの教育としつけ」「(ケ)育児(乳幼児の世話)」「(コ)自治会、町内会など地域活動への参加」では、「男女が同じ程度」が5ポイント以上、女性の方が高くなっている。「(ウ)日常の買い物」は『いつも女性』が女性で56.9%、男性で46.4%と女性が10.5ポイント高くなっている。

II 市民意識調査の結果

【表3-1 性別、年代別 家庭における性別による役割分担の意識 - (ア) 生活費をかせぐ】

	回答者数 (n)	いつも男性	主に男性が補助	男女が同じ程度	主に女性が補助	いつも女性	無回答	
全体	1,023	5.0%	55.7%	37.4%	-	-	1.9%	
性別 女性	613	4.6%	56.8%	37.2%	-	-	1.5%	
性別 男性	392	5.4%	54.8%	37.5%	-	-	2.3%	
女性	10・20歳代	116	-	43.1%	56.0%	-	-	0.9%
	30歳代	68	5.9%	57.4%	35.3%	-	-	1.5%
	40歳代	110	0.9%	44.5%	53.6%	-	-	0.9%
	50歳代	94	3.2%	46.8%	46.8%	-	-	3.2%
	60歳代	93	3.2%	53.8%	41.9%	-	-	1.1%
	70歳以上	194	8.8%	73.2%	16.5%	-	-	1.5%
男性	10・20歳代	67	1.5%	43.3%	55.2%	-	-	-
	30歳代	35	5.7%	28.6%	65.7%	-	-	-
	40歳代	56	-	55.4%	44.6%	-	-	-
	50歳代	83	2.4%	63.9%	31.3%	-	-	2.4%
	60歳代	55	7.3%	47.3%	41.8%	-	-	3.6%
	70歳以上	124	9.7%	63.7%	22.6%	-	-	4.0%

年代別にみると、男女ともに70歳以上で『いつも男性』が7割以上と高くなっている。女性の30歳代では「男女が同じ程度」が35.3%と同年代の男性より30.4ポイント低くなっている。

【表3-2 性別、年代別 家庭における性別による役割分担の意識 - (イ) 日々の家計の管理をする】

	回答者数 (n)	いつも男性	主に女性が補助	男女が同じ程度	主に男性が補助	いつも女性	無回答	
全体	1,023	0.3%	4.0%	50.5%	32.7%	10.2%	2.2%	
性別 女性	613	0.3%	3.6%	52.7%	32.0%	9.5%	2.0%	
性別 男性	392	0.3%	4.3%	47.7%	34.7%	10.7%	2.3%	
女性	10・20歳代	116	-	1.7%	61.2%	30.2%	6.0%	0.9%
	30歳代	68	1.5%	1.5%	58.8%	32.4%	4.4%	1.5%
	40歳代	110	-	3.6%	61.8%	29.1%	4.5%	0.9%
	50歳代	94	1.1%	1.1%	62.8%	26.6%	5.3%	3.2%
	60歳代	93	-	3.2%	51.6%	38.7%	6.5%	-
	70歳以上	194	-	5.7%	37.1%	35.1%	18.6%	3.6%
男性	10・20歳代	67	-	-	73.1%	25.4%	1.5%	-
	30歳代	35	-	5.7%	54.3%	34.3%	5.7%	-
	40歳代	56	-	3.6%	62.5%	30.4%	3.6%	-
	50歳代	83	-	3.6%	49.4%	37.3%	7.2%	2.4%
	60歳代	55	-	5.5%	50.9%	29.1%	10.9%	3.6%
	70歳以上	124	0.8%	5.6%	29.0%	41.9%	18.5%	4.0%

年代別にみると、男性の10・20歳代で「男女が同じ程度」が73.1%と高くなっている。一方、男女ともに70歳以上では「男女が同じ程度」が低く、『いつも女性』が女性で53.7%、男性で60.4%と高くなっている。

【表3-3 性別、年代別 家庭における性別による役割分担の意識 - (ウ) 日常の買い物】

	回答者数 (n)	いつも男性	主に男性が補助	男女が同じ程度	主に女性が補助	いつも女性	無回答	
全体	1,023	-	0.9%	44.7%	42.6%	10.2%	1.7%	
性別 女性	613	-	0.5%	41.4%	44.7%	12.2%	1.1%	
性別 男性	392	-	1.5%	49.7%	39.8%	6.6%	2.3%	
女性	10・20歳代	116	-	2.6%	65.5%	28.4%	2.6%	0.9%
	30歳代	68	-	1.5%	55.9%	35.3%	5.9%	1.5%
	40歳代	110	-	-	53.6%	40.9%	4.5%	0.9%
	50歳代	94	-	-	51.1%	41.5%	5.3%	2.1%
	60歳代	93	-	-	40.9%	52.7%	6.5%	-
	70歳以上	194	-	0.5%	19.6%	51.0%	27.3%	1.5%
男性	10・20歳代	67	-	-	73.1%	22.4%	4.5%	-
	30歳代	35	-	5.7%	65.7%	22.9%	5.7%	-
	40歳代	56	-	-	67.9%	28.6%	3.6%	-
	50歳代	83	-	1.2%	42.2%	49.4%	4.8%	2.4%
	60歳代	55	-	1.8%	61.8%	25.5%	7.3%	3.6%
	70歳以上	124	-	1.6%	29.8%	54.0%	10.5%	4.0%

年代別にみると、女性では年代が下がるほど「男女が同じ程度」が高くなり、10・20歳代で6割台となっている。男性では50歳代と70歳以上で『いつも女性』がそれぞれ54.2%、64.5%と高くなっている。

【表3-4 性別、年代別 家庭における性別による役割分担の意識 - (エ) 食事のしたく、後片づけ】

	回答者数 (n)	いつも男性	主に男性が補助	男女が同じ程度	主に女性が補助	いつも女性	無回答	
全体	1,023	0.1%	1.0%	50.1%	36.5%	10.7%	1.7%	
性別 女性	613	0.2%	0.5%	50.4%	35.6%	12.2%	1.1%	
性別 男性	392	-	1.3%	50.0%	38.5%	7.9%	2.3%	
女性	10・20歳代	116	-	0.9%	75.9%	20.7%	1.7%	0.9%
	30歳代	68	-	1.5%	61.8%	30.9%	4.4%	1.5%
	40歳代	110	-	-	67.3%	28.2%	3.6%	0.9%
	50歳代	94	-	-	62.8%	30.9%	4.3%	2.1%
	60歳代	93	-	-	50.5%	39.8%	9.7%	-
	70歳以上	194	0.5%	0.5%	23.7%	45.9%	27.8%	1.5%
男性	10・20歳代	67	-	1.5%	76.1%	19.4%	3.0%	-
	30歳代	35	-	-	71.4%	22.9%	5.7%	-
	40歳代	56	-	1.8%	62.5%	30.4%	5.4%	-
	50歳代	83	-	-	45.8%	42.2%	9.6%	2.4%
	60歳代	55	-	1.8%	52.7%	34.5%	7.3%	3.6%
	70歳以上	124	-	1.6%	29.8%	54.0%	10.5%	4.0%

年代別にみると、女性では『いつも女性』が70歳代で73.7%と高くなっている。女性の10・20歳代と男性の30歳代以下では「男女が同じ程度」が7割以上と高くなっている。

II 市民意識調査の結果

【表3-5 性別、年代別 家庭における性別による役割分担の意識 - (オ) 洗濯】

	回答者数 (n)	いつも男性	主に男性で 女性が補助	男女が同じ程度	主に女性で 男性が補助	いつも女性	無回答	
全体	1,023	0.3%	1.0%	49.8%	32.5%	14.9%	1.7%	
性別 女性	613	0.3%	1.0%	49.6%	31.5%	16.5%	1.1%	
性別 男性	392	0.3%	0.8%	50.5%	34.4%	11.7%	2.3%	
女性	10・20歳代	116	-	1.7%	75.9%	16.4%	5.2%	0.9%
	30歳代	68	1.5%	-	73.5%	20.6%	2.9%	1.5%
	40歳代	110	-	1.8%	64.5%	28.2%	4.5%	0.9%
	50歳代	94	-	-	57.4%	33.0%	7.4%	2.1%
	60歳代	93	-	1.1%	52.7%	30.1%	16.1%	-
	70歳以上	194	0.5%	1.0%	20.1%	41.8%	35.1%	1.5%
男性	10・20歳代	67	-	-	82.1%	14.9%	3.0%	-
	30歳代	35	-	5.7%	74.3%	17.1%	2.9%	-
	40歳代	56	-	-	66.1%	26.8%	7.1%	-
	50歳代	83	-	-	48.2%	39.8%	9.6%	2.4%
	60歳代	55	-	1.8%	47.3%	38.2%	9.1%	3.6%
	70歳以上	124	0.8%	-	29.0%	45.2%	21.0%	4.0%

年代別にみると、男女ともに年代が下がるほど「男女が同じ程度」が高くなり、男性の10・20歳代で82.1%となっている。一方、男女ともに70歳以上は『いつも女性』が女性で76.9%、男性で66.2%となっており、女性は「いつも女性」が35.1%と高くなっている。

【表3-6 性別、年代別 家庭における性別による役割分担の意識 - (カ) 掃除】

	回答者数 (n)	いつも男性	主に男性で 女性が補助	男女が同じ程度	主に女性で 男性が補助	いつも女性	無回答	
全体	1,023	0.2%	1.8%	57.2%	28.3%	10.8%	1.9%	
性別 女性	613	0.2%	1.3%	58.1%	27.1%	12.2%	1.1%	
性別 男性	392	0.3%	1.8%	56.6%	30.1%	8.4%	2.8%	
女性	10・20歳代	116	-	2.6%	80.2%	12.1%	4.3%	0.9%
	30歳代	68	-	-	77.9%	16.2%	4.4%	1.5%
	40歳代	110	-	0.9%	71.8%	21.8%	4.5%	0.9%
	50歳代	94	-	-	68.1%	24.5%	5.3%	2.1%
	60歳代	93	-	1.1%	60.2%	31.2%	7.5%	-
	70歳以上	194	0.5%	1.5%	32.5%	37.6%	26.3%	1.5%
男性	10・20歳代	67	-	1.5%	86.6%	10.4%	1.5%	-
	30歳代	35	-	5.7%	77.1%	14.3%	2.9%	-
	40歳代	56	-	3.6%	73.2%	17.9%	5.4%	-
	50歳代	83	-	1.2%	60.2%	26.5%	9.6%	2.4%
	60歳代	55	-	1.8%	54.5%	32.7%	5.5%	5.5%
	70歳以上	124	0.8%	0.8%	32.3%	47.6%	13.7%	4.8%

年代別にみると、男女ともに年代が下がるほど「男女が同じ程度」が高くなり、男女の10・20歳代は8割を超えている。一方、男女ともに70歳以上は『いつも女性』が女性で63.9%、男性で61.3%と高くなっている。

【表3-7 性別、年代別 家庭における性別による役割分担の意識 - (キ) 老親や病身者の介護や看護】

	回答者数 (n)	いつも男性	主に男性で 女性が補助	男女が同じ程度	主に女性で 男性が補助	いつも女性	無回答	
全体	1,023	0.2%	1.9%	71.4%	18.3%	5.7%	2.6%	
性別 女性	613	0.2%	1.3%	72.6%	16.8%	6.9%	2.3%	
性別 男性	392	0.3%	2.3%	69.9%	20.9%	3.8%	2.8%	
女性	10・20歳代	116	-	1.7%	84.5%	11.2%	1.7%	0.9%
	30歳代	68	-	-	86.8%	8.8%	2.9%	1.5%
	40歳代	110	-	0.9%	85.5%	10.9%	1.8%	0.9%
	50歳代	94	-	1.1%	83.0%	11.7%	2.1%	2.1%
	60歳代	93	-	3.2%	76.3%	12.9%	5.4%	2.2%
	70歳以上	194	0.5%	1.0%	51.0%	27.8%	15.5%	4.1%
男性	10・20歳代	67	-	3.0%	86.6%	4.5%	6.0%	-
	30歳代	35	-	5.7%	74.3%	17.1%	2.9%	-
	40歳代	56	-	1.8%	83.9%	12.5%	-	1.8%
	50歳代	83	-	3.6%	63.9%	24.1%	4.8%	3.6%
	60歳代	55	-	1.8%	69.1%	21.8%	3.6%	3.6%
	70歳以上	124	0.8%	1.6%	58.9%	29.0%	5.6%	4.0%

年代別にみると、女性では60歳代以下は「男女が同じ程度」が75%以上となっているが、70歳以上では「男女が同じ程度」が5割程度で、「いつも女性」が43.3%となっている。男性では40歳代以下は「男女が同じ程度」が7～8割台となっているが、50歳代以上は5～6割台で、50歳代は同年代の女性と比べ19.1ポイント低くなっている。

【表3-8 性別、年代別 家庭における性別による役割分担の意識 - (ク) 子どもの教育としつけ】

	回答者数 (n)	いつも男性	主に男性で 女性が補助	男女が同じ程度	主に女性で 男性が補助	いつも女性	無回答	
全体	1,023	0.3%	1.6%	75.5%	16.8%	3.8%	2.1%	
性別 女性	613	0.5%	1.0%	78.3%	13.9%	4.7%	1.6%	
性別 男性	392	-	2.0%	71.7%	21.4%	2.3%	2.6%	
女性	10・20歳代	116	-	0.9%	82.8%	12.9%	2.6%	0.9%
	30歳代	68	-	1.5%	82.4%	11.8%	1.5%	2.9%
	40歳代	110	-	-	89.1%	8.2%	0.9%	1.8%
	50歳代	94	-	-	86.2%	9.6%	2.1%	2.1%
	60歳代	93	-	1.1%	80.6%	12.9%	5.4%	-
	70歳以上	194	1.5%	1.5%	64.9%	20.1%	9.8%	2.1%
男性	10・20歳代	67	-	-	88.1%	11.9%	-	-
	30歳代	35	-	2.9%	77.1%	20.0%	-	-
	40歳代	56	-	1.8%	73.2%	25.0%	-	-
	50歳代	83	-	-	67.5%	24.1%	4.8%	3.6%
	60歳代	55	-	1.8%	80.0%	14.5%	-	3.6%
	70歳以上	124	-	4.0%	62.1%	25.8%	4.0%	4.0%

年代別にみると、女性では60歳代以下は「男女が同じ程度」が8割を超えている。男性では10・20歳代と60歳代で「男女が同じ程度」が高く8割を超えている。男性の50歳代では「男女が同じ程度」は同年代の女性と比べ18.7ポイント低くなっている。

II 市民意識調査の結果

【表3-9 性別、年代別 家庭における性別による役割分担の意識 - (ケ) 育児（乳幼児の世話）】

	回答者数 (n)	いつも男性	主に男性で 女性が補助	男女が同じ程度	主に女性で 男性が補助	いつも女性	無回答	
全体	1,023	0.2%	0.7%	41.9%	45.6%	9.4%	2.2%	
性別 女性	613	0.2%	0.7%	44.9%	41.9%	10.8%	1.6%	
性別 男性	392	0.3%	0.3%	37.8%	51.5%	7.1%	3.1%	
女性	10・20 歳代	116	-	1.7%	65.5%	27.6%	4.3%	0.9%
	30 歳代	68	-	-	57.4%	38.2%	2.9%	1.5%
	40 歳代	110	-	-	57.3%	38.2%	3.6%	0.9%
	50 歳代	94	-	1.1%	48.9%	43.6%	4.3%	2.1%
	60 歳代	93	-	-	45.2%	45.2%	9.7%	-
	70 歳以上	194	0.5%	0.5%	26.3%	46.4%	23.2%	3.1%
男性	10・20 歳代	67	-	-	67.2%	29.9%	3.0%	-
	30 歳代	35	-	-	54.3%	40.0%	2.9%	2.9%
	40 歳代	56	-	-	42.9%	51.8%	5.4%	-
	50 歳代	83	-	-	37.3%	53.0%	4.8%	4.8%
	60 歳代	55	-	1.8%	38.2%	50.9%	5.5%	3.6%
	70 歳以上	124	0.8%	-	21.8%	61.3%	12.1%	4.0%

年代別にみると、女性では「男女が同じ程度」は年代が下がるほど高くなっており、10・20 歳代で 65.5%となっている。男性でも 30 歳代以下では「男女が同じ程度」が5割を超えているが、40 歳代以上では『いつも女性』が5割以上を占めており、中でも 40 歳代と 50 歳代は同年代の女性と比べて差が大きい。

【表3-10 性別、年代別 家庭における性別による役割分担の意識 - (コ) 自治会、町内会など地域活動への参加】

	回答者数 (n)	いつも男性	主に男性で 女性が補助	男女が同じ程度	主に女性で 男性が補助	いつも女性	無回答	
全体	1,023	1.7%	15.4%	65.5%	11.3%	4.3%	1.8%	
性別 女性	613	1.1%	14.4%	68.2%	9.8%	5.4%	1.1%	
性別 男性	392	2.6%	17.1%	62.0%	13.0%	2.8%	2.6%	
女性	10・20 歳代	116	-	6.9%	79.3%	11.2%	1.7%	0.9%
	30 歳代	68	-	10.3%	77.9%	7.4%	2.9%	1.5%
	40 歳代	110	1.8%	10.9%	76.4%	7.3%	2.7%	0.9%
	50 歳代	94	-	13.8%	76.6%	6.4%	2.1%	1.1%
	60 歳代	93	-	16.1%	66.7%	8.6%	7.5%	1.1%
	70 歳以上	194	2.6%	19.1%	52.6%	14.4%	9.8%	1.5%
男性	10・20 歳代	67	-	11.9%	80.6%	6.0%	1.5%	-
	30 歳代	35	2.9%	20.0%	68.6%	2.9%	2.9%	2.9%
	40 歳代	56	3.6%	16.1%	67.9%	12.5%	-	-
	50 歳代	83	1.2%	15.7%	54.2%	22.9%	3.6%	2.4%
	60 歳代	55	1.8%	12.7%	72.7%	7.3%	1.8%	3.6%
	70 歳以上	124	4.0%	21.0%	51.6%	14.5%	4.8%	4.0%

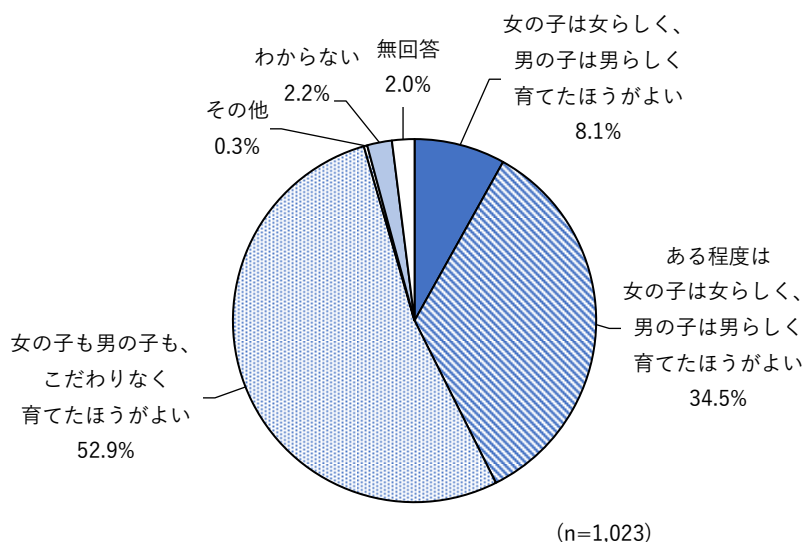
年代別にみると、女性では年代が上がるほど『いつも男性』が高くなっているが、『いつも男性』と『いつも女性』の割合はいずれの年齢層も差は小さくなっている。男性では 50 歳代で『いつも女性』が高く 26.5%となっている。

3. 子育てや教育について

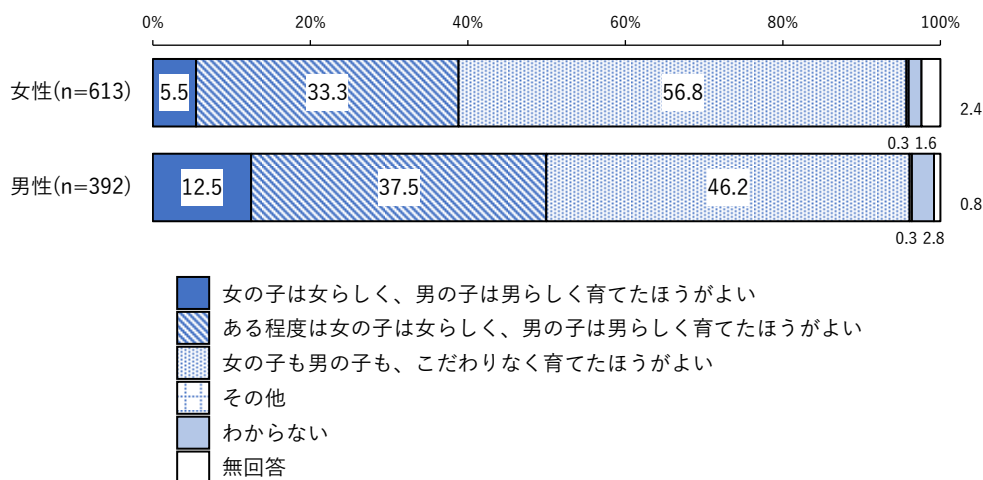
(1) 希望する子どもの育て方

問4 あなたは、子どもをどのように育てたほうがよいと思いますか。子どもがいない方も、仮にいたと想定してお答えください。(〇は1つ)

【図4-1 希望する子どもの育て方】



【図4-2 性別 希望する子どもの育て方】



希望する子どもの育て方は、「女の子も男の子も、こだわりなく育てたほうがよい」が 52.9%で最も高く、次いで「ある程度は女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」が 34.5%、「女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」が 8.1%となっている。

性別にみると、女性では「女の子も男の子も、こだわりなく育てたほうがよい」が 56.8%と半数を超えており、男性より 10.6 ポイント高くなっている。「女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」と「ある程度は女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」を合わせると、女性で 38.8%、男性で 50.0%と、男性の方が「ある程度は」も含め、女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよいという回答が高くなっている。

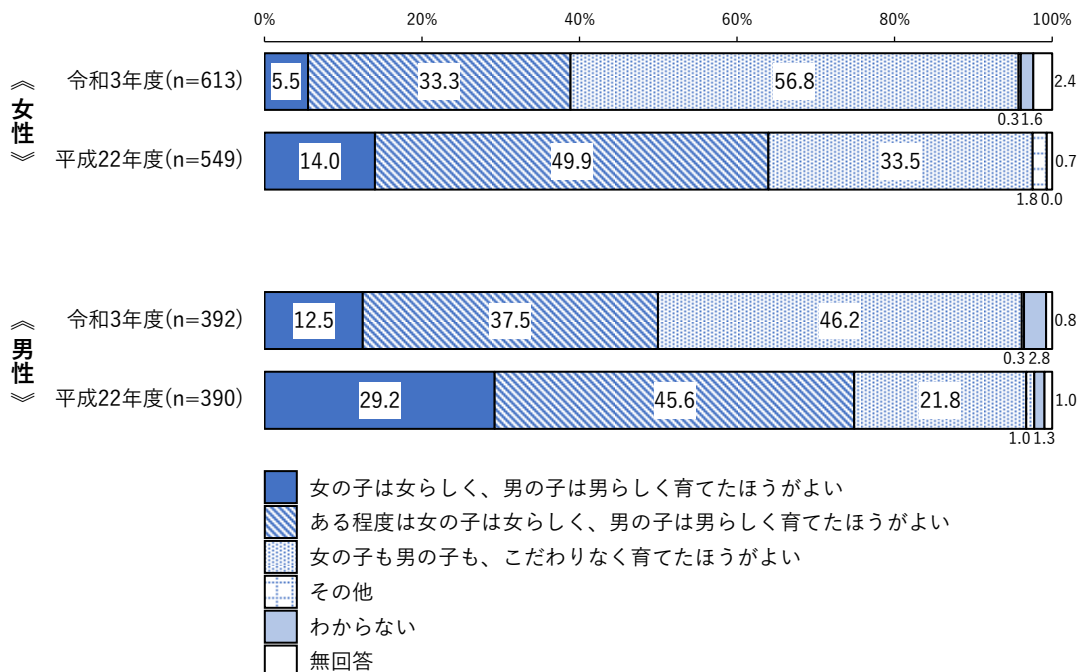
II 市民意識調査の結果

【表4-1 年代別 希望する子どもの育て方】

	回答者数 (n)	女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい	ある程度は女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい	女の子も男の子も、こだわりなく育てたほうがよい	その他	わからない	無回答	
全体	1,023	8.1%	34.5%	52.9%	0.3%	2.2%	2.0%	
女性	10・20 歳代	116	0.9%	27.6%	67.2%	1.7%	2.6%	-
	30 歳代	68	1.5%	41.2%	57.4%	-	-	-
	40 歳代	110	0.9%	32.7%	60.9%	-	3.6%	1.8%
	50 歳代	94	4.3%	26.6%	64.9%	1.1%	-	3.2%
	60 歳代	93	8.6%	24.7%	62.4%	-	2.2%	2.2%
	70 歳以上	194	10.3%	39.2%	45.4%	-	1.0%	4.1%
男性	10・20 歳代	67	6.0%	28.4%	62.7%	-	3.0%	-
	30 歳代	35	8.6%	37.1%	48.6%	2.9%	2.9%	-
	40 歳代	56	7.1%	50.0%	39.3%	-	3.6%	-
	50 歳代	83	20.5%	37.3%	37.3%	-	4.8%	-
	60 歳代	55	9.1%	36.4%	49.1%	-	-	5.5%
	70 歳以上	124	13.7%	34.7%	49.2%	-	2.4%	-

年代別にみると、女性では 60 歳代以下は「女の子も男の子も、こだわりなく育てたほうがよい」が過半数を占めている。男性では 40 歳代と 50 歳代で「女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」と「ある程度は女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」を合わせた割合が高く5割を超えており、同年代の女性と比べて違いが目立つ。

【図4-3 経年比較 希望する子どもの育て方】

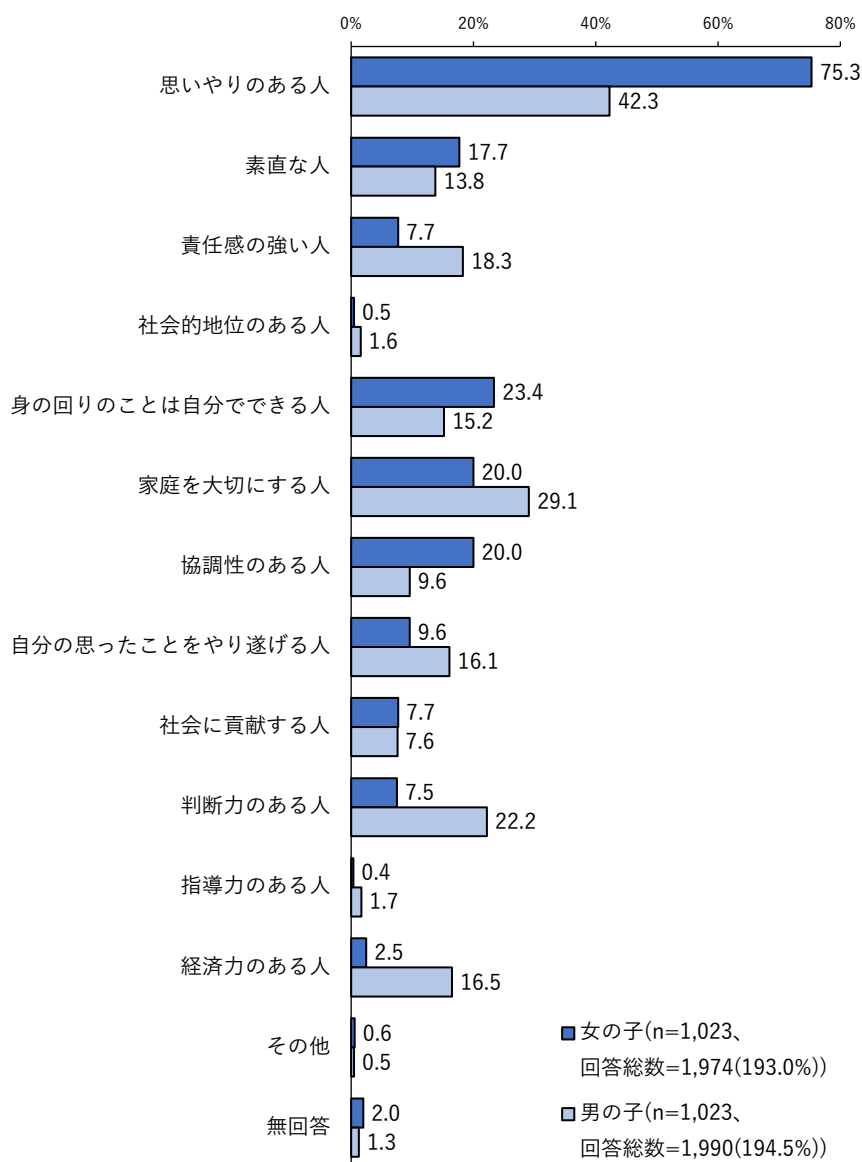


経年比較をみると、男女ともに「女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」と「ある程度は女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」を合わせた割合は低くなっており、女性で 25.1 ポイント、男性で 24.8 ポイントの減少となっている。「女の子も男の子も、こだわりなく育てたほうがよい」は、女性で 23.3 ポイント、男性で 24.4 ポイントの増加となっている。

(2) 子どもの将来像

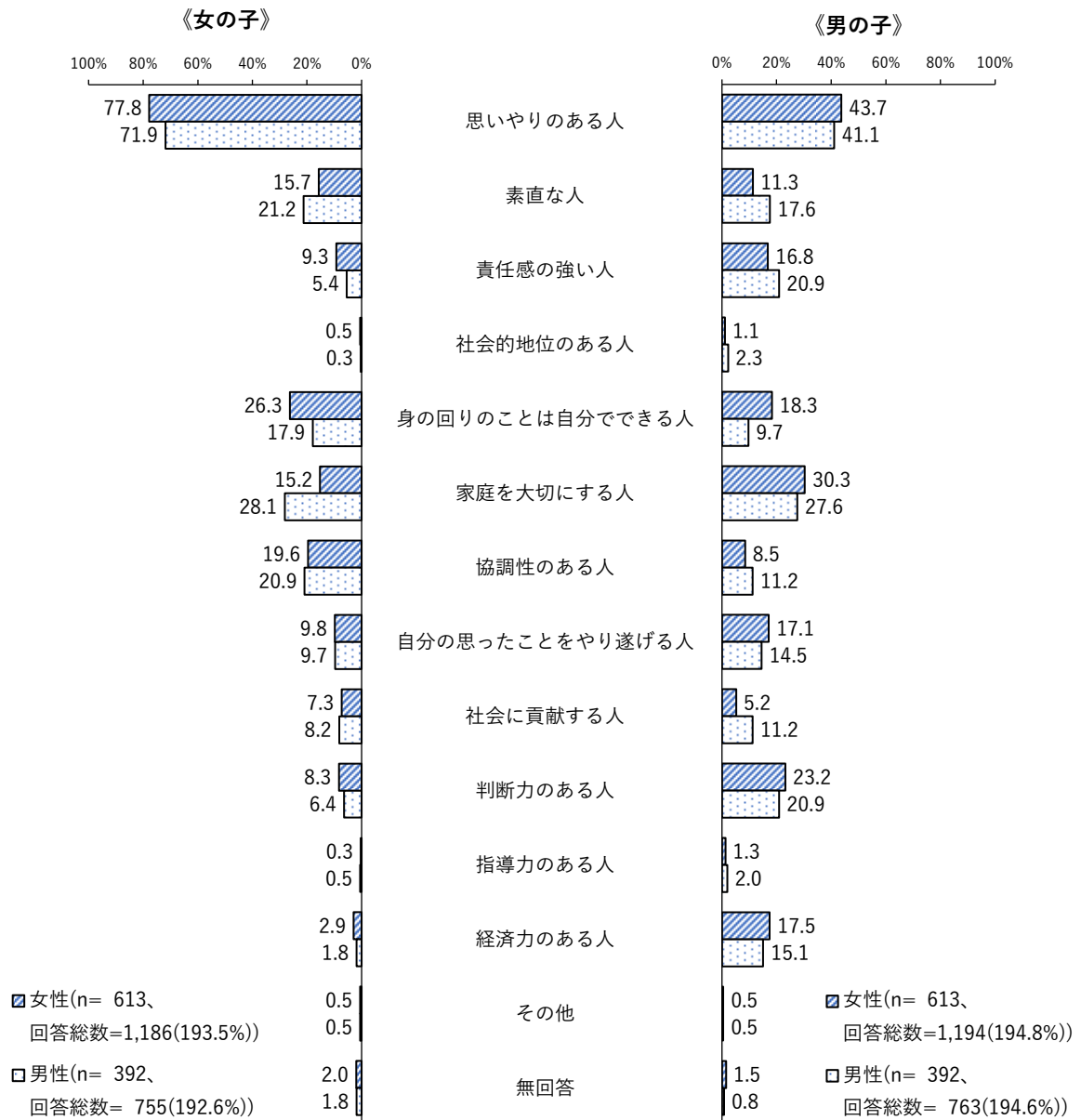
問5 あなたは、子どもが将来どのような人に育ててほしいと思いますか。下記の項目から女の子、男の子それぞれの場合について、特にあてはまる選択肢番号を2つ以内で記入してください。子どもがいない方も、仮にいたと想定してお答えください。

【図5-1 子どもの将来像】



子どもの将来像について、女の子は、「思いやりのある人」が 75.3%で最も高く、次いで「身の回りのことは自分でできる人」が 23.4%、「家庭を大切にする人」と「協調性のある人」がともに 20.0%、「素直な人」が 17.7%となっている。男の子は、「思いやりのある人」が 42.3%で最も高く、次いで「家庭を大切にする人」が 29.1%、「判断力のある人」が 22.2%、「責任感の強い人」が 18.3%、「経済力のある人」が 16.5%、「自分の思ったことをやり遂げる人」が 16.1%、「身の回りのことは自分でできる人」が 15.2%、「素直な人」が 13.8%となっている。女の子に対しては「思いやりのある人」が突出して高いが、男の子に対する希望は分散している。

【図5-2 性別 子どもの将来像】



性別にみると、女の子は、男女ともに「思いやりのある人」が最も高く、女性で 77.8%、男性で 71.9%となっている。次いで、女性は「身の回りのことは自分でできる人」が 26.3%、男性は「家庭を大切にする人」が 28.1%となっており、「家庭を大切にする人」は男性の方が 12.9 ポイント高くなっている。男の子も、男女ともに「思いやりのある人」が最も高く、女性で 43.7%、男性 41.1%となっている。次いで、「家庭を大切にする人」が女性で 30.3%、男性で 27.6%となっている。

【表5-1 年代別 子どもの将来像（女性）】

	回答者数 (n)	思いやりのある人	素直な人	責任感の強い人	人 社会的地位のある	身 身の回りのことは自分でできる人	人 家庭を大切にす	協調性のある人	を やり遂げる人	自 分の思ったこと	社 会に貢献する人	判 断力のある人	指 導力のある人	経 済力のある人	そ の他	無 回答
女の子	総数	613	77.8%	15.7%	9.3%	0.5%	26.3%	15.2%	19.6%	9.8%	7.3%	8.3%	0.3%	2.9%	0.5%	2.0%
	10・20歳代	116	70.7%	23.3%	5.2%	-	28.4%	17.2%	19.8%	22.4%	1.7%	4.3%	-	3.4%	2.6%	-
	30歳代	68	75.0%	14.7%	1.5%	-	30.9%	19.1%	17.6%	16.2%	4.4%	10.3%	-	1.5%	2.9%	-
	40歳代	110	73.6%	15.5%	4.5%	0.9%	35.5%	13.6%	14.5%	10.9%	6.4%	11.8%	-	5.5%	-	2.7%
	50歳代	94	79.8%	22.3%	7.4%	1.1%	24.5%	9.6%	21.3%	9.6%	6.4%	7.4%	-	4.3%	-	2.1%
	60歳代	93	81.7%	10.8%	12.9%	1.1%	19.4%	19.4%	17.2%	9.7%	9.7%	11.8%	1.1%	2.2%	-	-
	70歳以上	194	77.3%	14.9%	16.0%	-	23.2%	13.4%	24.7%	5.2%	9.3%	4.6%	0.5%	1.0%	-	3.6%
男の子	総数	613	43.7%	11.3%	16.8%	1.1%	18.3%	30.3%	8.5%	17.1%	5.2%	23.2%	1.3%	17.5%	0.5%	1.5%
	10・20歳代	116	52.6%	17.2%	12.1%	0.9%	26.7%	33.6%	8.6%	24.1%	1.7%	12.9%	0.9%	5.2%	2.6%	-
	30歳代	68	60.3%	10.3%	10.3%	-	25.0%	26.5%	7.4%	20.6%	2.9%	17.6%	-	11.8%	2.9%	-
	40歳代	110	44.5%	9.1%	18.2%	0.9%	25.5%	29.1%	8.2%	10.9%	5.5%	18.2%	-	26.4%	-	0.9%
	50歳代	94	57.4%	14.9%	17.0%	-	18.1%	22.3%	16.0%	13.8%	6.4%	13.8%	-	13.8%	-	2.1%
	60歳代	93	48.4%	8.6%	16.1%	2.2%	18.3%	25.8%	9.7%	17.2%	6.5%	26.9%	3.2%	15.1%	-	-
	70歳以上	194	25.3%	11.9%	20.1%	1.5%	10.3%	37.1%	5.2%	20.1%	5.2%	31.4%	2.6%	20.6%	-	3.1%

【表5-2 年代別 子どもの将来像（男性）】

	回答者数 (n)	思いやりのある人	素直な人	責任感の強い人	人 社会的地位のある	身 身の回りのことは自分でできる人	人 家庭を大切にす	協調性のある人	を やり遂げる人	自 分の思ったこと	社 会に貢献する人	判 断力のある人	指 導力のある人	経 済力のある人	そ の他	無 回答
女の子	総数	392	71.9%	21.2%	5.4%	0.3%	17.9%	28.1%	20.9%	9.7%	8.2%	6.4%	0.5%	1.8%	0.5%	1.8%
	10・20歳代	67	73.1%	20.9%	4.5%	-	16.4%	25.4%	19.4%	20.9%	6.0%	6.0%	-	1.5%	1.5%	1.5%
	30歳代	35	65.7%	31.4%	5.7%	-	20.0%	22.9%	14.3%	22.9%	2.9%	8.6%	-	5.7%	-	-
	40歳代	56	64.3%	19.6%	3.6%	-	17.9%	26.8%	17.9%	10.7%	12.5%	14.3%	-	1.8%	1.8%	3.6%
	50歳代	83	77.1%	22.9%	2.4%	-	9.6%	37.3%	18.1%	10.8%	9.6%	4.8%	-	3.6%	-	-
	60歳代	55	72.7%	14.5%	12.7%	-	20.0%	30.9%	16.4%	5.5%	12.7%	-	1.8%	-	-	1.8%
	70歳以上	124	73.4%	19.4%	5.6%	0.8%	22.6%	23.4%	28.2%	4.0%	5.6%	5.6%	0.8%	0.8%	0.8%	2.4%
男の子	総数	392	41.1%	17.6%	20.9%	2.3%	9.7%	27.6%	11.2%	14.5%	11.2%	20.9%	2.0%	15.1%	0.5%	0.8%
	10・20歳代	67	58.2%	26.9%	10.4%	-	10.4%	17.9%	14.9%	28.4%	7.5%	14.9%	1.5%	6.0%	1.5%	-
	30歳代	35	51.4%	20.0%	5.7%	5.7%	17.1%	31.4%	8.6%	17.1%	8.6%	14.3%	-	20.0%	-	-
	40歳代	56	41.1%	17.9%	23.2%	3.6%	12.5%	17.9%	12.5%	12.5%	14.3%	23.2%	1.8%	12.5%	1.8%	1.8%
	50歳代	83	50.6%	14.5%	16.9%	-	10.8%	25.3%	9.6%	15.7%	13.3%	18.1%	2.4%	19.3%	-	-
	60歳代	55	43.6%	16.4%	23.6%	-	9.1%	30.9%	16.4%	10.9%	14.5%	12.7%	-	9.1%	-	1.8%
	70歳以上	124	25.0%	13.7%	30.6%	4.0%	6.5%	33.9%	8.9%	13.7%	9.7%	27.4%	3.2%	16.9%	0.8%	0.8%

年代別にみると、女の子では、「思いやりのある人」は女性の50歳代と60歳代で高くなっている。また、女性では40歳代以下で「身の回りのことは自分でできる人」が高く、男性では30歳代で「素直な人」、50歳代と60歳代で「家庭を大切にす人」、70歳以上で「協調性のある人」が他の年代よりも高くなっている。

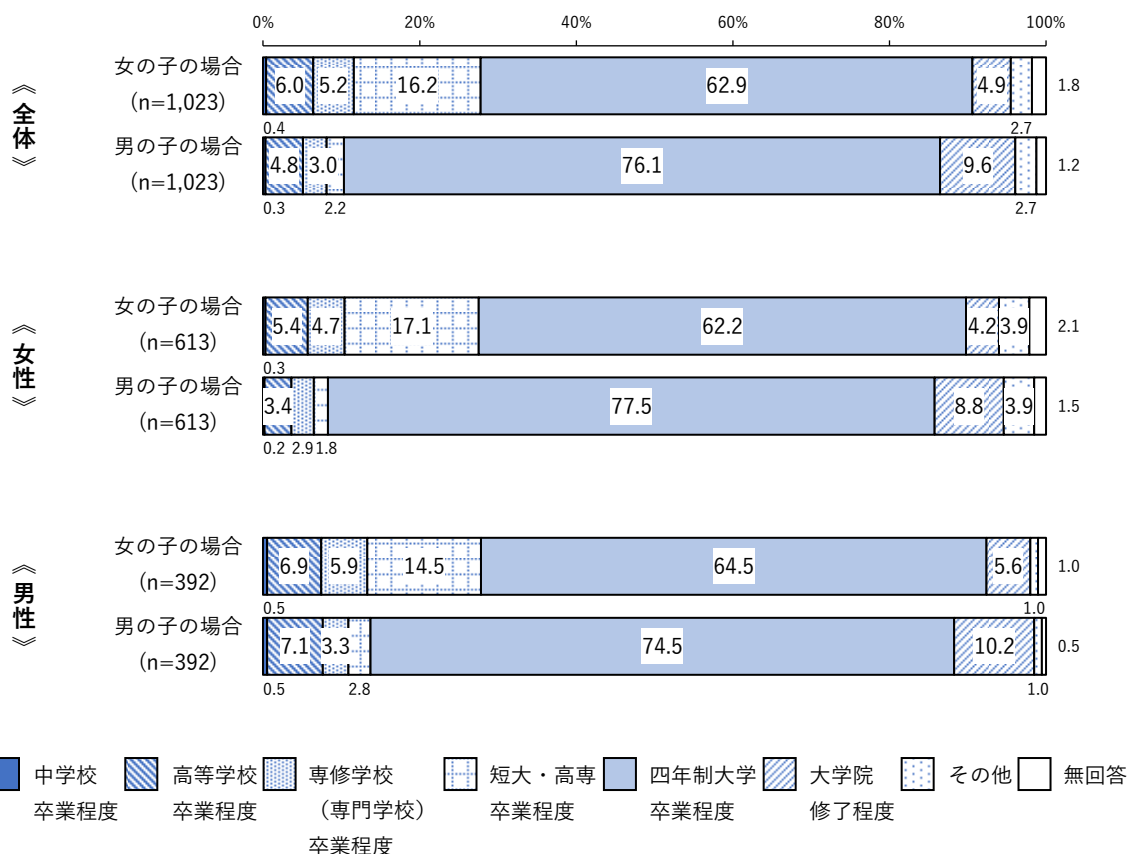
男の子では、女性では40歳代以下で「身の回りのことは自分でできる人」が高くなっており、60歳代以上で「判断力のある人」が高くなっている。男性では年代が下がるほど「素直な人」が高くなる傾向であり、10・20歳代で「自分の思ったことをやり遂げる人」が高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

(3) 子どもに受けさせたい教育の程度

問6 あなたが、子どもに受けさせたい（受けさせたかった）教育はどの程度までですか。子どもがいない方も仮にいたと仮定してお答えください。（それぞれ〇は1つ）

【図6-1 性別 子どもに受けさせたい教育の程度】



子どもに受けさせたい教育の程度は、女の子の場合、「四年制大学卒業程度」が 62.9%で最も高く、次いで「短大・高専卒業程度」が 16.2%、「高等学校卒業程度」が 6.0%、「専修学校(専門学校)卒業程度」が 5.2%となっている。男の子の場合、「四年制大学卒業程度」が 76.1%で最も高く、次いで「大学院修了程度」が 9.6%、「高等学校卒業程度」が 4.8%となっている。

『四年制大学卒業以上』（「四年制大学卒業程度」と「大学院修了程度」の合計）と回答した割合をみると、全体では男の子の場合 85.7%、女の子の場合 67.8%と、男の子の方が女の子を大きく上回っており、両者の差は 17.9ポイントとなっている。

性別にみると、女の子の場合、「四年制大学卒業程度」は男性の方がやや高く、「短大・高専卒業程度」は女性の方がやや高くなっている。男の子の場合、「四年制大学卒業程度」は女性の方がやや高く、「高等学校卒業程度」「大学院修了程度」は男性の方がやや高くなっている。

『四年制大学卒業以上』の教育を受けさせたいという回答割合は、女性で女の子 66.4%、男の子 86.3%、男性で女の子 70.1%、男の子 84.7%と、いずれも男の子の場合の方が高く、女の子との間の差(女の子よりも男の子の方により高い学歴をつけさせたいという希望)は、女性 19.9ポイント、男性 14.6ポイントと、女性の方が大きい。

【表6-1 年代別 子どもに受けさせたい教育の程度（女性）】

		回答者数 (n)	中学校卒業程度	高等学校卒業程度	専修学校（専門学校）卒業程度	短大・高専卒業程度	4年制大学卒業程度	大学院修了程度	その他	無回答
女の子	10・20歳代	116	0.9%	6.0%	3.4%	12.9%	70.7%	0.9%	5.2%	-
	30歳代	68	-	8.8%	7.4%	11.8%	66.2%	2.9%	2.9%	-
	40歳代	110	-	3.6%	7.3%	15.5%	64.5%	3.6%	3.6%	1.8%
	50歳代	94	-	8.5%	4.3%	6.4%	67.0%	4.3%	6.4%	3.2%
	60歳代	93	-	2.2%	3.2%	10.8%	67.7%	8.6%	6.5%	1.1%
	70歳以上	194	0.5%	5.7%	4.1%	30.4%	51.0%	3.6%	1.0%	3.6%
	合計	676	-	-	-	-	-	-	-	-
男の子	10・20歳代	116	0.9%	5.2%	2.6%	4.3%	79.3%	2.6%	5.2%	-
	30歳代	68	-	7.4%	4.4%	1.5%	79.4%	4.4%	2.9%	-
	40歳代	110	-	2.7%	4.5%	1.8%	81.8%	5.5%	3.6%	-
	50歳代	94	-	5.3%	4.3%	1.1%	72.3%	7.4%	6.4%	3.2%
	60歳代	93	-	2.2%	1.1%	1.1%	74.2%	14.0%	6.5%	1.1%
	70歳以上	194	-	2.1%	2.1%	2.1%	77.8%	12.4%	1.0%	2.6%
	合計	676	-	-	-	-	-	-	-	-

【表6-2 年代別 子どもに受けさせたい教育の程度（男性）】

		回答者数 (n)	中学校卒業程度	高等学校卒業程度	専修学校（専門学校）卒業程度	短大・高専卒業程度	4年制大学卒業程度	大学院修了程度	その他	無回答
女の子	10・20歳代	67	-	6.0%	3.0%	10.4%	65.7%	9.0%	6.0%	-
	30歳代	35	2.9%	5.7%	-	11.4%	77.1%	2.9%	-	-
	40歳代	56	-	8.9%	5.4%	12.5%	60.7%	8.9%	3.6%	-
	50歳代	83	-	7.2%	7.2%	14.5%	66.3%	4.8%	-	-
	60歳代	55	-	5.5%	5.5%	16.4%	63.6%	5.5%	1.8%	1.8%
	70歳以上	124	0.8%	4.8%	7.3%	17.7%	62.9%	4.0%	-	2.4%
	合計	315	-	-	-	-	-	-	-	-
男の子	10・20歳代	67	-	9.0%	4.5%	4.5%	67.2%	9.0%	6.0%	-
	30歳代	35	2.9%	5.7%	-	2.9%	77.1%	11.4%	-	-
	40歳代	56	-	8.9%	5.4%	3.6%	67.9%	10.7%	3.6%	-
	50歳代	83	-	8.4%	3.6%	2.4%	79.5%	6.0%	-	-
	60歳代	55	-	7.3%	3.6%	3.6%	74.5%	7.3%	1.8%	1.8%
	70歳以上	124	0.8%	3.2%	2.4%	2.4%	76.6%	13.7%	-	0.8%
	合計	315	-	-	-	-	-	-	-	-

年代別にみると、女の子に対しては、女性の10・20歳代と男性の30歳代で「4年制大学卒業程度」が高く7割台となっている。「短大・高専卒業程度」は女性の70歳以上で30.4%と高くなっており、男性は年代が上がるほど高くなっている。

男の子に対しては、女性の40歳代で「4年制大学卒業程度」が高く8割台となっている。「大学院修了程度」は女性の60歳代と男性の70歳以上でやや高くなっている。

『4年制大学卒業以上』の教育を受けさせたいという回答割合は、男女ともすべての年代で男の子の方が高くなっている。女の子との間の差(女の子よりも男の子の方により高い学歴をつけさせたいという希望)は、70歳以上が最も大きく、男性の70歳以上で女の子66.9%、男の子90.3%と、両者の差は23.4ポイント、女性の70歳以上では、女の子54.6%、男の子90.2%と、その差は35.6ポイントにもなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表6-3 就労の形態・雇用の形態別 子どもに受けさせたい教育について『四年制大学卒業以上』と回答した割合】

	回答者数 (n)	男の子 の場合 (a)	女の子 の場合 (b)	a - b
女性	共働き	85.9%	73.3%	12.6
	片働き（配偶者のみ）	90.2%	69.5%	20.7
男性	共働き	87.3%	78.6%	8.7
	片働き（自分のみ）	90.7%	76.0%	14.7
女性	正規社員・職員	86.7%	78.3%	8.4
	非正規社員・職員	83.7%	65.7%	18.0
男性	正規社員・職員	88.1%	79.0%	9.1
	非正規社員・職員	80.5%	58.5%	22.0

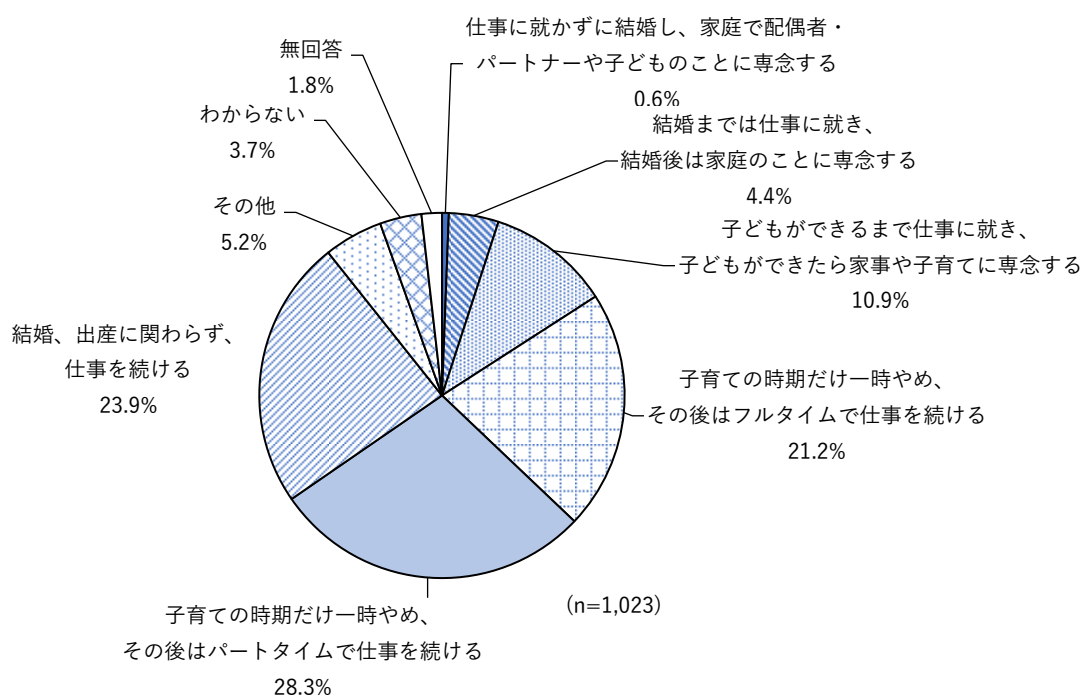
就労の形態と雇用の形態別に子どもに『四年制大学卒業以上』の教育を受けさせたいという回答割合をみると、いずれも男の子の方が女の子を上回っており、その差は、就労の形態では男女とも共働きの方が小さく、雇用形態別では男女とも正規社員・職員の方が小さくなっている。

4. 仕事について

(1) 女性が仕事に就くことについての考え

問7 女性の就労と結婚、出産、子育てとの関わりについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

【図7-1 女性が仕事に就くことについての考え】



女性が仕事に就くことについての考えは、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」が 28.3%で最も高く、次いで「結婚、出産に関わらず、仕事を続ける」が 23.9%、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」が 21.2%となっており、何らかのかたちで仕事を続けるのがよいという考えは 73.4%である。

Ⅱ 市民意識調査の結果

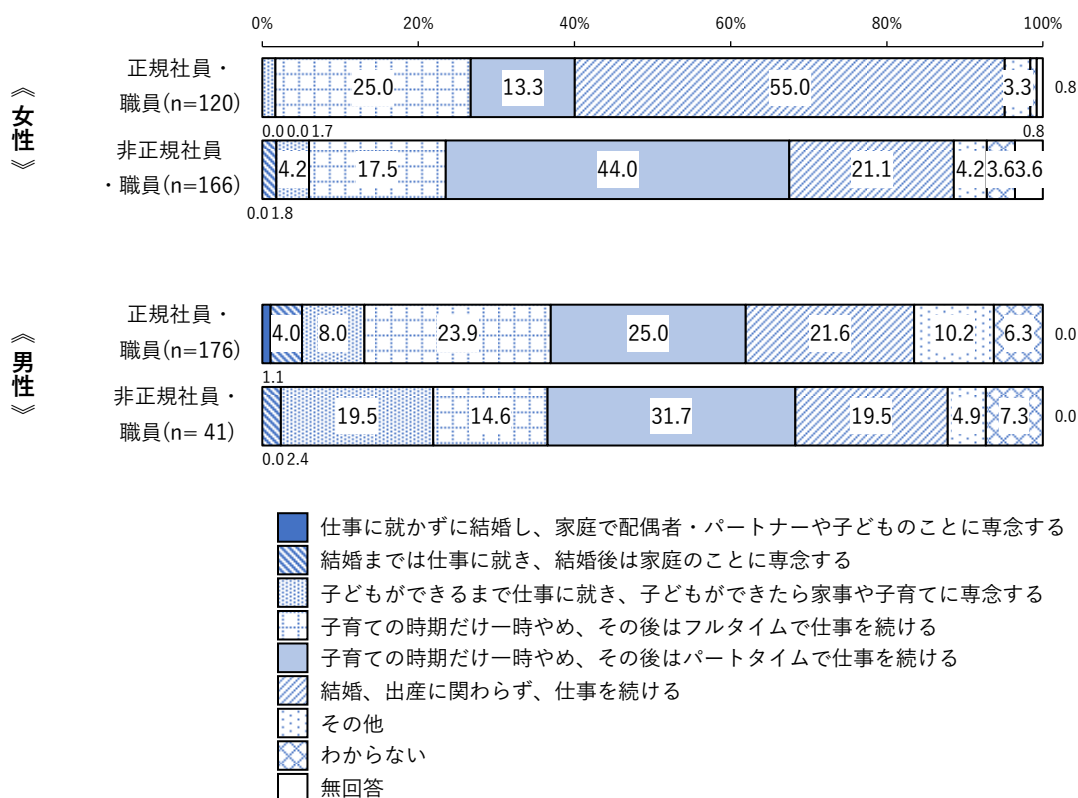
【表7-1 性別、年代別 女性が仕事に就くことについての考え】

	回答者数 (n)	子どもが専念する	仕事に就かず結婚し、家庭で配偶者・パートナーや子どもに専念する	結婚までは仕事に就き、結婚後は家庭のことに専念する	子どもができるまで仕事に就き、子どもがきたら家事や子育てに専念する	子どもができるまで仕事に就き、その後はフルタイムで仕事を続ける	子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	結婚、出産に関わらず、仕事を続ける	その他	わからない	無回答
全体	1,023	0.6%	4.4%	10.9%	21.2%	28.3%	23.9%	5.2%	3.7%	1.8%		
性別												
女性	613	0.2%	3.3%	10.3%	20.2%	31.5%	25.4%	4.1%	2.6%	2.4%		
男性	392	1.0%	5.9%	12.0%	22.7%	23.7%	21.4%	7.1%	5.4%	0.8%		
女性												
10・20歳代	116	-	1.7%	6.0%	25.9%	36.2%	22.4%	6.9%	0.9%	-		
30歳代	68	-	2.9%	5.9%	17.6%	33.8%	36.8%	2.9%	-	-		
40歳代	110	-	5.5%	5.5%	17.3%	30.0%	30.9%	5.5%	2.7%	2.7%		
50歳代	94	-	2.1%	6.4%	25.5%	29.8%	26.6%	3.2%	4.3%	2.1%		
60歳代	93	-	3.2%	4.3%	15.1%	36.6%	30.1%	6.5%	3.2%	1.1%		
70歳以上	194	0.5%	3.1%	21.1%	21.1%	29.9%	14.9%	1.5%	3.1%	4.6%		
男性												
10・20歳代	67	-	4.5%	9.0%	23.9%	22.4%	22.4%	10.4%	7.5%	-		
30歳代	35	-	2.9%	8.6%	31.4%	14.3%	25.7%	11.4%	5.7%	-		
40歳代	56	-	3.6%	5.4%	17.9%	32.1%	17.9%	14.3%	8.9%	-		
50歳代	83	2.4%	4.8%	7.2%	27.7%	27.7%	18.1%	6.0%	6.0%	-		
60歳代	55	1.8%	5.5%	9.1%	29.1%	20.0%	27.3%	3.6%	1.8%	1.8%		
70歳以上	124	0.8%	8.9%	21.0%	14.5%	23.4%	22.6%	2.4%	4.8%	1.6%		

性別にみると、男女ともに「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」が高く、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」「結婚、出産に関わらず、仕事を続ける」を合わせると、女性で77.1%、男性で67.8%と女性が仕事を続けることに賛成する割合は女性の方が9.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、女性では30歳代で「結婚、出産に関わらず、仕事を続ける」が高くなっている。男性では30歳代で「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」が高く、40歳代で「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」が高くなっている。

【図7-2 職業別 女性が仕事に就くことについての考え】

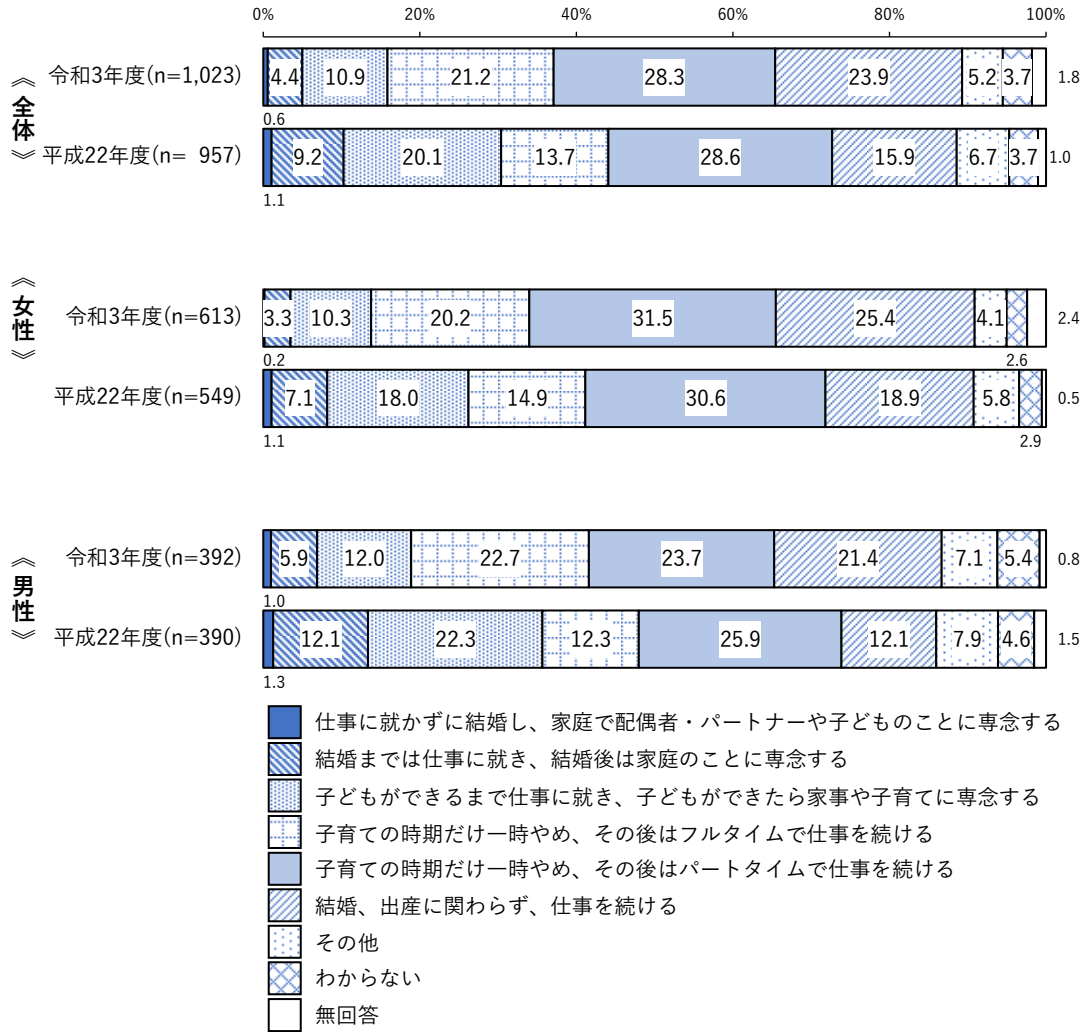


職業別にみると、女性では、正規社員・職員で「結婚、出産に関わらず、仕事続ける」が 55.0%で最も高いが、非正規社員・職員では「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事続ける」が 44.0%で最も高くなっている。

男性では、正規社員・職員、非正規社員・職員ともに「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事続ける」が最も高く、女性に比べて差が小さい。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【図7-3 経年比較 女性が仕事に就くことについての考え】

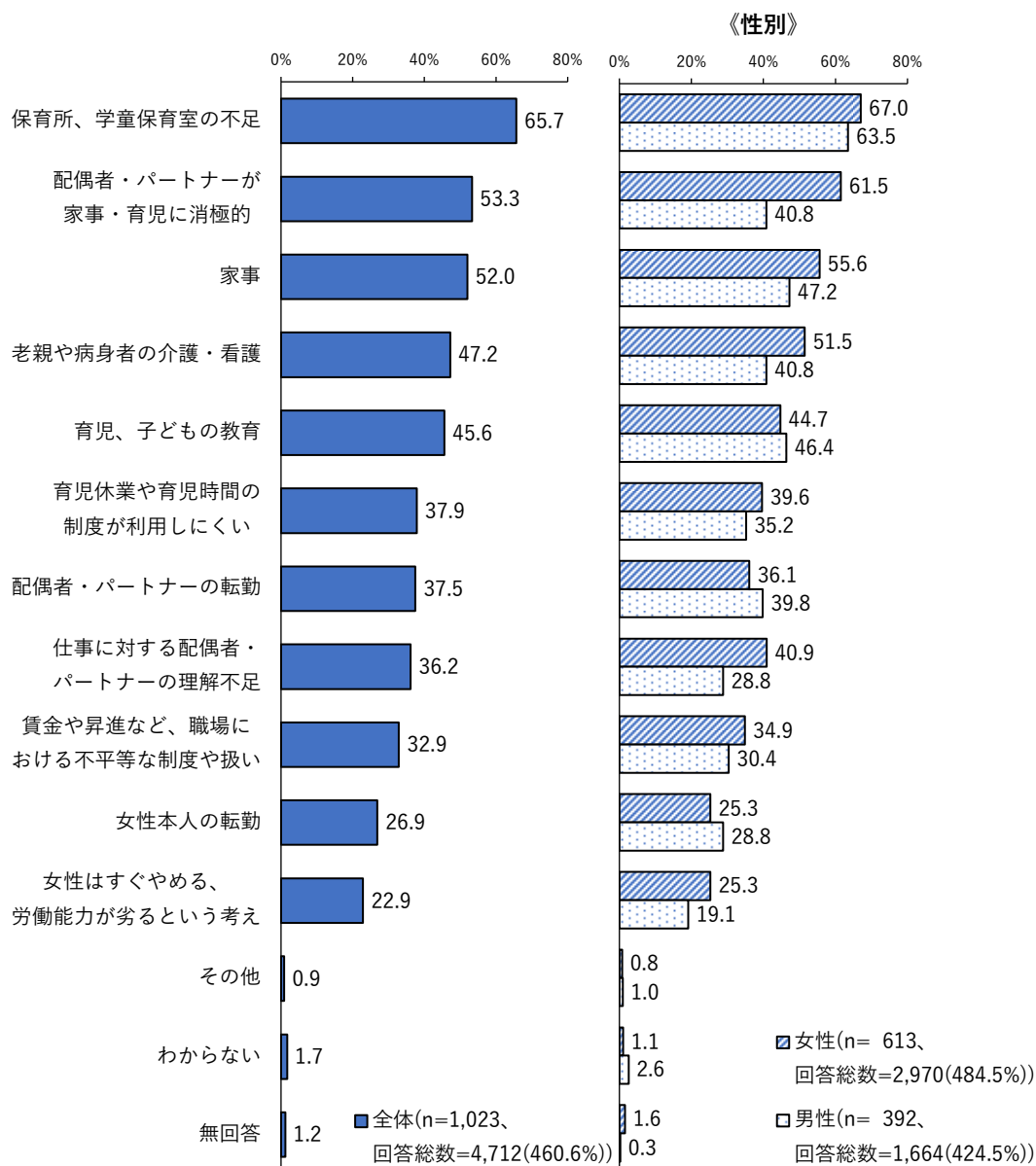


経年比較をみると、男女ともに「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」と「結婚、出産に関わらず、仕事を続ける」は大幅に高くなっている。一方、「結婚までは仕事に就き、結婚後は家庭のことに専念する」「子どもができるまで仕事に就き、子どもができたなら家事や子育てに専念する」といった結婚・出産後は家庭や子育てに専念するという人は、前回調査より、女性で11.5ポイント、男性で16.5ポイントの減少となっており、男性で「子どもができるまで仕事に就き、子どもができたなら家事や子育てに専念する」が大幅に低くなっている。

(2) 女性が働き続ける上で困難だと思うこと

問8 女性が働き続ける場合、どんな困難があると思いますか。(〇はいくつでも)

【図8-1 性別 女性が働き続ける上で困難だと思うこと】



女性が働き続ける上で困難だと思うことは、「保育所、学童保育室の不足」が 65.7%で最も高く、次いで「配偶者・パートナーが家事・育児に消極的」が 53.3%、「家事」が 52.0%となっている。

性別にみると、女性では「保育所、学童保育室の不足」が 67.0%と最も高く、次いで「配偶者・パートナーが家事・育児に消極的」が 61.5%、「家事」が 55.6%となっている。男性においても「保育所、学童保育室の不足」が 63.5%と最も高く、次いで「家事」が 47.2%、「育児、子どもの教育」が 46.4%、「配偶者・パートナーが家事・育児に消極的」と「老親や病身者の介護・看護」がともに 40.8%となっている。「配偶者・パートナーが家事・育児に消極的」は女性が男性より 20.7 ポイント高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

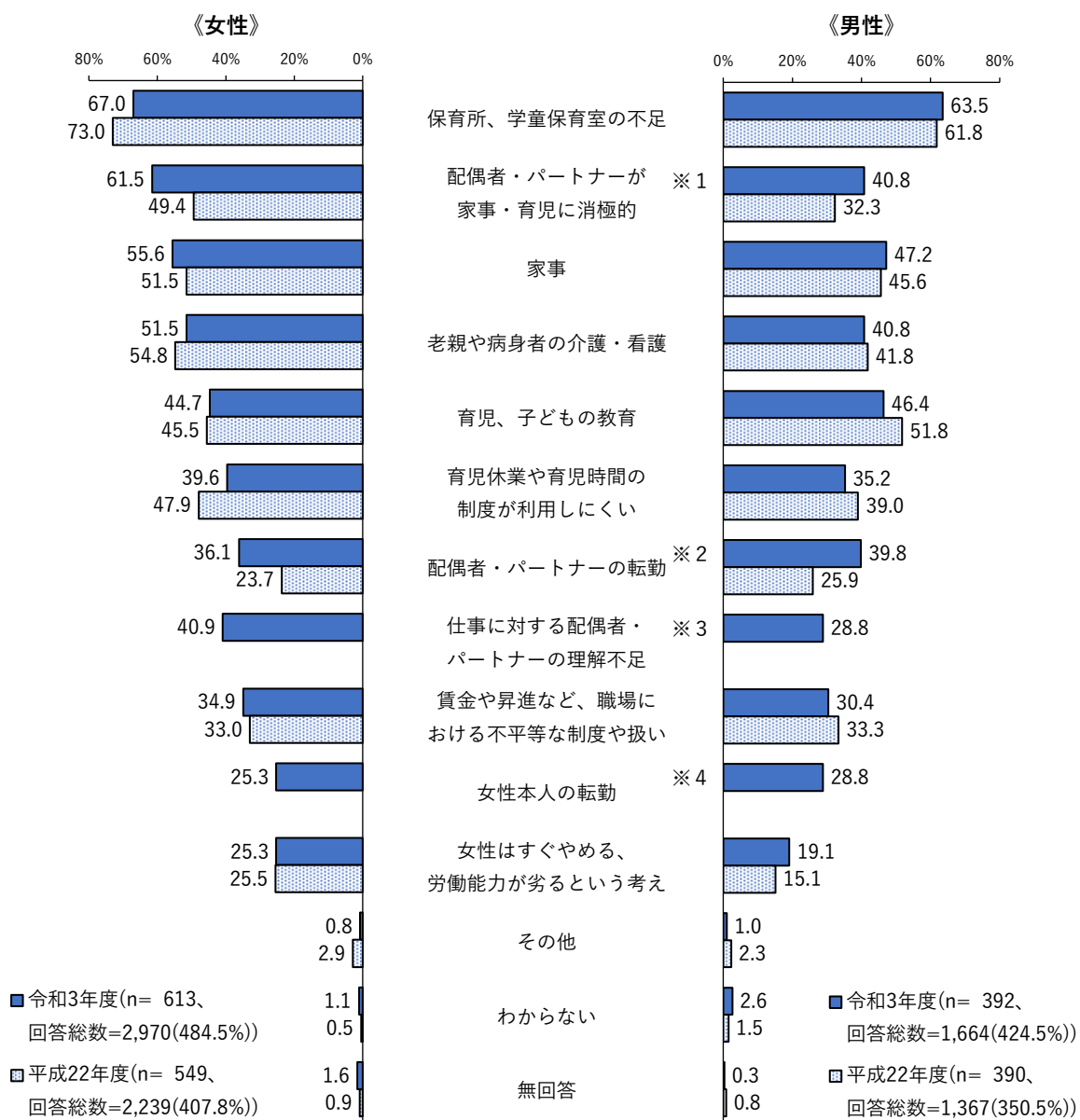
【表8-1 年代別 女性が働き続ける上で困難だと思うこと】

	回答者数 (n)	保育所、学童保育室の不足	配偶者・パートナーが家事・育児に消極的	家事	老親や病身者の介護・看護	育児、子どもの教育	育児休業や育児時間の制度が利用しにくい	配偶者・パートナーの転勤	仕事に対する配偶者・パートナーの理解不足	賃金や昇進など、職場における不平等な制度や扱い	女性本人の転勤	
全体	1,023	65.7%	53.3%	52.0%	47.2%	45.6%	37.9%	37.5%	36.2%	32.9%	26.9%	
女性	10・20歳代	116	68.1%	63.8%	61.2%	41.4%	56.9%	50.0%	30.2%	37.9%	40.5%	15.5%
	30歳代	68	86.8%	67.6%	64.7%	41.2%	47.1%	51.5%	35.3%	39.7%	38.2%	20.6%
	40歳代	110	69.1%	66.4%	62.7%	53.6%	51.8%	37.3%	40.0%	43.6%	30.9%	20.9%
	50歳代	94	76.6%	69.1%	62.8%	57.4%	47.9%	43.6%	41.5%	51.1%	41.5%	34.0%
	60歳代	93	71.0%	71.0%	54.8%	60.2%	37.6%	51.6%	43.0%	41.9%	40.9%	34.4%
	70歳以上	194	52.1%	45.9%	43.8%	49.0%	35.1%	26.3%	30.4%	32.5%	27.8%	22.7%
	男性	10・20歳代	67	50.7%	49.3%	52.2%	25.4%	61.2%	49.3%	35.8%	38.8%	38.8%
30歳代		35	77.1%	45.7%	54.3%	31.4%	57.1%	37.1%	42.9%	28.6%	28.6%	40.0%
40歳代		56	67.9%	39.3%	28.6%	42.9%	46.4%	39.3%	32.1%	28.6%	26.8%	19.6%
50歳代		83	65.1%	39.8%	54.2%	32.5%	42.2%	30.1%	43.4%	31.3%	25.3%	31.3%
60歳代		55	69.1%	47.3%	50.9%	45.5%	43.6%	30.9%	40.0%	30.9%	25.5%	27.3%
70歳以上		124	59.7%	33.9%	44.4%	50.8%	41.9%	33.9%	36.3%	21.8%	35.5%	24.2%

	回答者数 (n)	女性はずぐやめる、労働能力が劣ると いう考え	その他	わからない	無回答	
全体	1,023	22.9%	0.9%	1.7%	1.2%	
女性	10・20歳代	116	37.1%	-	0.9%	0.9%
	30歳代	68	32.4%	1.5%	-	-
	40歳代	110	25.5%	0.9%	-	-
	50歳代	94	30.9%	1.1%	1.1%	2.1%
	60歳代	93	25.8%	1.1%	3.2%	-
	70歳以上	194	13.4%	0.5%	1.0%	3.6%
	男性	10・20歳代	67	31.3%	4.5%	6.0%
30歳代		35	22.9%	-	-	-
40歳代		56	28.6%	-	3.6%	-
50歳代		83	16.9%	1.2%	2.4%	-
60歳代		55	14.5%	-	-	1.8%
70歳以上		124	12.9%	0.8%	4.0%	-

年代別にみると、「保育所、学童保育室の不足」は男女ともに30歳代で高くなっている。「仕事に対する配偶者・パートナーの理解不足」は女性の50歳代と男性の10・20歳代で高く、「育児、子どもの教育」と「女性はずぐやめる、労働能力が劣るという考え」は年代が下がるほど高くなる傾向となっている。

【図8-2 経年比較 女性が働き続ける上で困難だと思うこと】



※1 平成22年度調査では「夫の家事・育児への不参加」

※2 平成22年度調査では「夫の転勤」

※3、4 令和3年度調査のみの項目

経年比較をみると、「配偶者・パートナーが家事・育児に消極的」は女性で12.1ポイント、男性で8.5ポイント、「配偶者・パートナーの転勤」は女性で12.4ポイント、男性で13.9ポイント増加している。

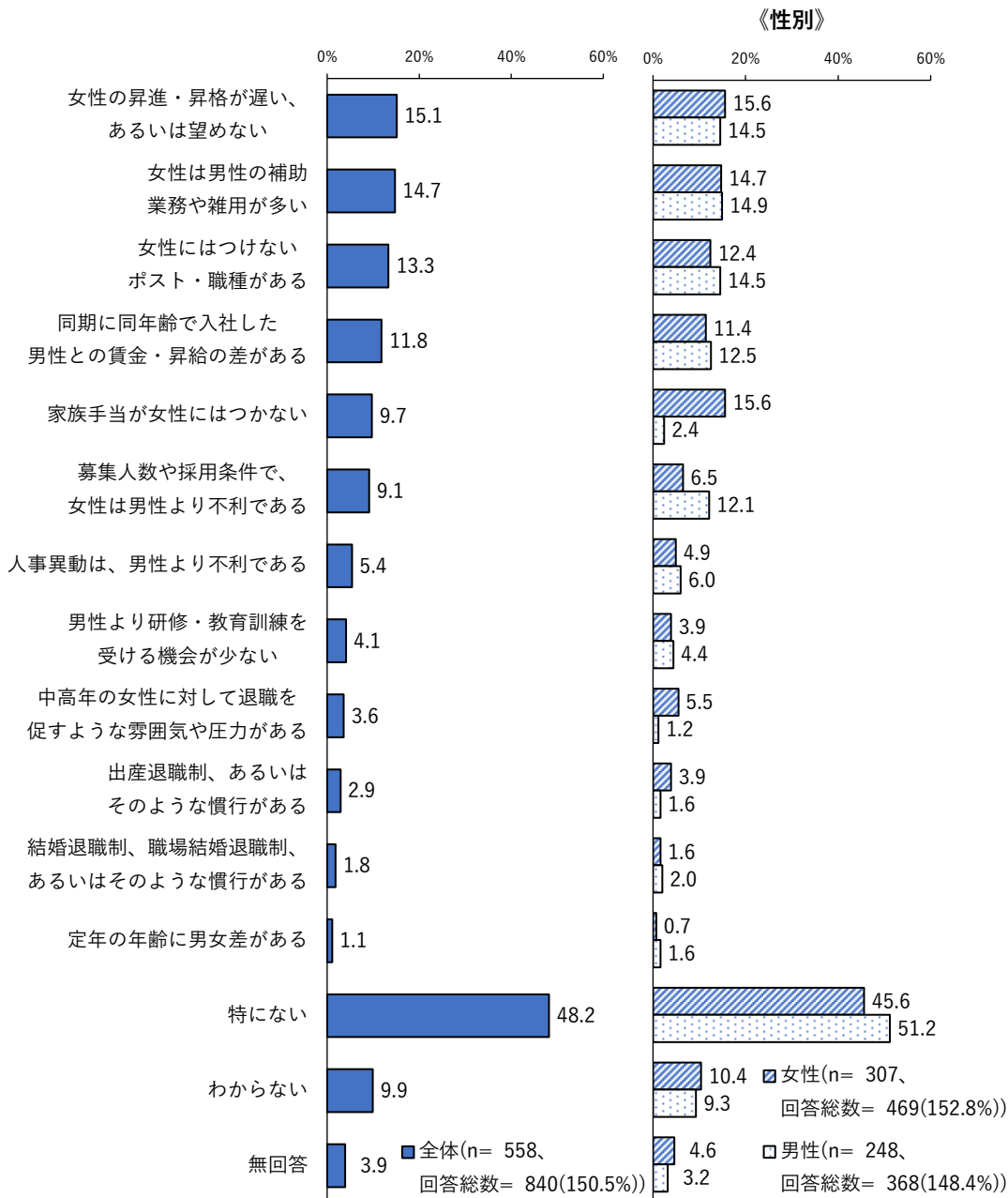
Ⅱ 市民意識調査の結果

(3) 職場における男女格差の有無

《現在働いておられる方におたずねします。》

問9 あなたの職場では、女性の就労に対して次にあげるようなことがありますか。(〇はいくつでも)

【図9-1 性別 職場における男女格差の有無】



職場における男女格差の有無については、「特にない」が 48.2%で最も高く、次いで「女性の昇進・昇格が遅い、あるいは望めない」が 15.1%、「女性は男性の補助業務や雑用が多い」が 14.7%、「女性にはつけないポスト・職種がある」が 13.3%となっている。

性別にみると、「特にない」が女性は 45.6%、男性は 51.2%で男性の方がやや高い。男女格差の内容は、女性は「家族手当が女性にはつかない」が 15.6%で男性より 13.2ポイント高く、男性は「募集人数や採用条件で、女性は男性より不利である」が 12.1%で女性より 5.6ポイント高くなっている。

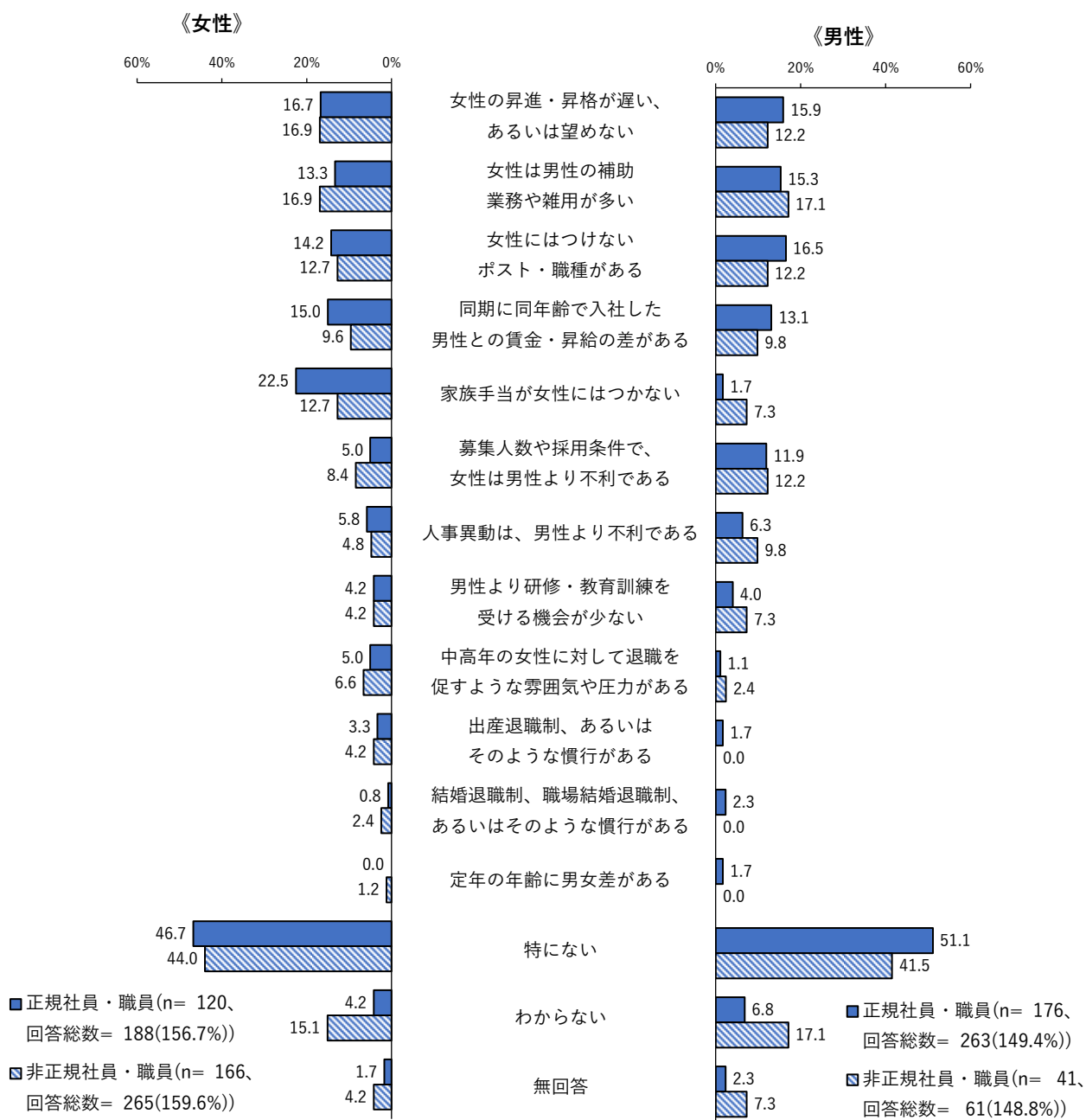
【表9-1 年代別 職場における男女格差の有無】

	回答者数 (n)	女性の昇進・昇格が遅い、あるいは望めない	女性は男性の補助業務や雑用が多い	女性にはつけないポスト・職種がある	同期に同年齢で入社した男性との賃金・昇給の差がある	家族手当が女性にはつかない	募集人数や採用条件で、女性は男性より不利である	人事異動は、男性より不利である	男性より研修・教育訓練を受ける機会が少ない	中高年の女性に対して退職を促すような雰囲気や圧力がある	出産退職制、あるいはそのような慣行がある	
全体	558	15.1%	14.7%	13.3%	11.8%	9.7%	9.1%	5.4%	4.1%	3.6%	2.9%	
女性	10・20歳代	73	23.3%	11.0%	6.8%	11.0%	4.1%	5.5%	2.7%	2.7%	1.4%	1.4%
	30歳代	46	10.9%	8.7%	2.2%	6.5%	19.6%	2.2%	8.7%	2.2%	-	2.2%
	40歳代	91	19.8%	17.6%	18.7%	14.3%	17.6%	7.7%	4.4%	2.2%	4.4%	2.2%
	50歳代	75	17.3%	17.3%	16.0%	16.0%	18.7%	6.7%	6.7%	5.3%	9.3%	8.0%
	60歳代	43	9.3%	4.7%	7.0%	9.3%	7.0%	4.7%	2.3%	7.0%	11.6%	4.7%
	70歳以上	20	5.0%	25.0%	10.0%	5.0%	20.0%	5.0%	-	5.0%	-	-
男性	10・20歳代	34	17.6%	23.5%	26.5%	8.8%	2.9%	23.5%	5.9%	2.9%	2.9%	2.9%
	30歳代	31	9.7%	16.1%	12.9%	9.7%	3.2%	16.1%	6.5%	-	-	3.2%
	40歳代	52	11.5%	9.6%	15.4%	7.7%	1.9%	5.8%	5.8%	5.8%	1.9%	-
	50歳代	80	13.8%	10.0%	8.8%	8.8%	2.5%	7.5%	3.8%	2.5%	1.3%	1.3%
	60歳代	35	11.4%	17.1%	17.1%	14.3%	-	14.3%	-	8.6%	-	2.9%
	70歳以上	28	32.1%	32.1%	21.4%	35.7%	7.1%	21.4%	25.0%	10.7%	3.6%	3.6%

	回答者数 (n)	結婚退職制、職場結婚退職制、あるいはそのような慣行がある	定年の年齢に男女差がある	特にな	わからない	無回答	
全体	558	1.8%	1.1%	48.2%	9.9%	3.9%	
女性	10・20歳代	73	2.7%	-	43.8%	15.1%	5.5%
	30歳代	46	2.2%	-	56.5%	8.7%	-
	40歳代	91	-	-	40.7%	12.1%	2.2%
	50歳代	75	1.3%	1.3%	41.3%	8.0%	1.3%
	60歳代	43	2.3%	-	51.2%	18.6%	11.6%
	70歳以上	20	5.0%	5.0%	35.0%	-	20.0%
男性	10・20歳代	34	5.9%	2.9%	32.4%	8.8%	8.8%
	30歳代	31	3.2%	-	51.6%	9.7%	-
	40歳代	52	-	3.8%	59.6%	9.6%	-
	50歳代	80	2.5%	-	56.3%	11.3%	2.5%
	60歳代	35	2.9%	-	54.3%	5.7%	2.9%
	70歳以上	28	3.6%	7.1%	25.0%	10.7%	7.1%

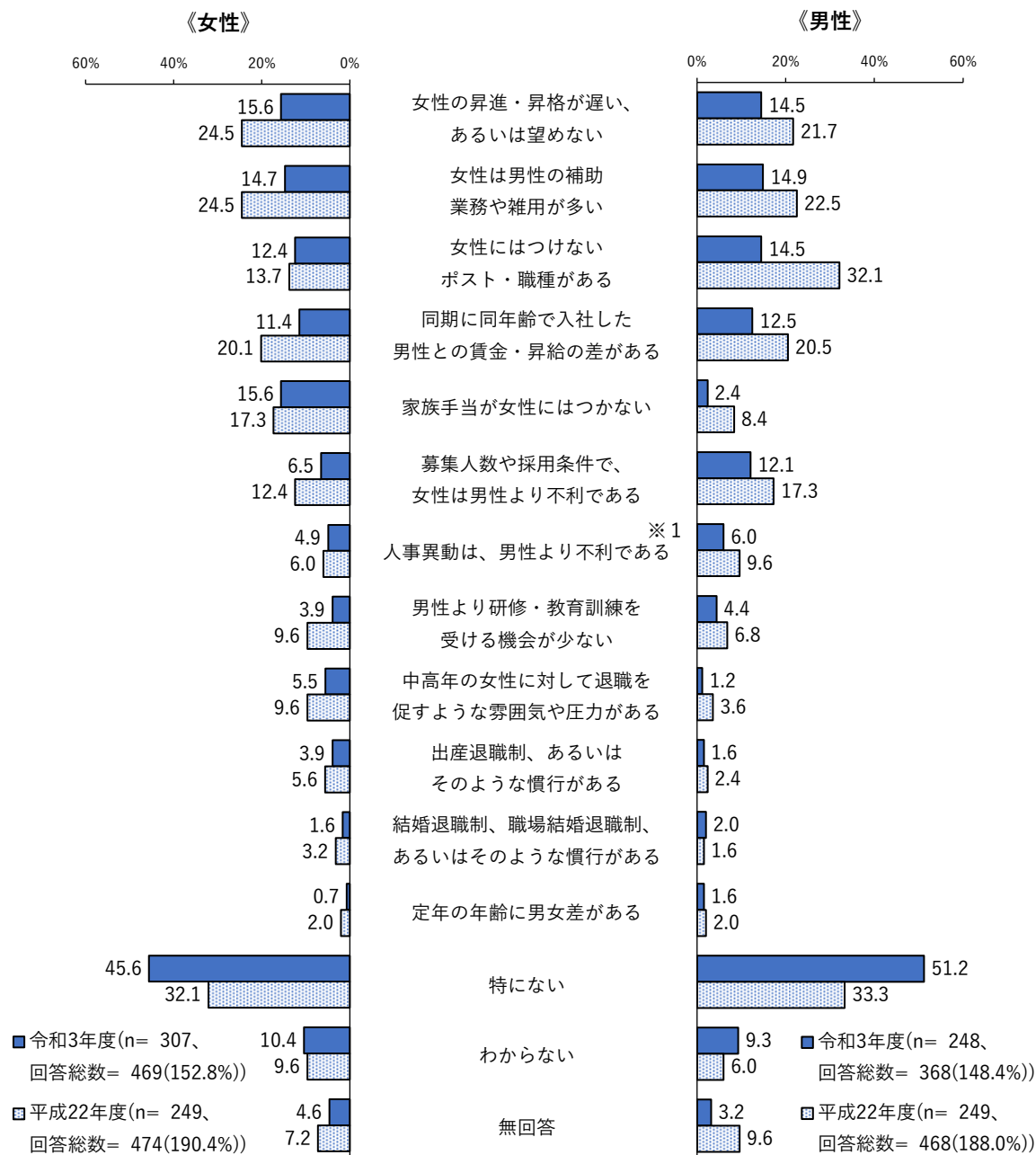
年代別にみると、男性では70歳以上で高い項目が多くなっており、特に「女性の昇進・昇格が遅い、あるいは望めない」「女性は男性の補助業務や雑用が多い」「同期に同年齢で入社した男性との賃金・昇給の差がある」は3割台、「人事異動は、男性より不利である」は2割台と、他の年齢層に比べて高くなっている。女性では70歳以上で「女性は男性の補助業務や雑用が多い」が高くなっている。

【図9-2 職業別 職場における男女格差の有無】



職業別にみると、「女性は男性の補助業務や雑用が多い」は男女ともに非正規社員・職員の方が正規社員・職員に比べて高くなっている。「家族手当が女性にはつかない」は女性の正規社員・職員で 22.5%と、非正規社員・職員と比べて高くなっている。男性では「女性の昇進・昇格が遅い、あるいは望めない」「女性にはつけないポスト・職種がある」は正規社員・職員が非正規社員・職員に比べてやや高い。

【図9-3 経年比較 職場における男女格差の有無】



※1 平成22年度調査では「転職など人事異動で、男性より不利である」

経年比較をみると、女性ではすべての項目で低くなっており、「女性は男性の補助業務や雑用が多い」は9.8ポイントの減少となっている。男性もほとんどの項目で低くなっており、「女性にはつけないポスト・職種がある」は17.6ポイントの減少となっている。一方、男女ともに「特にない」は女性で13.5ポイント、男性で17.9ポイントの増加となっている。

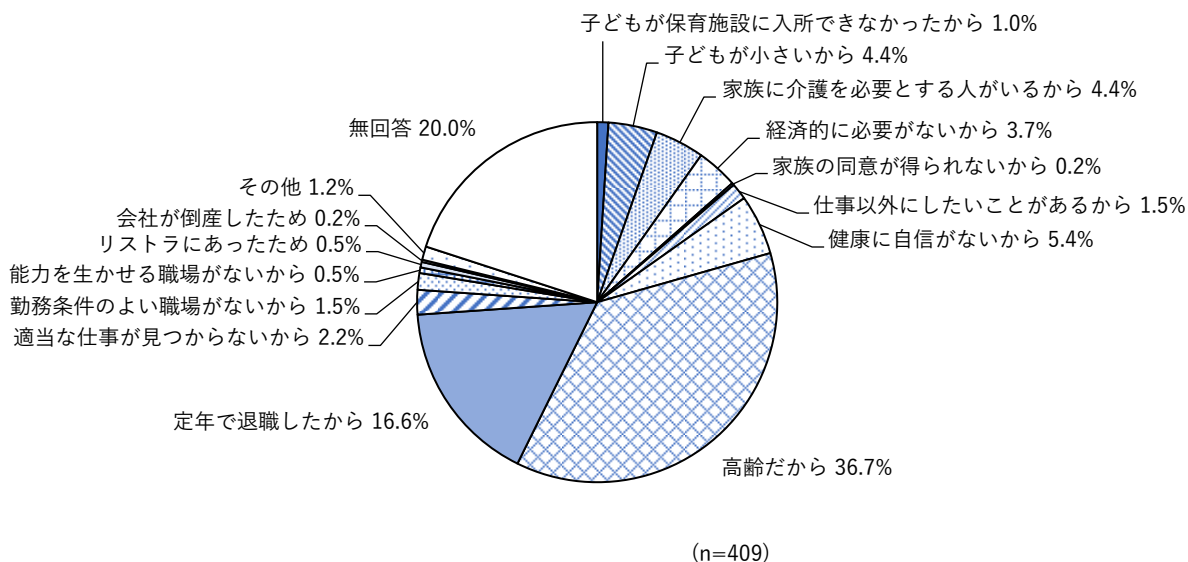
Ⅱ 市民意識調査の結果

(4) 現在仕事をしていない最大の理由

《学生以外で、現在働いておられない方におたずねします。》

問 10 あなたが現在仕事をしていない最大の理由は何ですか。(○は1つ)

【図10-1 現在仕事をしていない最大の理由】



現在仕事をしていない最大の理由は、「高齡だから」が 36.7%で最も高く、次いで「定年で退職したから」が 16.6%となっている。

【表10-1 性別、年代別 現在仕事をしていない最大の理由】

	回答者数 (n)	たからに入所できなかつた	子どもが保育施設	子どもが小さいから	家族に介護を必要とする人がいるから	経済的に必要がないから	家族の同意が得られないから	仕事以外にしたいことがあるから	健康に自信がないから	高齢だから	定年で退職したから	適当な仕事が見つからないから
全体	409	1.0%	4.4%	4.4%	3.7%	0.2%	1.5%	5.4%	36.7%	16.6%	2.2%	
性別 女性	278	1.1%	6.5%	5.8%	5.4%	0.4%	1.8%	4.7%	40.6%	9.7%	1.4%	
性別 男性	127	0.8%	-	1.6%	-	-	0.8%	6.3%	29.1%	31.5%	3.9%	
女性	10・20歳代	9	-	22.2%	-	-	11.1%	11.1%	22.2%	-	-	11.1%
	30歳代	21	9.5%	61.9%	-	-	-	4.8%	4.8%	-	-	-
	40歳代	18	-	22.2%	5.6%	27.8%	5.6%	-	5.6%	-	-	-
	50歳代	18	-	-	44.4%	11.1%	-	11.1%	11.1%	-	-	5.6%
	60歳代	49	-	-	10.2%	8.2%	-	4.1%	6.1%	18.4%	20.4%	4.1%
	70歳以上	168	0.6%	-	1.2%	2.4%	-	-	3.0%	61.9%	10.1%	0.6%
男性	10・20歳代	3	-	-	-	-	-	-	33.3%	-	-	-
	30歳代	4	-	-	-	-	-	25.0%	75.0%	-	-	-
	40歳代	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0%
	50歳代	3	-	-	-	-	-	-	33.3%	-	33.3%	33.3%
	60歳代	20	-	-	5.0%	-	-	-	-	15.0%	45.0%	5.0%
	70歳以上	95	1.1%	-	1.1%	-	-	-	4.2%	35.8%	31.6%	1.1%

	回答者数 (n)	勤務条件のよい職場がないから	能力を生かせる職場がないから	リストラにあったため	会社が倒産したため	その他	無回答	
全体	409	1.5%	0.5%	0.5%	0.2%	1.2%	20.0%	
性別 女性	278	1.4%	0.4%	-	0.4%	0.7%	19.8%	
性別 男性	127	1.6%	0.8%	0.8%	-	2.4%	20.5%	
女性	10・20歳代	9	-	-	-	-	22.2%	
	30歳代	21	-	-	-	-	19.0%	
	40歳代	18	11.1%	-	-	5.6%	16.7%	
	50歳代	18	11.1%	-	-	-	5.6%	
	60歳代	49	-	2.0%	-	2.0%	24.5%	
	70歳以上	168	-	-	-	-	0.6%	19.6%
男性	10・20歳代	3	33.3%	-	-	33.3%	-	
	30歳代	4	-	-	-	-	-	
	40歳代	4	-	-	-	50.0%	-	
	50歳代	3	-	-	-	-	-	
	60歳代	20	-	-	5.0%	-	5.0%	20.0%
	70歳以上	95	1.1%	1.1%	-	-	-	23.2%

性別にみると、女性では「高齢だから」が40.6%と最も高く、次いで「定年で退職したから」が9.7%となっている。男性では「定年で退職したから」が31.5%と最も高く、女性より21.8ポイント高くなっており、次いで「高齢だから」が29.1%と高くなっている。

年代別にみると、女性の30歳代では「子どもが小さいから」、50歳代では「家族に介護を必要とする人がいるから」の回答割合が高い。

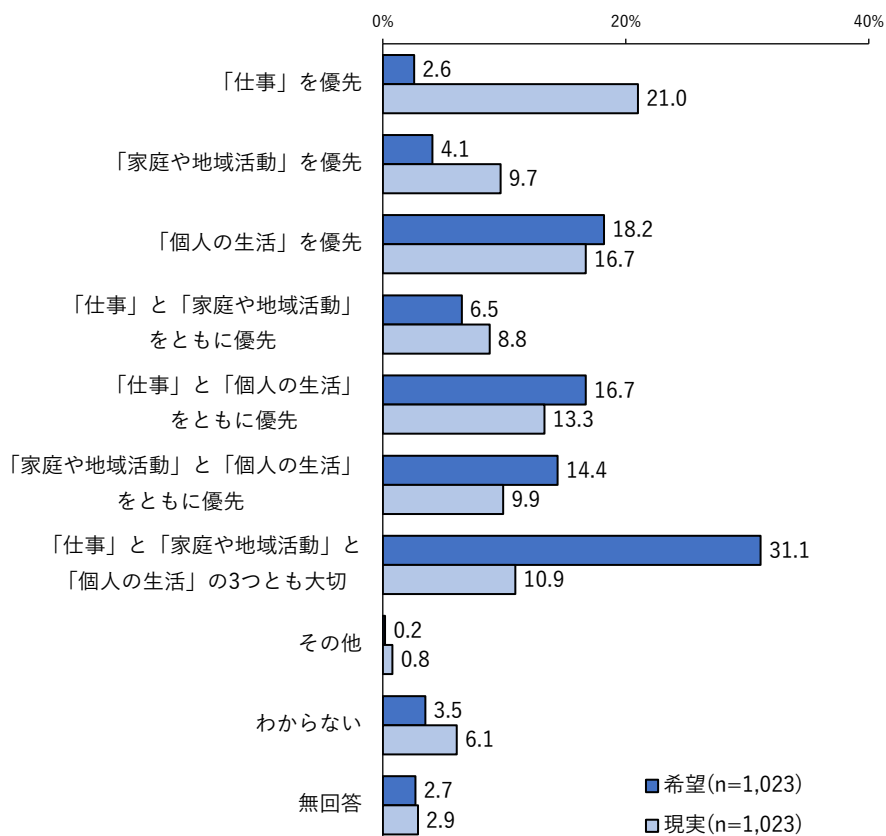
現在仕事をしていない男性のほとんどが60歳代以上であり、60歳代以上では「高齢だから」「定年で退職したから」が高くなっている。50歳代以下では、「適当な仕事が見つからないから」「健康に自信がないから」が高くなっている。

5. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

(1) 生活の中で優先したいこと、優先していること

問 11 あなたは生活の中で、「仕事」、「家庭や地域活動」、「個人の生活」で何を優先しますか。あなたの希望と現実(現状)に最も近いものをそれぞれについてお答えください。(それぞれ〇は1つ)

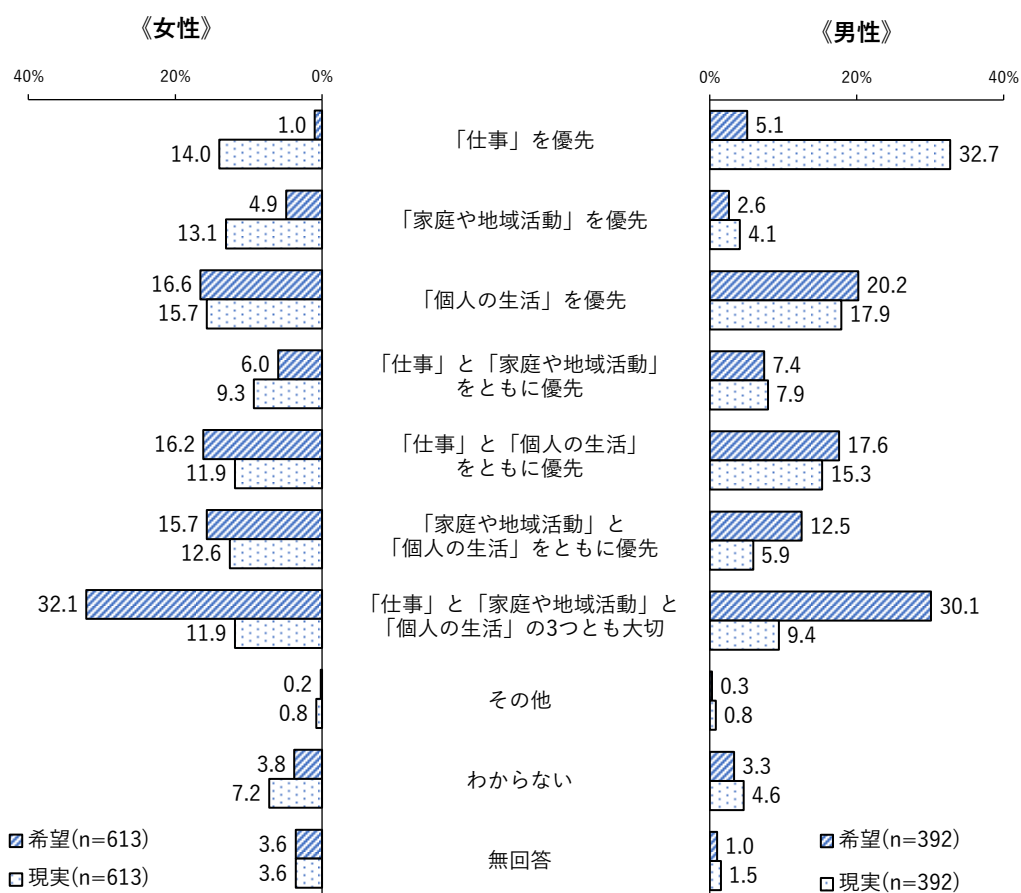
【図11-1 生活の中で優先したいこと・優先していること】



生活の中で優先したいことは、「『仕事』と『家庭や地域活動』と『個人の生活』の3つとも大切にしたい」が31.1%で最も高く、次いで「『個人の生活』を優先したい」が18.2%、「『仕事』と『個人の生活』をともに優先したい」が16.7%、「『家庭や地域活動』と『個人の生活』をともに優先したい」が14.4%となっている。

生活の中で優先していることは、「『仕事』を優先している」が21.0%で最も高く、次いで「『個人の生活』を優先している」が16.7%、「『仕事』と『個人の生活』をともに優先している」が13.3%、「『仕事』と『家庭や地域活動』と『個人の生活』の3つとも大切にしている」が10.9%となっている。

【図11-2 性別 生活の中で優先したいこと・優先していること】



生活の中で優先したいことの希望を、性別にみると、「『仕事』を優先したい」は男性が 4.1 ポイント高く、「『家庭や地域活動』と『個人の生活』をともに優先したい」は女性が 3.2 ポイント高くなっている。

生活の中で優先している現実を、性別にみると、女性では「『個人の生活』を優先している」が 15.7%、僅差で「『仕事』を優先している」が 14.0%となっている。男性では「『仕事』を優先している」が 32.7%と最も高く、次いで「『個人の生活』を優先している」が 17.9%となっている。

II 市民意識調査の結果

【表11-1 年代別 生活の中で優先したいこと】

	回答者数 (n)	「仕事」を優先したい	「家庭や地域活動」を優先したい	「個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先したい	「仕事」と「個人の生活」をともに優先したい	「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先したい	「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしたい	その他	わからない	無回答	
全体	1,023	2.6%	4.1%	18.2%	6.5%	16.7%	14.4%	31.1%	0.2%	3.5%	2.7%	
女性	10・20歳代	116	-	4.3%	17.2%	6.0%	21.6%	17.2%	31.9%	-	0.9%	0.9%
	30歳代	68	2.9%	2.9%	7.4%	17.6%	11.8%	14.7%	41.2%	-	1.5%	-
	40歳代	110	0.9%	8.2%	10.9%	7.3%	21.8%	10.0%	36.4%	-	3.6%	0.9%
	50歳代	94	-	4.3%	13.8%	6.4%	14.9%	14.9%	43.6%	-	2.1%	-
	60歳代	93	1.1%	5.4%	24.7%	3.2%	20.4%	16.1%	24.7%	-	3.2%	1.1%
	70歳以上	194	1.0%	4.1%	19.6%	2.6%	11.9%	21.6%	21.6%	0.5%	6.7%	10.3%
男性	10・20歳代	67	-	4.5%	25.4%	3.0%	10.4%	14.9%	38.8%	1.5%	-	1.5%
	30歳代	35	5.7%	2.9%	8.6%	5.7%	22.9%	17.1%	34.3%	-	2.9%	-
	40歳代	56	1.8%	-	17.9%	10.7%	16.1%	17.9%	33.9%	-	1.8%	-
	50歳代	83	7.2%	3.6%	15.7%	4.8%	27.7%	6.0%	32.5%	-	1.2%	1.2%
	60歳代	55	5.5%	-	16.4%	9.1%	21.8%	10.9%	30.9%	-	5.5%	-
	70歳以上	124	5.6%	4.0%	28.2%	8.1%	9.7%	13.7%	23.4%	-	5.6%	1.6%

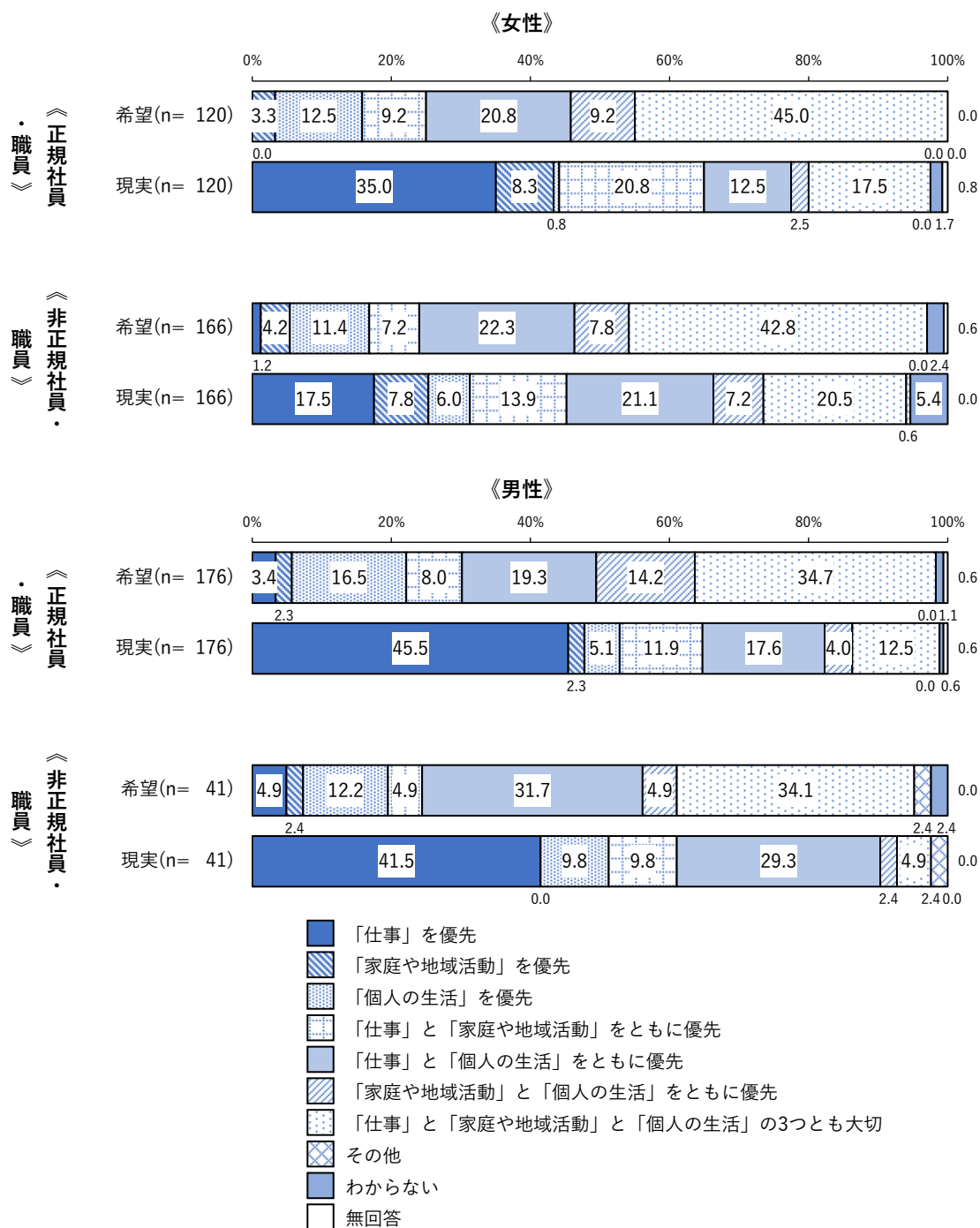
【表11-2 年代別 生活の中で優先していること】

	回答者数 (n)	「仕事」を優先している	「家庭や地域活動」を優先している	「個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先している	「仕事」と「個人の生活」をともに優先している	「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしている	その他	わからない	無回答	
全体	1,023	21.0%	9.7%	16.7%	8.8%	13.3%	9.9%	10.9%	0.8%	6.1%	2.9%	
女性	10・20歳代	116	24.1%	5.2%	19.0%	8.6%	15.5%	6.0%	12.1%	-	7.8%	1.7%
	30歳代	68	23.5%	26.5%	2.9%	17.6%	10.3%	7.4%	7.4%	-	4.4%	-
	40歳代	110	20.0%	18.2%	3.6%	18.2%	15.5%	6.4%	13.6%	-	3.6%	0.9%
	50歳代	94	21.3%	11.7%	8.5%	11.7%	10.6%	7.4%	22.3%	1.1%	4.3%	1.1%
	60歳代	93	10.8%	10.8%	17.2%	4.3%	19.4%	17.2%	10.8%	2.2%	6.5%	1.1%
	70歳以上	194	4.1%	8.2%	29.9%	3.1%	6.7%	19.6%	6.2%	1.0%	12.4%	8.8%
男性	10・20歳代	67	31.3%	-	25.4%	3.0%	13.4%	10.4%	7.5%	1.5%	6.0%	1.5%
	30歳代	35	57.1%	5.7%	5.7%	5.7%	11.4%	5.7%	5.7%	2.9%	-	-
	40歳代	56	41.1%	3.6%	1.8%	12.5%	23.2%	1.8%	10.7%	-	5.4%	-
	50歳代	83	48.2%	2.4%	4.8%	9.6%	20.5%	1.2%	10.8%	-	1.2%	1.2%
	60歳代	55	27.3%	7.3%	12.7%	9.1%	20.0%	5.5%	9.1%	1.8%	5.5%	1.8%
	70歳以上	124	17.7%	4.8%	35.5%	5.6%	7.3%	10.5%	9.7%	-	6.5%	2.4%

年代別にみると、生活の中で優先したいことは、女性は30歳代と50歳代で「『仕事』と『家庭や地域活動』と『個人の生活』の3つとも大切にしたい」が高く4割台、男性は60歳代以下で「『仕事』と『家庭や地域活動』と『個人の生活』の3つとも大切にしたい」が3割台で高くなっている。

年代別にみると、生活の中で優先していることは、女性は30歳代で「『家庭や地域活動』を優先している」が26.5%と高く、70歳以上で「『個人の生活』を優先している」が29.9%と高くなっている。男性は30～50歳代で「『仕事』を優先している」が高く30歳代は57.1%となっている。70歳以上では「『個人の生活』を優先している」が35.5%と高くなっている。

【図11-3 職業別 生活の中で優先したいこと・優先していること】

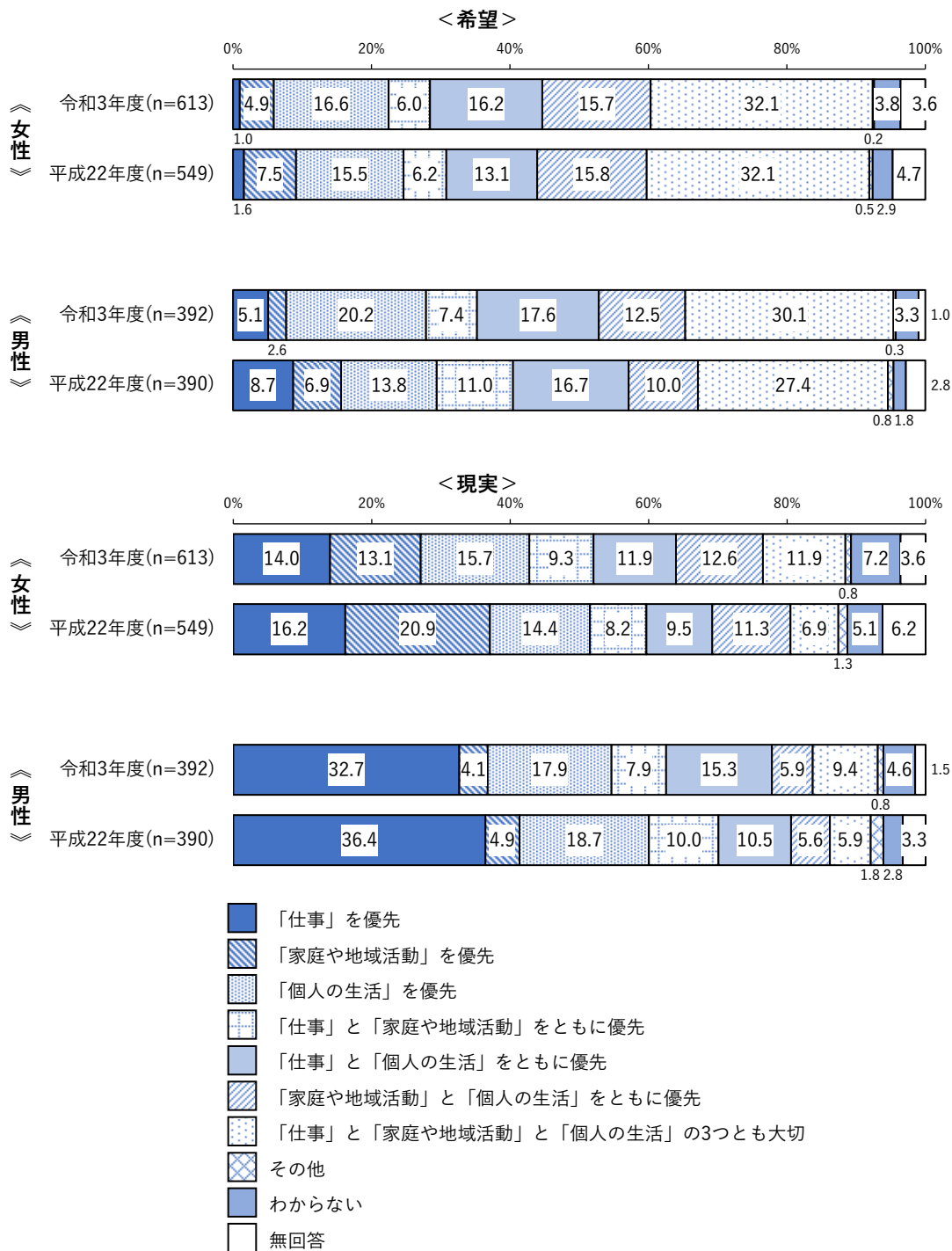


職業別にみると、生活の中で優先したいことは、男女とも正規社員・職員、非正規社員・職員ともに『「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切になりたい』が最も高いことは共通している。男性の非正規社員・職員は、正規社員・職員に比べて『「仕事」と「個人の生活」をともに優先したい』が12.4ポイント高くなっている。

生活の中で優先していることは、女性の正規社員・職員は非正規社員・職員に比べて『「仕事」を優先している』が17.5ポイント高くなっている。男性では、正規社員・職員、非正規社員・職員ともに『「仕事」を優先している』が4割台で最も高いのは同じであるが、非正規社員・職員は、正規社員・職員に比べて『「仕事」と「個人の生活」をともに優先している』が11.7ポイント高くなっている。

II 市民意識調査の結果

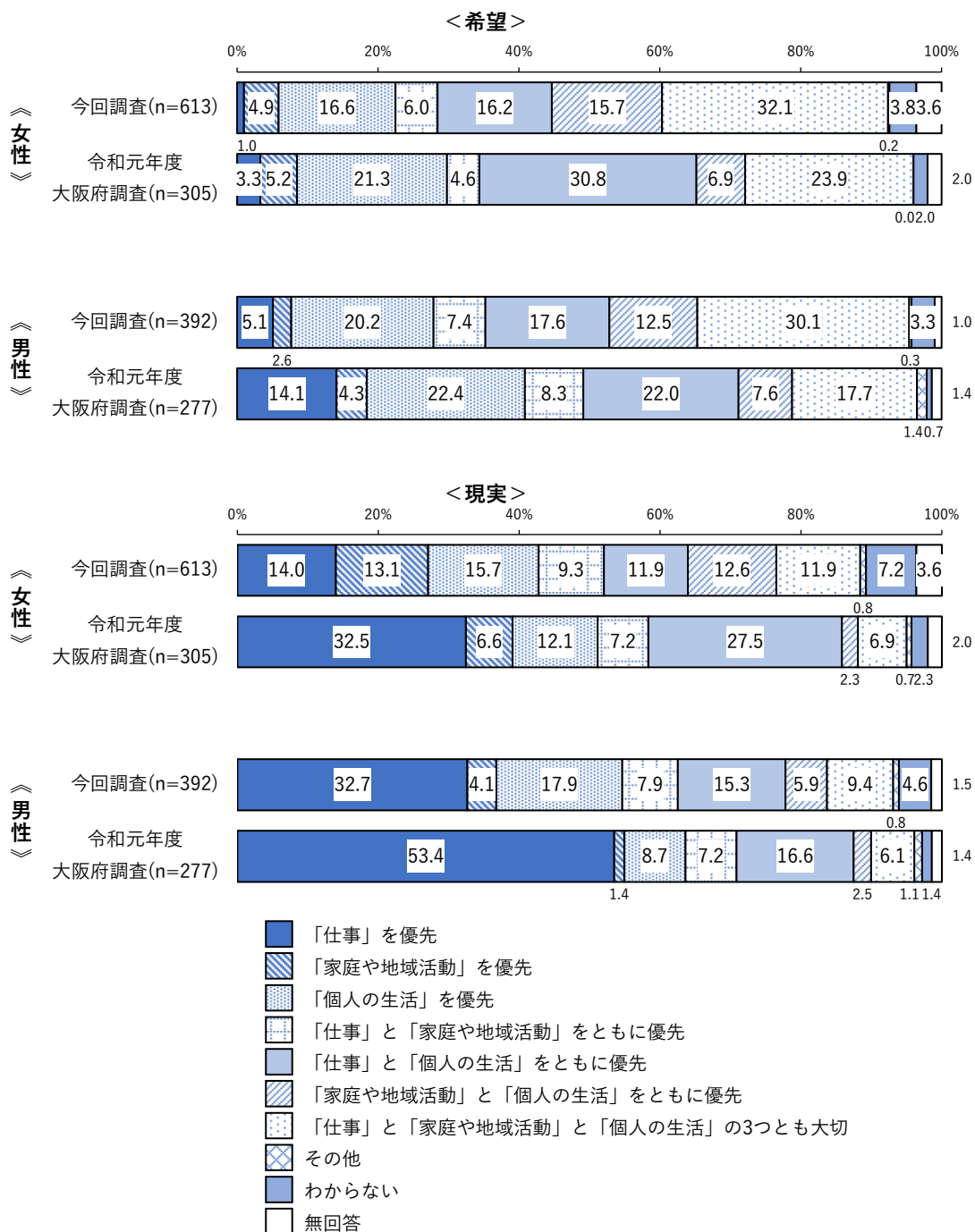
【図11-4 経年比較 生活の中で優先したいこと・優先していること】



経年比較をみると、生活の中で優先したいことは、女性では「『仕事』と『個人の生活』をともに優先したい」が前回調査と比べて 3.1 ポイント増加している以外は今回調査と前回調査で大きな変化はみられない。男性では「『個人の生活』を優先したい」が前回調査と比べて 6.4 ポイント増加し、「『家庭や地域活動』を優先したい」が 4.3 ポイント、「『仕事』を優先したい」と「『仕事』と『家庭や地域活動』をともに優先したい」がともに 3.6 ポイント減少している。

生活の中で優先していることは、女性では「『家庭や地域活動』を優先している」が前回調査と比べて 7.8 ポイント減少し、「『仕事』と『家庭や地域活動』と『個人の生活』の 3 つとも大切にしている」が 5.0 ポイント増加している。男性では「『仕事』を優先している」が前回調査と比べて 3.7 ポイント減少し、「『仕事』と『個人の生活』をともに優先している」が 4.8 ポイント増加している。

【図11-5 大阪府調査との比較 生活の中で優先したいこと・優先していること】



大阪府調査との比較をみると、生活の中で優先したいことでは、男女とも「『仕事』と『家庭や地域活動』と『個人の生活』の3つとも大切にしたい」が、大阪府調査に比べて10ポイント前後高くなっている。

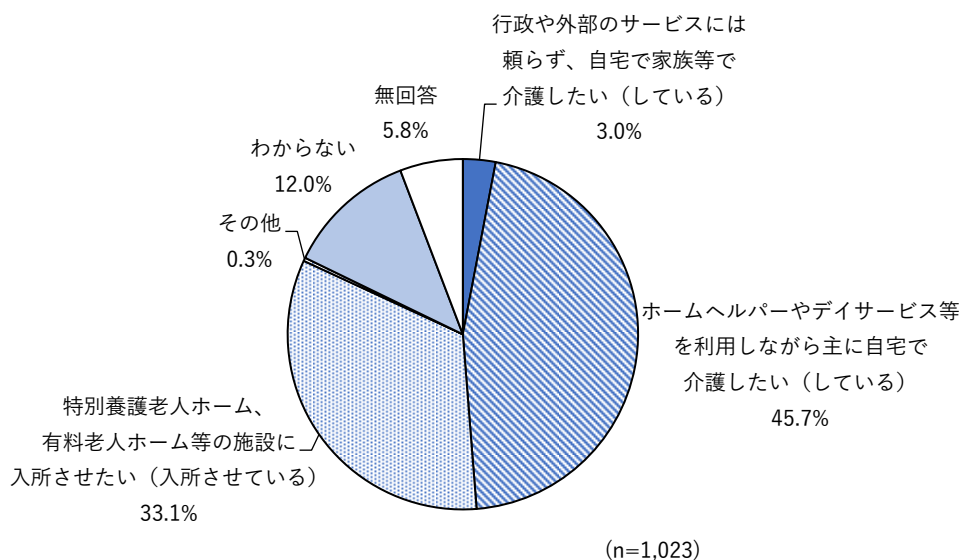
生活の中で優先していることでは、男女とも「『仕事』を優先している」が大阪府調査に比べて大幅に低くなっている。女性では「『仕事』と『個人の生活』をともに優先している」も15.6ポイント低い。

6. 介護について

(1) 希望する家族の介護形態

問 12 あなたは、自分の家族の中に介護を要する人がいる場合、または、もし家族が介護を要する状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(〇は1つ)

【図12-1 希望する家族の介護形態】



希望する家族の介護形態は、「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい (している)」が 45.7%で最も高く、次いで「特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の施設に入所させたい (入所させている)」が 33.1%、「わからない」が 12.0%となっている。

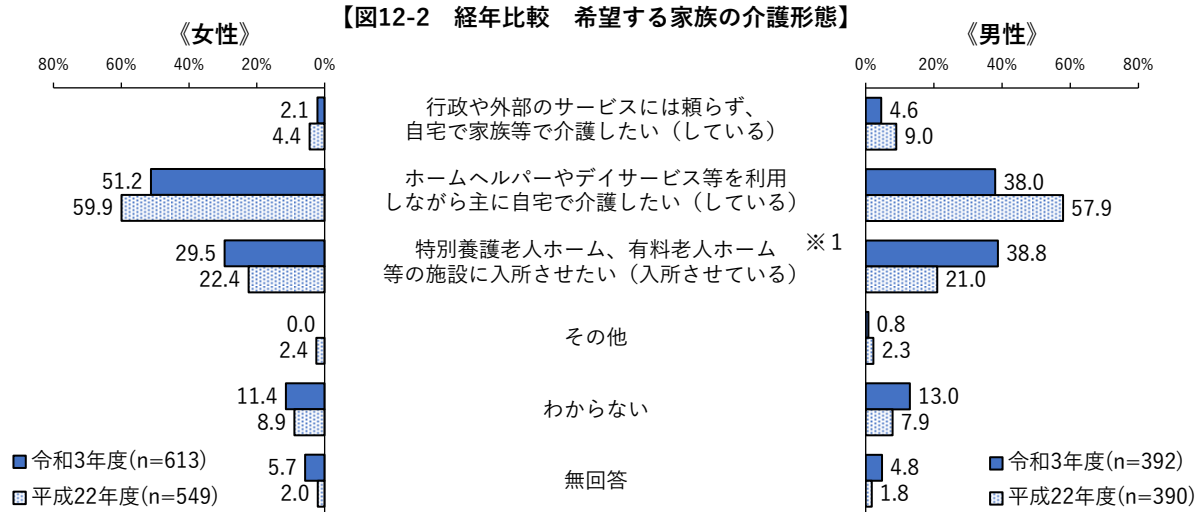
【表12-1 性別、年代別 希望する家族の介護形態】

	回答者数 (n)	行政や外部のサービスには頼らず、自宅で家族等で介護したい(している)	ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)	特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の施設に入所させたい(入所させている)	その他	わからない	無回答	
全体	1,023	3.0%	45.7%	33.1%	0.3%	12.0%	5.8%	
性別 女性	613	2.1%	51.2%	29.5%	-	11.4%	5.7%	
性別 男性	392	4.6%	38.0%	38.8%	0.8%	13.0%	4.8%	
女性	10・20歳代	116	1.7%	55.2%	30.2%	-	12.1%	0.9%
	30歳代	68	1.5%	50.0%	33.8%	-	8.8%	5.9%
	40歳代	110	0.9%	49.1%	31.8%	-	16.4%	1.8%
	50歳代	94	2.1%	48.9%	38.3%	-	9.6%	1.1%
	60歳代	93	3.2%	46.2%	31.2%	-	10.8%	8.6%
	70歳以上	194	3.1%	54.1%	22.2%	-	10.3%	10.3%
男性	10・20歳代	67	4.5%	32.8%	46.3%	-	14.9%	1.5%
	30歳代	35	2.9%	34.3%	42.9%	2.9%	14.3%	2.9%
	40歳代	56	5.4%	48.2%	26.8%	1.8%	16.1%	1.8%
	50歳代	83	1.2%	38.6%	39.8%	1.2%	14.5%	4.8%
	60歳代	55	3.6%	34.5%	45.5%	-	10.9%	5.5%
	70歳以上	124	6.5%	38.7%	36.3%	-	10.5%	8.1%

性別にみると、女性では「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)」が5割を超えており、男性より 13.2 ポイント高くなっている。男性では「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)」と「特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の施設に入所させたい(入所させている)」がそれぞれ 38.0%、38.8%とほぼ同率となっている。

年代別にみると、女性ではすべての年代で「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)」が最も高くなっている。男性では40歳代と70歳以上で「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)」が最も高いが、その他の年代では「特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の施設に入所させたい(入所させている)」が最も高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果



※1 平成22年度調査では「特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい (入所させている)」

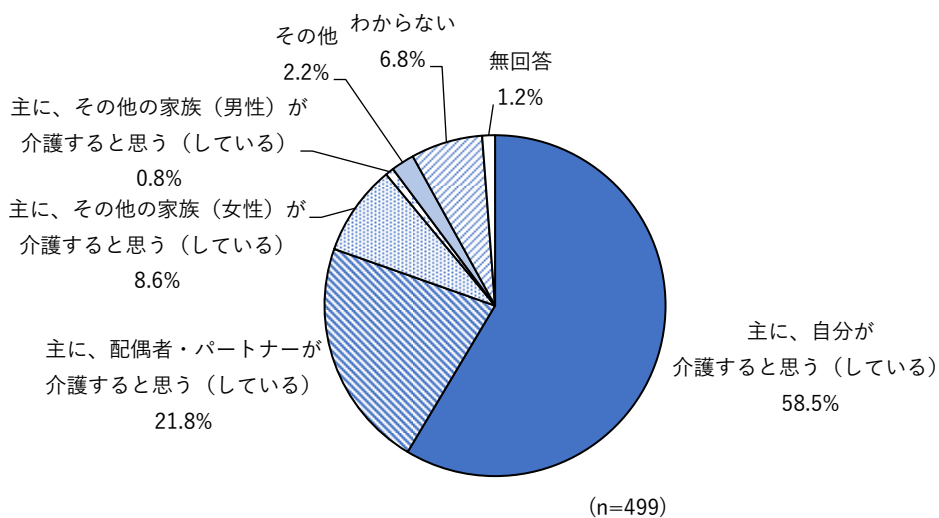
経年比較をみると、男女とも「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい (している)」と「行政や外部のサービスには頼らず、自宅で家族等で介護したい (している)」の自宅介護の回答が低くなり、「特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の施設に入所させたい (入所させている)」が高くなっている。

(2) 自宅で介護をする場合の主担当者

《問12で「1」または「2」と答えられた方におたずねします。》

問12-1 自宅で介護する場合、主に誰が介護することになると思いますか。(〇は1つ)

【図12-3 自宅で介護をする場合の主担当者】



自宅で介護をする場合の主担当者は、「主に、自分が介護すると思う(している)」が 58.5%で最も高く、次いで「主に、配偶者・パートナーが介護すると思う(している)」が 21.8%、「主に、その他の家族(女性)が介護すると思う(している)」が 8.6%、「わからない」が 6.8%となっている。

II 市民意識調査の結果

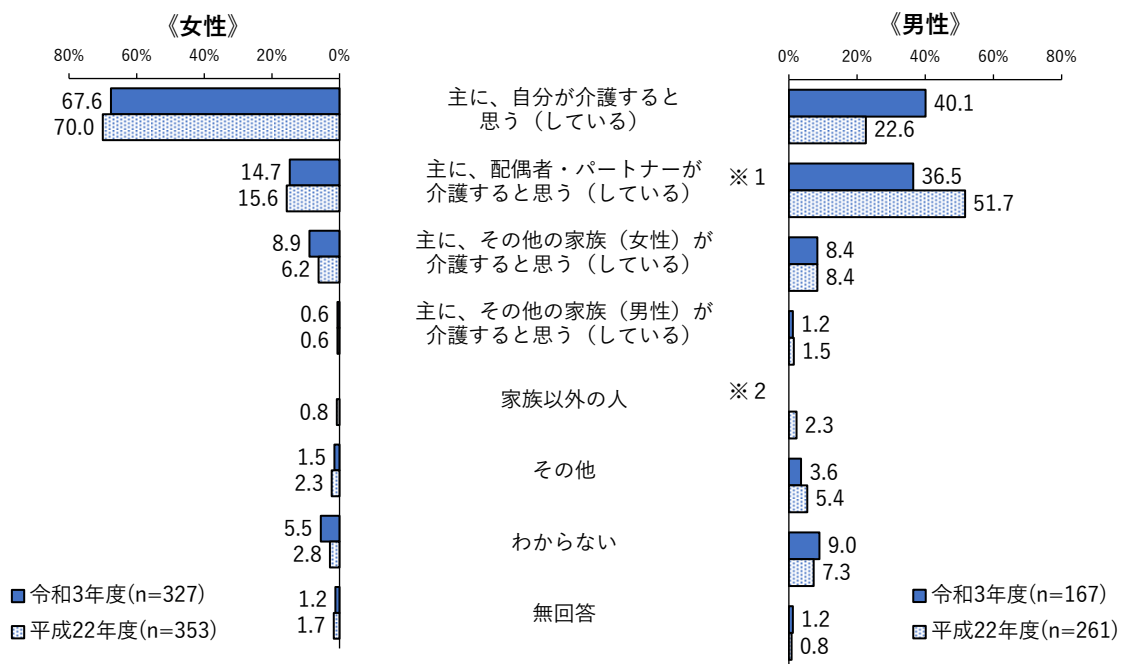
【表12-2 性別、年代別 自宅で介護をする場合の担当者】

	回答者数 (n)	主に、自分が介護する と思う(している)	主に、配偶者・パート ナーが介護する と思う(している)	主に、その他の家族 (女性)が介護する と思う(している)	主に、その他の家族 (男性)が介護する と思う(している)	その他	わからない	無回答	
全体	499	58.5%	21.8%	8.6%	0.8%	2.2%	6.8%	1.2%	
性別 女性	327	67.6%	14.7%	8.9%	0.6%	1.5%	5.5%	1.2%	
性別 男性	167	40.1%	36.5%	8.4%	1.2%	3.6%	9.0%	1.2%	
女性	10・20歳代	66	54.5%	4.5%	18.2%	-	4.5%	18.2%	-
	30歳代	35	77.1%	8.6%	8.6%	-	-	5.7%	-
	40歳代	55	74.5%	9.1%	9.1%	-	1.8%	3.6%	1.8%
	50歳代	48	83.3%	10.4%	4.2%	2.1%	-	-	-
	60歳代	46	69.6%	10.9%	4.3%	2.2%	2.2%	8.7%	2.2%
	70歳以上	111	59.5%	25.2%	9.9%	-	0.9%	2.7%	1.8%
男性	10・20歳代	25	44.0%	20.0%	12.0%	4.0%	12.0%	8.0%	-
	30歳代	13	53.8%	23.1%	7.7%	-	-	15.4%	-
	40歳代	30	46.7%	13.3%	6.7%	-	10.0%	20.0%	3.3%
	50歳代	33	33.3%	45.5%	-	3.0%	3.0%	12.1%	3.0%
	60歳代	21	42.9%	42.9%	14.3%	-	-	-	-
	70歳以上	56	35.7%	51.8%	10.7%	-	-	1.8%	-

性別にみると、女性では「主に、自分が介護すると思う(している)」が67.6%と高く、男性より27.5ポイント高くなっている。「主に、配偶者・パートナーが介護すると思う(している)」は男性で36.5%、女性で14.7%となっている。

年代別にみると、女性では「主に、自分が介護すると思う(している)」が30～40歳代で7割台、50歳代で8割台と高くなっている。男性では「主に、配偶者・パートナーが介護すると思う(している)」が50歳代以上で高く70歳以上は5割台となっている。

【図12-4 経年比較 自宅で介護をする場合の担当者】



※1 平成22年度調査では「主に、配偶者が介護すると思う(している)」

※2 平成22年度調査のみの項目

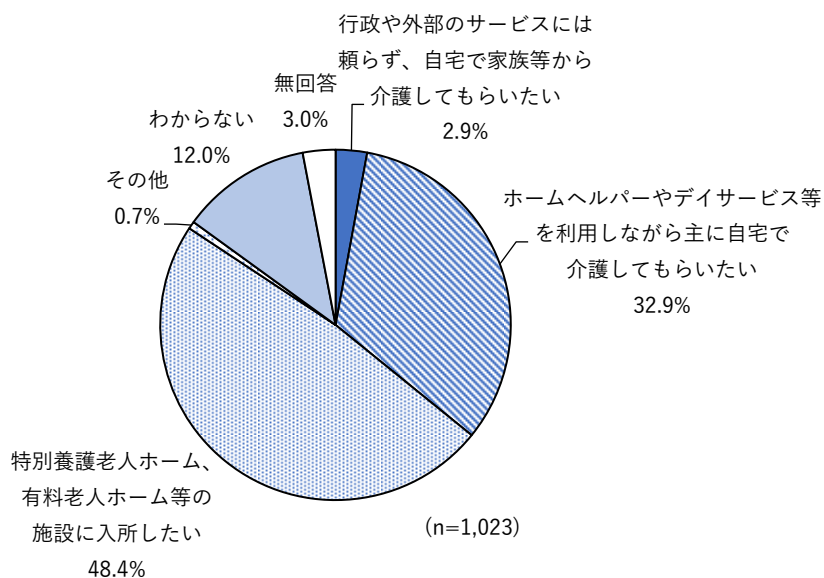
経年比較をみると、女性の回答に大きな変化はみられていないが、男性は「主に、配偶者・パートナーが介護すると思う(している)」が低くなる一方で「主に、自分が介護すると思う(している)」が高くなっており、顕著な変化がみられている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

(3) 希望する自身の介護形態

問 13 もし、あなた自身が介護を要する状態になった場合、どのようにしてほしいと思いますか。(〇は1つ)

【図13-1 希望する自身の介護形態】



希望する自身の介護形態については、「特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の施設に入所したい」が48.4%で最も高く、次いで「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護してほしい」が32.9%、「わからない」が12.0%となっている。

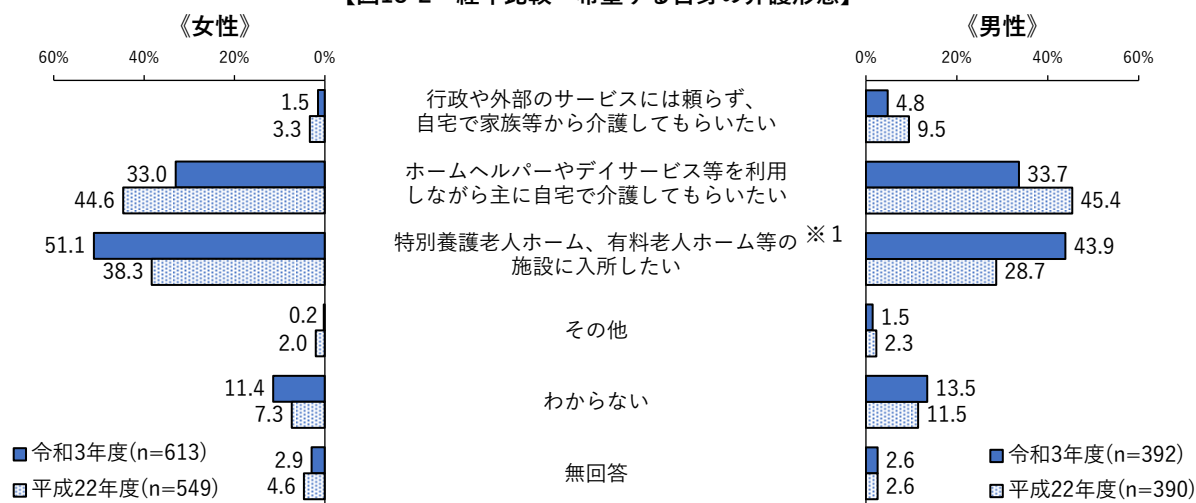
【表13-1 性別、年代別 希望する自身の介護形態】

	回答者数 (n)	行政や外部のサービスには頼らず、自宅で家族等から介護してもらいたい	ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護してもらいたい	特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の施設に入所したい	その他	わからない	無回答	
全体	1,023	2.9%	32.9%	48.4%	0.7%	12.0%	3.0%	
性別 女性	613	1.5%	33.0%	51.1%	0.2%	11.4%	2.9%	
性別 男性	392	4.8%	33.7%	43.9%	1.5%	13.5%	2.6%	
女性	10・20 歳代	116	1.7%	37.1%	48.3%	1.7%	10.3%	0.9%
	30 歳代	68	1.5%	30.9%	54.4%	1.5%	7.4%	4.4%
	40 歳代	110	-	28.2%	57.3%	-	13.6%	0.9%
	50 歳代	94	-	19.1%	63.8%	-	16.0%	1.1%
	60 歳代	93	1.1%	32.3%	49.5%	-	11.8%	5.4%
	70 歳以上	194	3.1%	42.3%	42.3%	-	8.8%	3.6%
男性	10・20 歳代	67	3.0%	23.9%	47.8%	-	25.4%	-
	30 歳代	35	5.7%	20.0%	57.1%	-	17.1%	-
	40 歳代	56	5.4%	33.9%	39.3%	7.1%	12.5%	1.8%
	50 歳代	83	2.4%	25.3%	48.2%	1.2%	19.3%	3.6%
	60 歳代	55	9.1%	36.4%	45.5%	-	7.3%	1.8%
	70 歳以上	124	4.8%	46.0%	35.5%	0.8%	8.9%	4.0%

性別にみると、男女ともに「特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の施設に入所したい」が最も高く、女性の方が7.2ポイント高くなっている。男性では「わからない」が13.5%で女性よりやや高くなっている。

年代別にみると、男女ともに70歳以上で「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護してもらいたい」が高く男女とも4割台となっている。女性の40～50歳代では「特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の施設に入所したい」が同年代の男性と比べて高く、40歳代で18.0ポイント、50歳代で15.6ポイントの差となっている。男性の10・20歳代では「わからない」が25.4%と高くなっている。

【図13-2 経年比較 希望する自身の介護形態】



※1 平成22年度調査では「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」

経年比較をみると、男女ともに自宅介護の希望が低くなっている一方で「特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の施設に入所したい」が高くなっている。

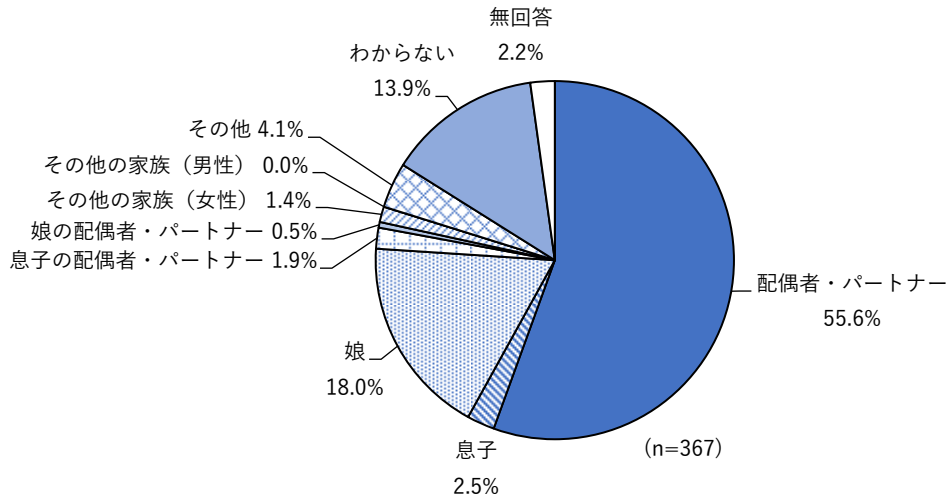
Ⅱ 市民意識調査の結果

(4) 希望する自身の介護者

《問 13 で「1」または「2」と答えられた方におたずねします。》

問 13-1 自宅で介護される場合、主に誰に介護してもらいたいと思いますか。(〇は1つ)

【図13-3 希望する自身の介護者】



希望する自身の介護者については、「配偶者・パートナー」が 55.6%で最も高く、次いで「娘」が 18.0%、「わからない」が 13.9%となっている。

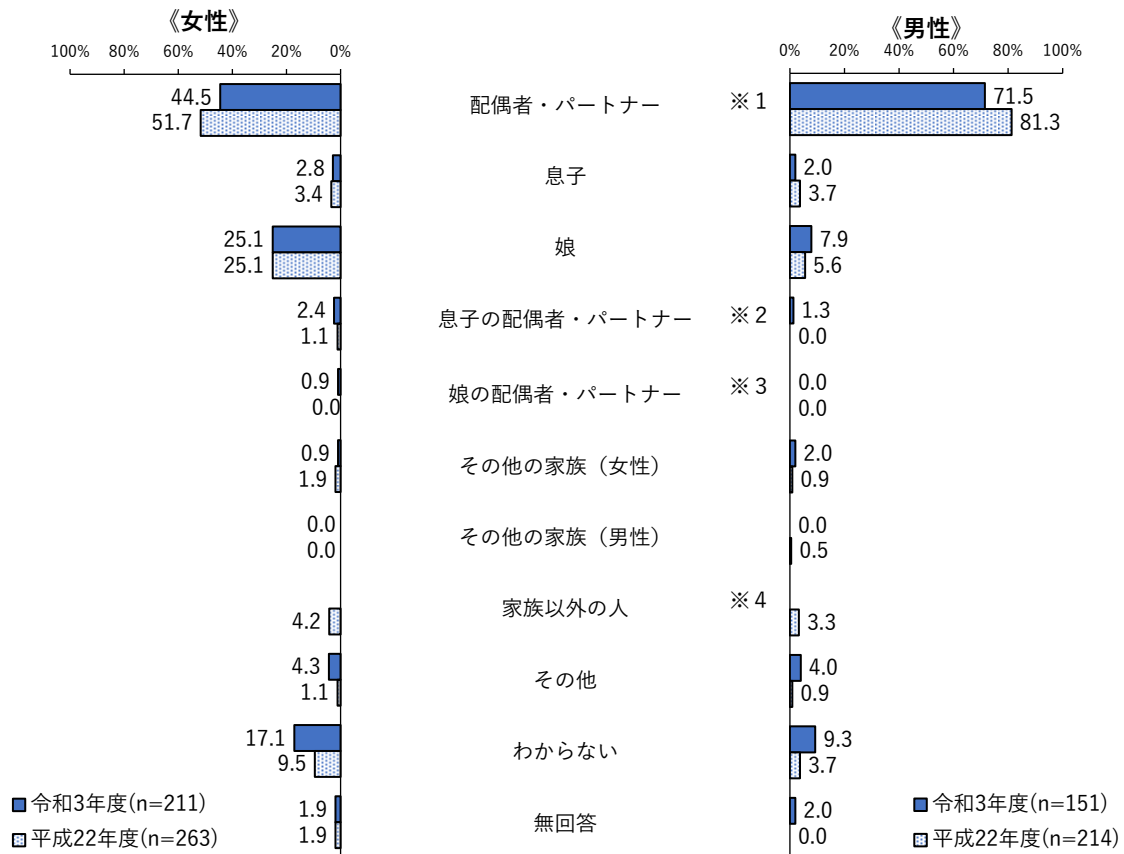
【表13-2 性別、年代別 希望する自身の介護者】

	回答者数 (n)	配偶者・パートナー	息子	娘	息子の配偶者・パートナー	娘の配偶者・パートナー	その他の家族 (女性)	その他の家族 (男性)	その他	わからない	無回答	
全体	367	55.6%	2.5%	18.0%	1.9%	0.5%	1.4%	-	4.1%	13.9%	2.2%	
性別 女性	211	44.5%	2.8%	25.1%	2.4%	0.9%	0.9%	-	4.3%	17.1%	1.9%	
性別 男性	151	71.5%	2.0%	7.9%	1.3%	-	2.0%	-	4.0%	9.3%	2.0%	
女性	10・20歳代	45	37.8%	-	15.6%	-	-	6.7%	-	2.2%	37.8%	-
	30歳代	22	36.4%	4.5%	18.2%	-	-	4.5%	-	9.1%	22.7%	4.5%
	40歳代	31	51.6%	3.2%	12.9%	-	-	-	-	3.2%	29.0%	-
	50歳代	18	50.0%	-	11.1%	-	-	-	-	5.6%	27.8%	5.6%
	60歳代	31	48.4%	6.5%	12.9%	-	6.5%	-	-	9.7%	16.1%	-
	70歳以上	88	44.3%	2.3%	40.9%	5.7%	-	-	-	2.3%	2.3%	2.3%
男性	10・20歳代	18	38.9%	-	-	-	-	11.1%	-	5.6%	44.4%	-
	30歳代	9	77.8%	-	-	-	-	-	-	22.2%	-	-
	40歳代	22	68.2%	-	4.5%	-	-	4.5%	-	4.5%	9.1%	9.1%
	50歳代	23	69.6%	4.3%	8.7%	-	-	-	-	-	17.4%	-
	60歳代	25	72.0%	-	4.0%	4.0%	-	4.0%	-	4.0%	12.0%	-
	70歳以上	63	74.6%	3.2%	11.1%	1.6%	-	-	-	3.2%	4.8%	1.6%

性別にみると、男女ともに「配偶者・パートナー」が高く、女性で 44.5%、男性で 71.5%と男性の方が 27.0ポイント高くなっている。次いで、女性では「娘」が 25.1%となっている。

年代別にみると、女性では 40～60 歳代で「配偶者・パートナー」が高く、70 歳以上は「配偶者・パートナー」が 44.3%、「娘」が 40.9%と拮抗している。男性では 30 歳代以上はいずれの年代も「配偶者・パートナー」が高く7割前後を占めている。男女ともに 10・20 歳代は「わからない」が4割前後となっている。

【図13-4 経年比較 希望する自身の介護者】



- ※1 平成 22 年度調査では「配偶者」
- ※2 平成 22 年度調査では「息子の妻」
- ※3 平成 22 年度調査では「娘の夫」
- ※4 平成 22 年度調査のみの項目

経年比較をみると、男女ともに「配偶者・パートナー」が低くなり、「わからない」が高くなっている。

7. 男女の人権について

(1) 配偶者やパートナーからの暴力の認識

問 14 あなたは、次の(ア)～(サ)のようなことが、配偶者・パートナーに対して行われた場合、それを暴力だと思いますか。(各項目に○は1つ)

【表14-1 配偶者やパートナーからの暴力の認識】

	回答者数 (n)	どんな場合でも暴力だ と思う	場合によっては暴力だ と思う	い暴力だとは思わな い	無回答
(ア) 命に関わるくらいの、殴る、蹴るなどの行為を受ける	1,023	95.8%	1.0%	-	3.2%
(イ) 命に関わるほどではないが、殴る、蹴るなどの行為を受ける	1,023	90.2%	6.2%	0.4%	3.2%
(ウ) お金を取り上げる、生活費を渡さない、無理やり借金させるなど、経済的に苦しめられる	1,023	89.4%	6.5%	0.6%	3.5%
(エ) 嫌がっているのに性的な行為を強要されたり、避妊に協力しない	1,023	86.3%	9.5%	0.7%	3.5%
(オ) 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる	1,023	76.1%	18.7%	1.8%	3.4%
(カ) 親や親戚の家に行かせない、友人と会わせないなど、行動を制限される	1,023	70.2%	23.8%	2.2%	3.8%
(キ) 交友関係や電話を細かく監視される	1,023	65.1%	28.1%	3.2%	3.6%
(ク) 何を言っても無視される	1,023	64.4%	28.3%	3.0%	4.2%
(ケ) 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」「お前は馬鹿だ」「あなたは駄目な人間だ」などと言われる	1,023	80.2%	15.2%	1.0%	3.6%
(コ) 大声でどなられたり、脅されたりする	1,023	81.4%	14.2%	0.9%	3.5%
(サ) 子どもの目の前で、殴る、大声でどなるなどの行為を受ける	1,023	90.0%	6.2%	0.5%	3.3%

配偶者やパートナーからの暴力の認識をみると、「どんな場合でも暴力だと思う」は、「(キ)交友関係や電話を細かく監視される」「(ク)何を言っても無視される」は6割台、「(オ)見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる」「(カ)親や親戚の家に行かせない、友人と会わせないなど、行動を制限される」は7割台となっており、これらの項目は「場合によっては暴力だと思う」が18.7%～28.3%を占めている。その他の項目はいずれも「どんな場合でも暴力だと思う」が8割以上となっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表14-2 性別、年代別 配偶者やパートナーからの暴力の認識】

	回答者数 (n)	(ア)命に関わるくらいの、殴る、蹴るなどの行為を受ける				(イ)命に関わるほどではないが、殴る、蹴るなどの行為を受ける				(ウ)お金を取り上げる、生活費を渡さない、無理やり借金させるなど、経済的に苦しめられる			
		暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思う	場合によっては暴力だと思わない	無回答	暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思う	場合によっては暴力だと思わない	無回答	暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思う	場合によっては暴力だと思わない	無回答
全体	1,023	95.8%	1.0%	-	3.2%	90.2%	6.2%	0.4%	3.2%	89.4%	6.5%	0.6%	3.5%
性別 女性	613	95.8%	0.7%	-	3.6%	90.4%	5.7%	0.2%	3.8%	90.7%	4.9%	0.5%	3.9%
性別 男性	392	96.7%	1.0%	-	2.3%	90.8%	6.4%	0.8%	2.0%	88.3%	8.4%	0.8%	2.6%
女性	10・20歳代	116	100.0%	-	-	92.2%	7.8%	-	-	94.8%	5.2%	-	-
	30歳代	68	95.6%	-	4.4%	88.2%	7.4%	-	4.4%	88.2%	5.9%	1.5%	4.4%
	40歳代	110	99.1%	0.9%	-	96.4%	3.6%	-	-	100.0%	-	-	-
	50歳代	94	100.0%	-	-	96.8%	3.2%	-	-	96.8%	3.2%	-	-
	60歳代	93	94.6%	-	-	90.3%	4.3%	-	5.4%	89.2%	5.4%	-	5.4%
	70歳以上	194	91.2%	1.5%	-	7.2%	83.0%	8.8%	0.5%	7.7%	82.5%	8.2%	1.0%
男性	10・20歳代	67	100.0%	-	-	85.1%	13.4%	1.5%	-	89.6%	9.0%	1.5%	-
	30歳代	35	100.0%	-	-	88.6%	11.4%	-	-	100.0%	-	-	-
	40歳代	56	98.2%	-	-	1.8%	94.6%	3.6%	-	1.8%	89.3%	8.9%	1.8%
	50歳代	83	96.4%	1.2%	-	2.4%	95.2%	1.2%	1.2%	2.4%	88.0%	8.4%	3.6%
	60歳代	55	96.4%	-	-	3.6%	94.5%	3.6%	-	1.8%	96.4%	1.8%	1.8%
	70歳以上	124	94.4%	2.4%	-	3.2%	84.7%	10.5%	1.6%	3.2%	80.6%	13.7%	1.6%

	回答者数 (n)	(エ)嫌がっているのに性的な行為を強要されたり、避妊に協力しない				(オ)見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる				(カ)親や親戚の家に行かせない、友人と会わせないなど、行動を制限される				
		暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思う	場合によっては暴力だと思わない	無回答	暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思う	場合によっては暴力だと思わない	無回答	暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思う	場合によっては暴力だと思わない	無回答	
全体	1,023	86.3%	9.5%	0.7%	3.5%	76.1%	18.7%	1.8%	3.4%	70.2%	23.8%	2.2%	3.8%	
性別 女性	613	87.1%	8.3%	0.8%	3.8%	77.5%	17.3%	1.5%	3.8%	72.9%	21.2%	1.8%	4.1%	
性別 男性	392	86.2%	10.5%	0.5%	2.8%	74.7%	20.4%	2.3%	2.6%	66.1%	28.3%	2.8%	2.8%	
女性	10・20歳代	116	98.3%	1.7%	-	-	92.2%	6.9%	0.9%	-	81.9%	18.1%	-	-
	30歳代	68	86.8%	7.4%	1.5%	4.4%	70.6%	20.6%	4.4%	4.4%	60.3%	30.9%	2.9%	5.9%
	40歳代	110	94.5%	4.5%	-	0.9%	81.8%	17.3%	0.9%	-	80.9%	18.2%	0.9%	-
	50歳代	94	95.7%	4.3%	-	-	89.4%	10.6%	-	-	89.4%	9.6%	1.1%	-
	60歳代	93	84.9%	9.7%	-	5.4%	78.5%	15.1%	1.1%	5.4%	73.1%	21.5%	-	5.4%
	70歳以上	194	76.8%	13.9%	2.1%	7.2%	65.5%	24.7%	2.1%	7.7%	61.3%	26.8%	3.6%	8.2%
男性	10・20歳代	67	95.5%	4.5%	-	-	86.6%	10.4%	3.0%	-	62.7%	35.8%	1.5%	-
	30歳代	35	97.1%	2.9%	-	-	82.9%	17.1%	-	-	71.4%	28.6%	-	-
	40歳代	56	92.9%	5.4%	-	1.8%	76.8%	19.6%	1.8%	1.8%	66.1%	30.4%	1.8%	1.8%
	50歳代	83	89.2%	8.4%	-	2.4%	74.7%	22.9%	-	2.4%	61.4%	34.9%	1.2%	2.4%
	60歳代	55	87.3%	9.1%	-	3.6%	78.2%	20.0%	-	1.8%	70.9%	25.5%	-	3.6%
	70歳以上	124	73.4%	20.2%	1.6%	4.8%	66.1%	24.2%	4.8%	4.8%	66.1%	23.4%	5.6%	4.8%

Ⅱ 市民意識調査の結果

	回答者数 (n)	(キ)交友関係や電話を細かく監視される				(ク)何を言っても無視される				(ケ)「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」「お前は馬鹿だ」「あなたは駄目な人間だ」などと言われる				
		暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思う	場合によっては暴力だと思わない	無回答	暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思わない	場合によっては暴力だと思わない	無回答	暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思わない	場合によっては暴力だと思わない	無回答	
全体	1,023	65.1%	28.1%	3.2%	3.6%	64.4%	28.3%	3.0%	4.2%	80.2%	15.2%	1.0%	3.6%	
性別 女性	613	68.7%	24.6%	2.9%	3.8%	66.6%	26.8%	2.3%	4.4%	82.5%	12.9%	0.8%	3.8%	
性別 男性	392	59.4%	34.4%	3.3%	2.8%	61.7%	31.4%	3.8%	3.1%	76.5%	19.4%	1.0%	3.1%	
女性	10・20歳代	116	73.3%	25.0%	1.7%	-	75.9%	23.3%	0.9%	-	92.2%	6.9%	0.9%	-
	30歳代	68	55.9%	29.4%	10.3%	4.4%	57.4%	35.3%	2.9%	4.4%	77.9%	14.7%	1.5%	5.9%
	40歳代	110	80.9%	18.2%	0.9%	-	73.6%	23.6%	1.8%	0.9%	90.0%	10.0%	-	-
	50歳代	94	79.8%	18.1%	2.1%	-	85.1%	13.8%	1.1%	-	92.6%	7.4%	-	-
	60歳代	93	65.6%	29.0%	-	5.4%	66.7%	26.9%	1.1%	5.4%	80.6%	14.0%	-	5.4%
	70歳以上	194	59.8%	28.4%	4.1%	7.7%	53.1%	33.5%	4.1%	9.3%	73.7%	17.5%	1.5%	7.2%
男性	10・20歳代	67	55.2%	35.8%	9.0%	-	71.6%	22.4%	6.0%	-	85.1%	11.9%	3.0%	-
	30歳代	35	62.9%	37.1%	-	-	74.3%	25.7%	-	-	82.9%	17.1%	-	-
	40歳代	56	60.7%	35.7%	1.8%	1.8%	69.6%	26.8%	1.8%	1.8%	75.0%	19.6%	3.6%	1.8%
	50歳代	83	51.8%	42.2%	3.6%	2.4%	60.2%	31.3%	6.0%	2.4%	74.7%	21.7%	1.2%	2.4%
	60歳代	55	69.1%	25.5%	1.8%	3.6%	60.0%	32.7%	3.6%	3.6%	76.4%	20.0%	-	3.6%
	70歳以上	124	59.7%	31.5%	4.0%	4.8%	56.5%	34.7%	3.2%	5.6%	73.4%	20.2%	0.8%	5.6%

	回答者数 (n)	(コ)大声でどなられたり、脅されたりする				(サ)子どもの目の前で、殴る、大声でどなるなどの行為を受ける				
		暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思わない	場合によっては暴力だと思わない	無回答	暴力だと思う	どんな場合でも暴力だと思わない	場合によっては暴力だと思わない	無回答	
全体	1,023	81.4%	14.2%	0.9%	3.5%	90.0%	6.2%	0.5%	3.3%	
性別 女性	613	84.8%	10.9%	0.7%	3.6%	91.4%	4.7%	0.3%	3.6%	
性別 男性	392	76.8%	19.1%	1.0%	3.1%	89.0%	7.9%	0.5%	2.6%	
女性	10・20歳代	116	91.4%	8.6%	-	-	98.3%	1.7%	-	-
	30歳代	68	82.4%	11.8%	1.5%	4.4%	88.2%	5.9%	1.5%	4.4%
	40歳代	110	90.9%	9.1%	-	-	98.2%	1.8%	-	-
	50歳代	94	95.7%	4.3%	-	-	96.8%	3.2%	-	-
	60歳代	93	87.1%	7.5%	-	5.4%	90.3%	4.3%	-	5.4%
	70歳以上	194	73.2%	18.0%	1.5%	7.2%	84.5%	7.7%	0.5%	7.2%
男性	10・20歳代	67	85.1%	11.9%	3.0%	-	91.0%	7.5%	1.5%	-
	30歳代	35	91.4%	8.6%	-	-	94.3%	5.7%	-	-
	40歳代	56	75.0%	19.6%	3.6%	1.8%	89.3%	8.9%	-	1.8%
	50歳代	83	77.1%	20.5%	-	2.4%	92.8%	4.8%	-	2.4%
	60歳代	55	76.4%	20.0%	-	3.6%	89.1%	7.3%	-	3.6%
	70歳以上	124	71.0%	22.6%	0.8%	5.6%	84.7%	10.5%	0.8%	4.0%

性別にみると、「(キ)交友関係や電話を細かく監視される」では「どんな場合でも暴力だと思う」は女性で68.7%、男性で59.4%となっており、男性が9.3ポイント低くなっている。ほとんどの項目で、「どんな場合でも暴力だと思う」の割合は女性の方が高くなっている。

年代別にみると、男女とも70歳以上は、いずれの項目も60歳代以下に比べて「どんな場合でも暴力だと思う」の割合が低い傾向がみられる。

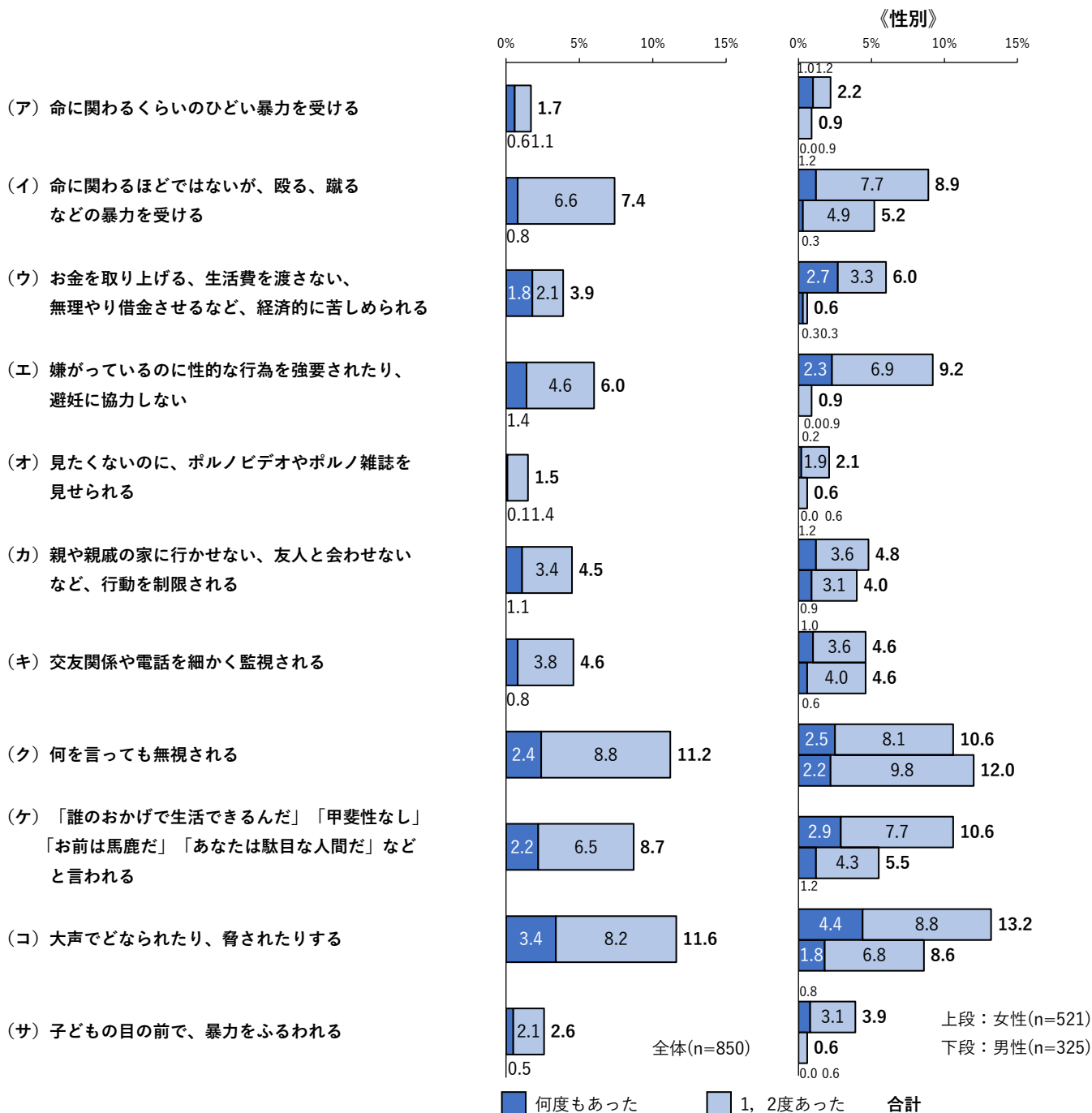
Ⅱ 市民意識調査の結果

(2) 配偶者やパートナーからの暴力の有無

《配偶者・パートナー（事実婚・別居中を含む）がいる方（いた方）におたずねします。》

問 15 あなたは、これまでに、配偶者・パートナーから、次の（ア）～（サ）の行為をされたことがありますか。（各項目に○は1つ）

【図15-1 性別 配偶者やパートナーからの暴力の有無 - 暴力があった割合】



【表15-1 性別 配偶者やパートナーからの暴力の有無】

		回答者数 (n)	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答
(ア) 命に関わるくらいのひどい暴力を受ける	全体	850	0.6%	1.1%	92.8%	5.5%
	女性	521	1.0%	1.2%	92.5%	5.4%
	男性	325	-	0.9%	93.5%	5.5%
(イ) 命に関わるほどではないが、殴る、蹴るなどの行為を受ける	全体	850	0.8%	6.6%	86.9%	5.6%
	女性	521	1.2%	7.7%	85.6%	5.6%
	男性	325	0.3%	4.9%	89.2%	5.5%
(ウ) お金を取り上げる、生活費を渡さない、無理やり借金させるなど、経済的に苦しめられる	全体	850	1.8%	2.1%	90.6%	5.5%
	女性	521	2.7%	3.3%	88.7%	5.4%
	男性	325	0.3%	0.3%	93.8%	5.5%
(エ) 嫌がっているのに性的な行為を強要されたり、避妊に協力しない	全体	850	1.4%	4.6%	88.6%	5.4%
	女性	521	2.3%	6.9%	85.8%	5.0%
	男性	325	-	0.9%	93.2%	5.8%
(オ) 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる	全体	850	0.1%	1.4%	92.7%	5.8%
	女性	521	0.2%	1.9%	92.5%	5.4%
	男性	325	-	0.6%	93.2%	6.2%
(カ) 親や親戚の家に行かせない、友人と会わせないなど、行動を制限される	全体	850	1.1%	3.4%	90.0%	5.5%
	女性	521	1.2%	3.6%	89.8%	5.4%
	男性	325	0.9%	3.1%	90.5%	5.5%
(キ) 交友関係や電話を細かく監視される	全体	850	0.8%	3.8%	89.6%	5.8%
	女性	521	1.0%	3.6%	89.6%	5.8%
	男性	325	0.6%	4.0%	89.8%	5.5%
(ク) 何を言っても無視される	全体	850	2.4%	8.8%	83.2%	5.6%
	女性	521	2.5%	8.1%	83.9%	5.6%
	男性	325	2.2%	9.8%	82.5%	5.5%
(ケ) 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」「お前は馬鹿だ」「あなたは駄目な人間だ」などと言われる	全体	850	2.2%	6.5%	85.6%	5.6%
	女性	521	2.9%	7.7%	83.7%	5.8%
	男性	325	1.2%	4.3%	88.9%	5.5%
(コ) 大声でどなられたり、脅されたりする	全体	850	3.4%	8.2%	82.9%	5.4%
	女性	521	4.4%	8.8%	81.4%	5.4%
	男性	325	1.8%	6.8%	85.8%	5.5%
(サ) 子どもの目の前で、殴る、大声でどなるなどの行為を受ける	全体	850	0.5%	2.1%	91.8%	5.6%
	女性	521	0.8%	3.1%	90.6%	5.6%
	男性	325	-	0.6%	93.8%	5.5%

配偶者やパートナーからの暴力の有無については、全項目で「まったくくない」が8割以上を占めており、暴力が『あった』（「何度もあった」と「1, 2度あった」の合計）は、「(コ) 大声でどなられたり、脅されたりする」で11.6%、「(ク) 何を言っても無視される」で11.2%、「(ケ) 『誰のおかげで生活できるんだ』『甲斐性なし』『お前は馬鹿だ』『あなたは駄目な人間だ』などと言われる」で8.7%と、他の項目に比べて高くなっている。

性別にみると、男女ともに暴力が『あった』は「(ク) 何を言っても無視される」で女性が10.6%、男性が12.0%と高くなっている。また、女性では暴力が『あった』は「(コ) 大声でどなられたり、脅されたりする」で13.2%、「(ケ) 『誰のおかげで生活できるんだ』『甲斐性なし』『お前は馬鹿だ』『あなたは駄目な人間だ』などと言われる」で10.6%、「(エ) 嫌がっているのに性的な行為を強要されたり、避妊に協力しない」で9.2%、「(イ) 命に関わるほどではないが、殴る、蹴るなどの暴力を受ける」で8.9%と高くなっている。

「(キ) 交友関係や電話を細かく監視される」「(ク) 何を言っても無視される」以外は、女性の方が『あった』が高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表15-2 年代別 配偶者やパートナーからの暴力の有無】

	回答者数 (n)	(ア)命に関わるくらいひどい暴力を受ける				(イ)命に関わるほどではないが、殴る、蹴るなどの暴力を受ける				(ウ)お金を取り上げる、生活費を渡さない、無理やり借金させるなど、経済的に苦しめられる				
		何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	
全体	850	0.6%	1.1%	92.8%	5.5%	0.8%	6.6%	86.9%	5.6%	1.8%	2.1%	90.6%	5.5%	
女性	10・20歳代	26	-	-	100.0%	-	7.7%	92.3%	-	-	3.8%	96.2%	-	
	30歳代	55	-	1.8%	98.2%	-	1.8%	7.3%	90.9%	-	3.6%	1.8%	94.5%	
	40歳代	95	-	-	100.0%	-	1.1%	7.4%	91.6%	-	2.1%	1.1%	96.8%	
	50歳代	81	1.2%	1.2%	92.6%	4.9%	2.5%	7.4%	85.2%	4.9%	4.9%	3.7%	86.4%	4.9%
	60歳代	89	1.1%	2.2%	91.0%	5.6%	1.1%	9.0%	83.1%	6.7%	3.4%	7.9%	83.1%	5.6%
	70歳以上	189	1.6%	1.1%	87.3%	10.1%	0.5%	7.4%	82.0%	10.1%	1.6%	2.1%	86.2%	10.1%
	男性	10・20歳代	12	-	-	100.0%	-	8.3%	8.3%	83.3%	-	-	-	100.0%
30歳代		28	-	-	100.0%	-	3.6%	7.1%	89.3%	-	-	-	100.0%	
40歳代		46	-	-	100.0%	-	-	10.9%	89.1%	-	2.2%	2.2%	95.7%	
50歳代		71	-	1.4%	95.8%	2.8%	-	7.0%	90.1%	2.8%	-	-	97.2%	2.8%
60歳代		52	-	-	90.4%	9.6%	-	1.9%	88.5%	9.6%	-	-	90.4%	9.6%
70歳以上		120	-	1.7%	89.2%	9.2%	-	2.5%	88.3%	9.2%	-	-	90.8%	9.2%

	回答者数 (n)	(エ)嫌がっているのに性的な行為を強要されたり、避妊に協力しない				(オ)見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる				(カ)親や親戚の家に行かせない、友人と会わせないなど、行動を制限される				
		何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	
全体	850	1.4%	4.6%	88.6%	5.4%	0.1%	1.4%	92.7%	5.8%	1.1%	3.4%	90.0%	5.5%	
女性	10・20歳代	26	-	3.8%	96.2%	-	-	100.0%	-	3.8%	-	96.2%	-	
	30歳代	55	3.6%	5.5%	90.9%	-	-	100.0%	-	3.6%	1.8%	94.5%	-	
	40歳代	95	5.3%	4.2%	90.5%	-	-	1.1%	98.9%	-	1.1%	8.4%	90.5%	
	50歳代	81	-	8.6%	86.4%	4.9%	-	2.5%	92.6%	4.9%	1.2%	2.5%	91.4%	4.9%
	60歳代	89	3.4%	10.1%	80.9%	5.6%	1.1%	2.2%	91.0%	5.6%	1.1%	4.5%	88.8%	5.6%
	70歳以上	189	1.1%	6.3%	83.6%	9.0%	-	2.6%	87.3%	10.1%	-	2.1%	87.8%	10.1%
	男性	10・20歳代	12	-	-	100.0%	-	-	100.0%	-	8.3%	8.3%	83.3%	-
30歳代		28	-	-	100.0%	-	-	100.0%	-	-	3.6%	96.4%	-	
40歳代		46	-	-	100.0%	-	-	100.0%	-	2.2%	8.7%	89.1%	-	
50歳代		71	-	2.8%	94.4%	2.8%	-	-	97.2%	2.8%	1.4%	2.8%	93.0%	2.8%
60歳代		52	-	-	90.4%	9.6%	-	-	90.4%	9.6%	-	-	90.4%	9.6%
70歳以上		120	-	0.8%	89.2%	10.0%	-	1.7%	87.5%	10.8%	-	1.7%	89.2%	9.2%

Ⅱ 市民意識調査の結果

	回答者数 (n)	(キ)交友関係や電話を細かく監視される				(ク)何を言っても無視される				(ケ)「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」「お前は馬鹿だ」「あなたは駄目な人間だ」などと言われる			
		何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答
全体	850	0.8%	3.8%	89.6%	5.8%	2.4%	8.8%	83.2%	5.6%	2.2%	6.5%	85.6%	5.6%
女性	10・20歳代	26	3.8%	-	96.2%	-	-	100.0%	-	-	7.7%	92.3%	-
	30歳代	55	1.8%	3.6%	94.5%	-	3.6%	5.5%	90.9%	-	5.5%	9.1%	85.5%
	40歳代	95	1.1%	6.3%	92.6%	-	5.3%	7.4%	87.4%	-	4.2%	9.5%	86.3%
	50歳代	81	1.2%	3.7%	88.9%	6.2%	3.7%	8.6%	82.7%	4.9%	3.7%	6.2%	84.0%
	60歳代	89	1.1%	5.6%	87.6%	5.6%	2.2%	13.5%	78.7%	5.6%	5.6%	11.2%	77.5%
	70歳以上	189	-	1.6%	87.8%	10.6%	0.5%	6.9%	82.0%	10.6%	-	5.3%	84.1%
男性	10・20歳代	12	8.3%	-	91.7%	-	16.7%	83.3%	-	-	8.3%	91.7%	-
	30歳代	28	-	3.6%	96.4%	-	-	3.6%	96.4%	-	-	100.0%	-
	40歳代	46	2.2%	15.2%	82.6%	-	4.3%	15.2%	80.4%	-	2.2%	10.9%	87.0%
	50歳代	71	-	2.8%	94.4%	2.8%	4.2%	9.9%	83.1%	2.8%	2.8%	4.2%	90.1%
	60歳代	52	-	1.9%	88.5%	9.6%	-	11.5%	78.8%	9.6%	-	5.8%	84.6%
	70歳以上	120	0.8%	1.7%	88.3%	9.2%	1.7%	7.5%	81.7%	9.2%	0.8%	2.5%	87.5%

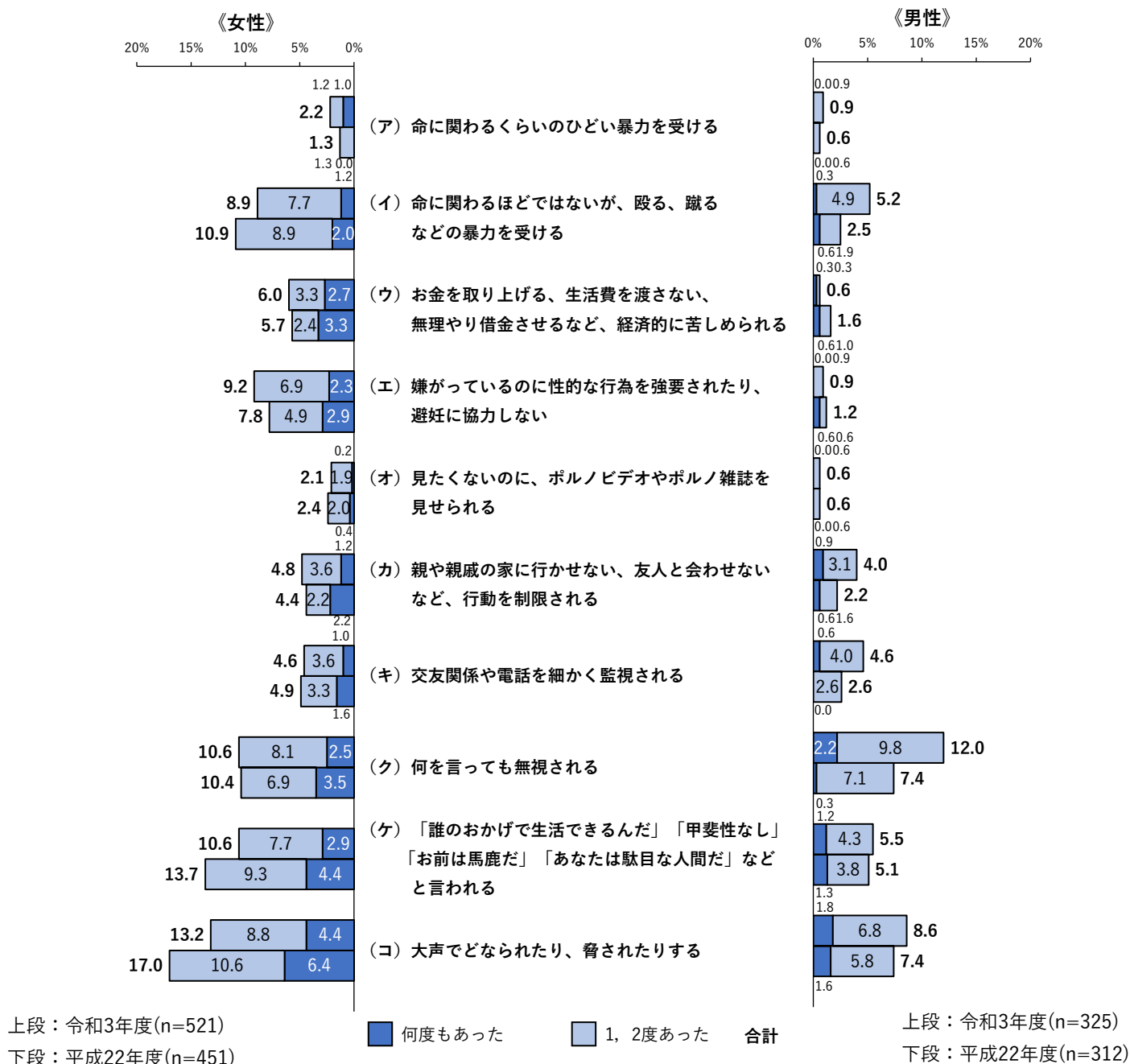
	回答者数 (n)	(コ)大声でどなられたり、脅されたりする				(サ)子どもの目の前で、暴力をふるわれる			
		何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答
全体	850	3.4%	8.2%	82.9%	5.4%	0.5%	2.1%	91.8%	5.6%
女性	10・20歳代	26	3.8%	3.8%	92.3%	-	-	100.0%	-
	30歳代	55	5.5%	10.9%	83.6%	-	1.8%	3.6%	94.5%
	40歳代	95	8.4%	7.4%	84.2%	-	1.1%	4.2%	94.7%
	50歳代	81	3.7%	14.8%	76.5%	4.9%	1.2%	1.2%	92.6%
	60歳代	89	6.7%	6.7%	80.9%	5.6%	-	5.6%	88.8%
	70歳以上	189	1.1%	7.9%	81.0%	10.1%	0.5%	2.1%	86.8%
男性	10・20歳代	12	-	-	100.0%	-	-	100.0%	-
	30歳代	28	-	3.6%	96.4%	-	-	100.0%	-
	40歳代	46	6.5%	13.0%	80.4%	-	-	100.0%	-
	50歳代	71	1.4%	9.9%	85.9%	2.8%	-	1.4%	95.8%
	60歳代	52	-	5.8%	84.6%	9.6%	-	-	90.4%
	70歳以上	120	1.7%	4.2%	85.0%	9.2%	-	0.8%	90.0%

Ⅱ 市民意識調査の結果

年代別にみると、暴力が『あった』は「(イ)命に関わるほどではないが、殴る、蹴るなどの暴力を受ける」では、女性は年代による違いはあまりみられないが、男性は40歳代以下で高く10・20歳代で16.6%と高くなっている。「(ウ)お金を取り上げる、生活費を渡さない、無理やり借金させるなど、経済的に苦しめられる」「(エ)嫌がっているのに性的な行為を強要されたり、避妊に協力しない」では、女性の60歳代でそれぞれ11.3%、13.5%と高くなっている。

「(カ)親や親戚の家に行かせない、友人と会わせないなど、行動を制限される」では、男性の10・20歳代で16.6%と高くなっている。「(キ)交友関係や電話を細かく監視される」では、男性の40歳代で17.4%と高くなっている。「(ク)何を言っても無視される」では、男性の40歳代で19.5%と高くなっている。「(ケ)『誰のおかげで生活できるんだ』『甲斐性なし』『お前は馬鹿だ』『あなたは駄目な人間だ』などと言われる」では、女性の60歳代で16.8%と高くなっている。「(コ)大声でどなられたり、脅されたりする」では、女性の50歳代で18.5%、男性の40歳代で19.5%と高くなっている。

【図15-2 経年比較 配偶者やパートナーからの暴力の有無】



※ 「(サ)子どもの目の前で、暴力をふるわれる」は令和3年度調査のみの項目

経年比較をみると、3ポイント以上の差があるのは、女性が「(ケ)『誰のおかげで生活できるんだ』『甲斐性なし』『お前は馬鹿だ』『あなたは駄目な人間だ』などと言われる」と「(コ)大声でどなられたり、脅されたりする」で、それぞれ低くなっている。男性では「(ク)何を言っても無視される」が高くなっている。

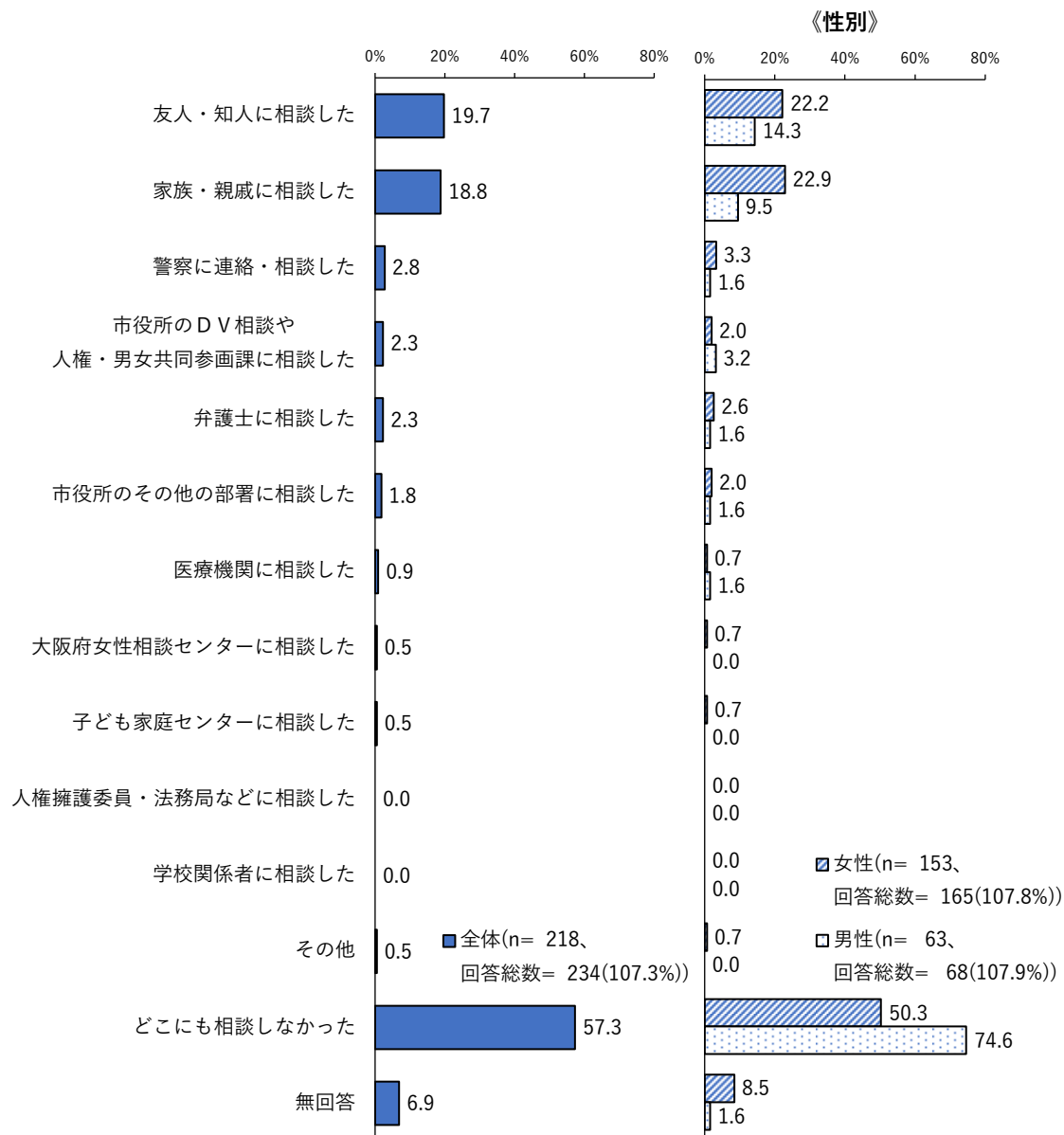
Ⅱ 市民意識調査の結果

(3) 配偶者やパートナーからの暴力の相談相手

《問 15 で「何度もあった」、「1, 2度あった」に1つでも○をつけられた方におたずねします。》

問 15-1 あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はいくつでも)

【図15-3 性別 配偶者やパートナーからの暴力の相談相手】



配偶者やパートナーからの暴力の相談相手は、「どこにも相談しなかった」が57.3%で最も高く、次いで「友人・知人に相談した」が19.7%、「家族・親戚に相談した」が18.8%となっている。

性別にみると、「どこにも相談しなかった」は女性で50.3%、男性で74.6%と高く、男性の方が24.3ポイント高くなっている。女性では「友人・知人に相談した」「家族・親戚に相談した」が約2割となっており、男性より高くなっている。

【表15-3 年代別 配偶者やパートナーからの暴力の相談相手】

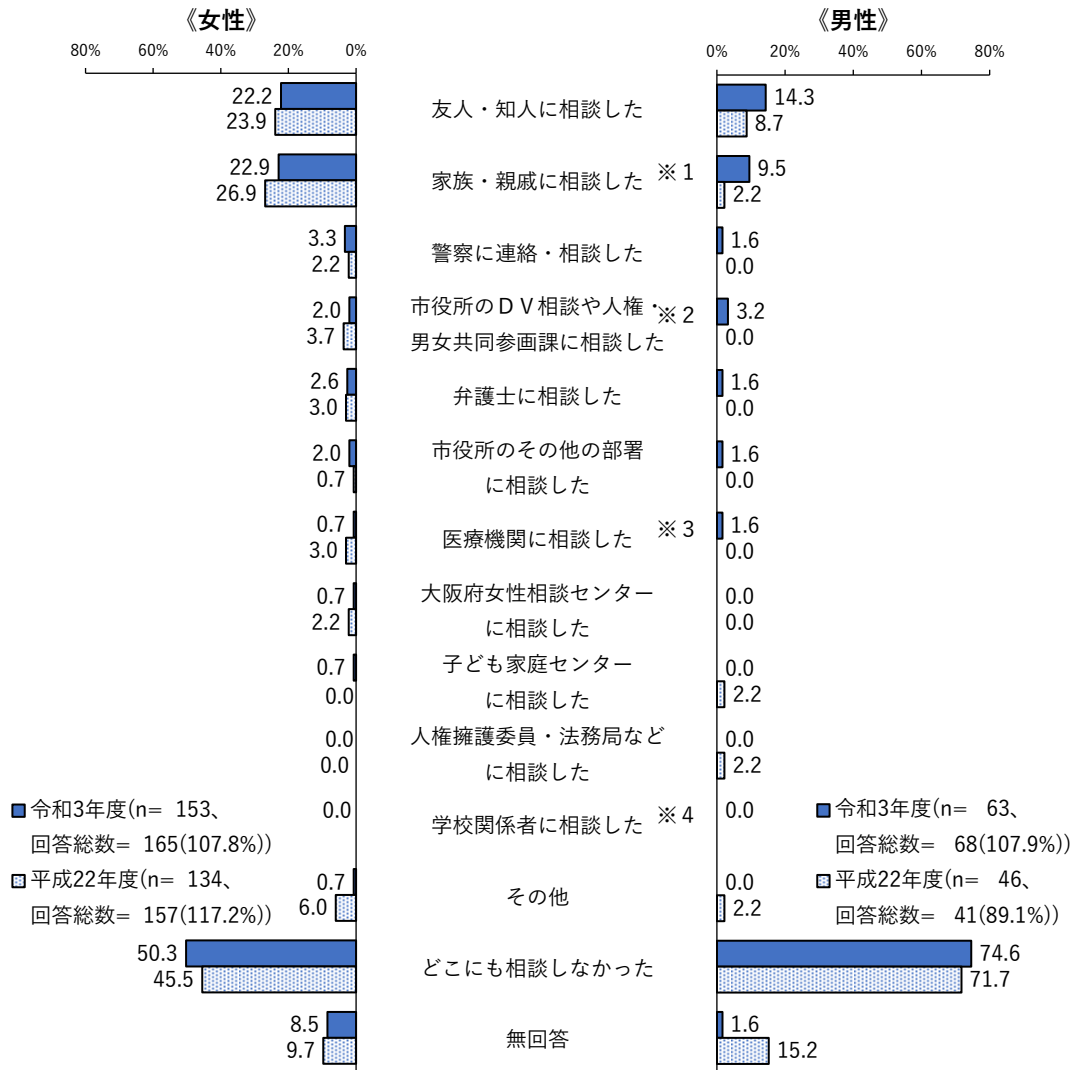
	回答者数 (n)	友人・知人に相談した	家族・親戚に相談した	警察に連絡・相談した	市役所のDV相談や人権・男女共同参画課に相談した	弁護士に相談した	市役所のその他の部署に相談した	医療機関に相談した	大阪府女性相談センターに相談した	子ども家庭センターに相談した	人権擁護委員・法務局などに相談した
全体	218	19.7%	18.8%	2.8%	2.3%	2.3%	1.8%	0.9%	0.5%	0.5%	-
女性	10・20歳代	4	50.0%	-	-	-	25.0%	-	-	-	-
	30歳代	15	26.7%	33.3%	6.7%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	-
	40歳代	27	25.9%	33.3%	7.4%	-	3.7%	3.7%	-	-	-
	50歳代	23	17.4%	17.4%	4.3%	-	4.3%	-	-	-	-
	60歳代	33	24.2%	24.2%	3.0%	-	-	-	-	-	-
	70歳以上	52	19.2%	17.3%	-	1.9%	1.9%	-	-	-	-
男性	10・20歳代	5	60.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	17	17.6%	-	5.9%	5.9%	5.9%	-	-	-	-
	50歳代	18	11.1%	27.8%	-	5.6%	-	-	-	-	-
	60歳代	7	14.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
	70歳以上	15	6.7%	6.7%	-	-	-	6.7%	6.7%	-	-

	回答者数 (n)	学校関係者に相談した	その他	どこにも相談しなかった	無回答
全体	218	-	0.5%	57.3%	6.9%
女性	10・20歳代	4	-	25.0%	-
	30歳代	15	-	46.7%	-
	40歳代	27	-	44.4%	7.4%
	50歳代	23	-	56.5%	4.3%
	60歳代	33	-	48.5%	6.1%
	70歳以上	52	-	1.9%	53.8%
男性	10・20歳代	5	-	40.0%	-
	30歳代	3	-	100.0%	-
	40歳代	17	-	76.5%	-
	50歳代	18	-	66.7%	-
	60歳代	7	-	85.7%	-
	70歳以上	15	-	-	80.0%

年代別にみると、女性の30歳代、40歳代は「家族・親戚に相談した」が他の年代よりも高くなっている。男性は女性に比べて、いずれの年代も「どこにも相談しなかった」が高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【図15-4 経年比較 配偶者やパートナーからの暴力の相談相手】



- ※1 平成22年度調査では「家族に相談した」
- ※2 平成22年度調査では「市役所の女性相談や男女共同参画課に相談した」
- ※3 平成22年度調査では「医者に相談した」
- ※4 令和3年度調査のみの項目

経年比較をみると、男女とも「どこにも相談しなかった」がわずかに高くなっている。「友人・知人に相談した」「家族・親戚に相談した」は、女性ではわずかに低くなっているが、男性では高くなっている。

(4) 配偶者やパートナーからの暴力の相談先を知った手段

《問 15-1 で「2」、「3」、「4」、「5」、「6」のいずれかに○をされた方におたずねします。》

問 15-2 相談窓口をどのような手段で知りましたか。(○はいくつでも)

【表15-4 性別 配偶者やパートナーからの暴力の相談先を知った手段】

	回答者数 (n)	インターネット (ホームページ、SNS など)	市の広報誌	書籍、雑誌	知り合いからの紹介	ポスター	パンフレット、リーフレット、相談カード	テレビ、ラジオ(ニュース、テレビ番組等)	ケーブルテレビ	その他	無回答
全体	9	5人	2人	1人	1人	-	-	-	-	1人	-
性別 女性	6	4人	1人	-	-	-	-	-	-	1人	-
男性	3	1人	1人	1人	1人	-	-	-	-	-	-

公的機関の相談窓口相談した人9人がその相談窓口を知った手段は、「インターネット(ホームページ、SNSなど)」が55.6%(5人)で最も高く、次いで「市の広報誌」が22.2%(2人)、「書籍、雑誌」「知り合いからの紹介」「その他」がいずれも11.1%(1人)となっている。

性別にみると、女性では「インターネット(ホームページ、SNSなど)」が66.7%(4人)、「市の広報誌」が16.7%(1人)となっている。男性では「インターネット(ホームページ、SNSなど)」「市の広報誌」「書籍、雑誌」「知り合いからの紹介」がいずれも33.3%(1人)となっている。

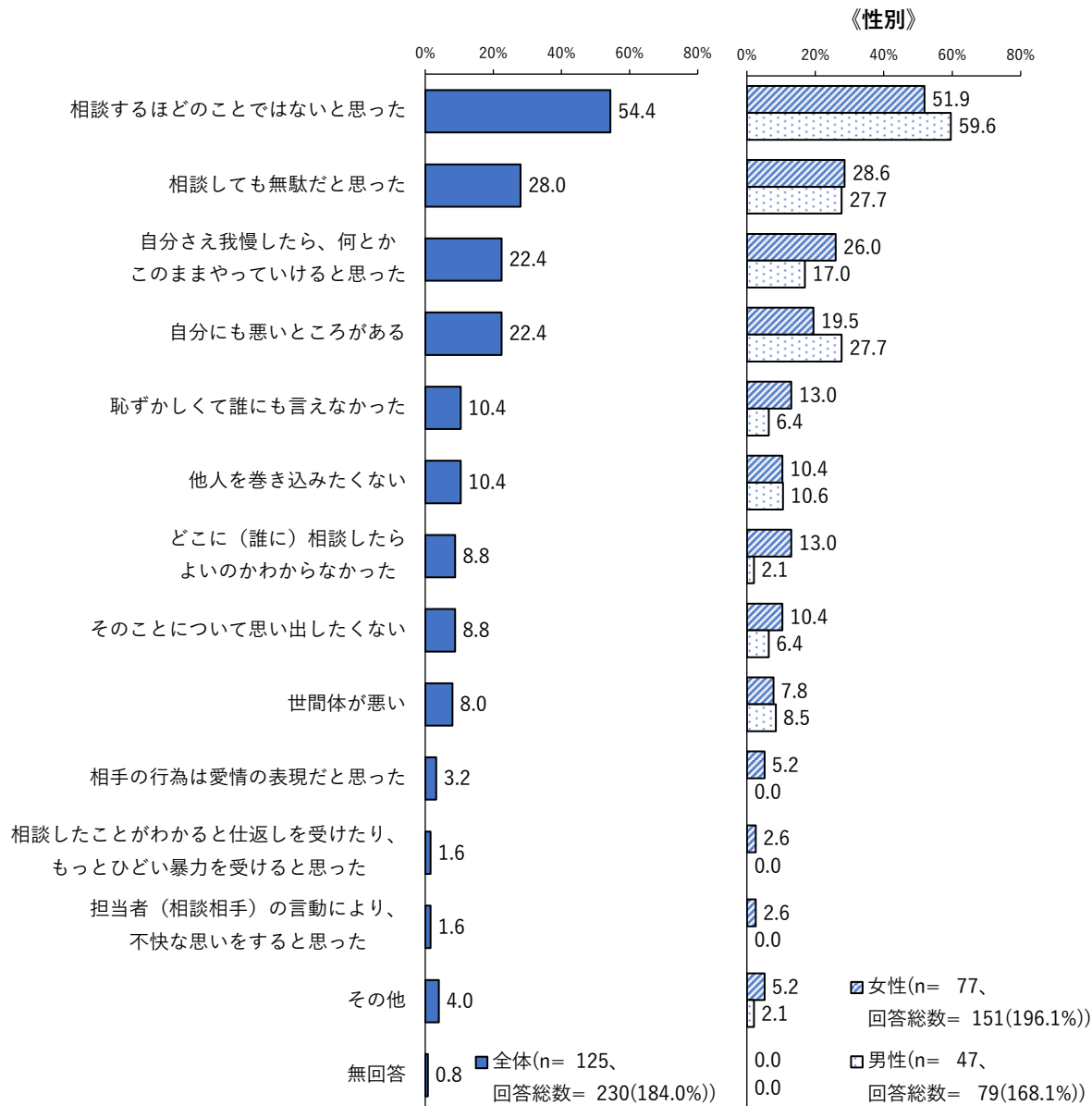
Ⅱ 市民意識調査の結果

(5) 配偶者やパートナーからの暴力を相談しなかった理由

《問 15-1 で「13.どこにも相談しなかった」と答えられた方におたずねします。》

問 15-3 相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

【図15-5 性別 配偶者やパートナーからの暴力を相談しなかった理由】



配偶者やパートナーからの暴力を相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思った」が54.4%で最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」が28.0%、「自分さえ我慢したら、何とかこのままやっていけると思った」と「自分にも悪いところがある」がともに22.4%となっている。

性別にみると、「相談するほどのことではないと思った」は男性で59.6%となっており、女性より7.7ポイント高くなっている。「相談しても無駄だと思った」は男女で大きな違いはみられないが、「自分さえ我慢したら、何とかこのままやっていけると思った」は女性が9.0ポイント、「自分にも悪いところがある」は男性が8.2ポイント高くなっている。

【表15-5 年代別 配偶者やパートナーからの暴力を相談しなかった理由】

	回答者数 (n)	相談するほどのことではないと思った	相談しても無駄だと思った	何とかこのままやっていたらいいかと思っただけ	自分さえ我慢したら、何とかこのままやっていたらいいかと思っただけ	自分にも悪いところがある	恥ずかしくて誰にも言えなかった	他人を巻き込みたくない	どこに(誰に)相談したらよいかわからなかった	そのことについて思い出しにくい	世間体が悪い	相手の行為は愛情の表現だと思った
全体	125	54.4%	28.0%	22.4%	22.4%	10.4%	10.4%	8.8%	8.8%	8.0%	3.2%	
女性	10・20歳代	1	-	-	100.0%	-	-	-	100.0%	-	-	-
	30歳代	7	71.4%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	-	28.6%	14.3%
	40歳代	12	25.0%	50.0%	41.7%	16.7%	8.3%	8.3%	25.0%	16.7%	16.7%	8.3%
	50歳代	13	61.5%	38.5%	30.8%	30.8%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%
	60歳代	16	25.0%	31.3%	37.5%	18.8%	18.8%	18.8%	12.5%	18.8%	-	-
	70歳以上	28	71.4%	14.3%	7.1%	14.3%	10.7%	-	3.6%	7.1%	3.6%	3.6%
男性	10・20歳代	2	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0%
	30歳代	3	66.7%	-	33.3%	33.3%	-	33.3%	-	-	33.3%	-
	40歳代	13	38.5%	38.5%	15.4%	15.4%	7.7%	-	-	-	-	-
	50歳代	12	58.3%	41.7%	25.0%	33.3%	8.3%	25.0%	-	25.0%	-	-
	60歳代	6	83.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	-	16.7%	-	-	-
	70歳以上	12	66.7%	16.7%	8.3%	41.7%	-	8.3%	-	-	25.0%	-

	回答者数 (n)	相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思った	担当者(相談相手)の言動により、不快な思いをすることを思った	その他	無回答
全体	125	1.6%	1.6%	4.0%	0.8%
女性	10・20歳代	1	-	-	-
	30歳代	7	-	14.3%	14.3%
	40歳代	12	8.3%	8.3%	8.3%
	50歳代	13	-	-	7.7%
	60歳代	16	6.3%	-	6.3%
	70歳以上	28	-	-	-
男性	10・20歳代	2	-	-	-
	30歳代	3	-	-	-
	40歳代	13	-	-	7.7%
	50歳代	12	-	-	-
	60歳代	6	-	-	-
	70歳以上	12	-	-	-

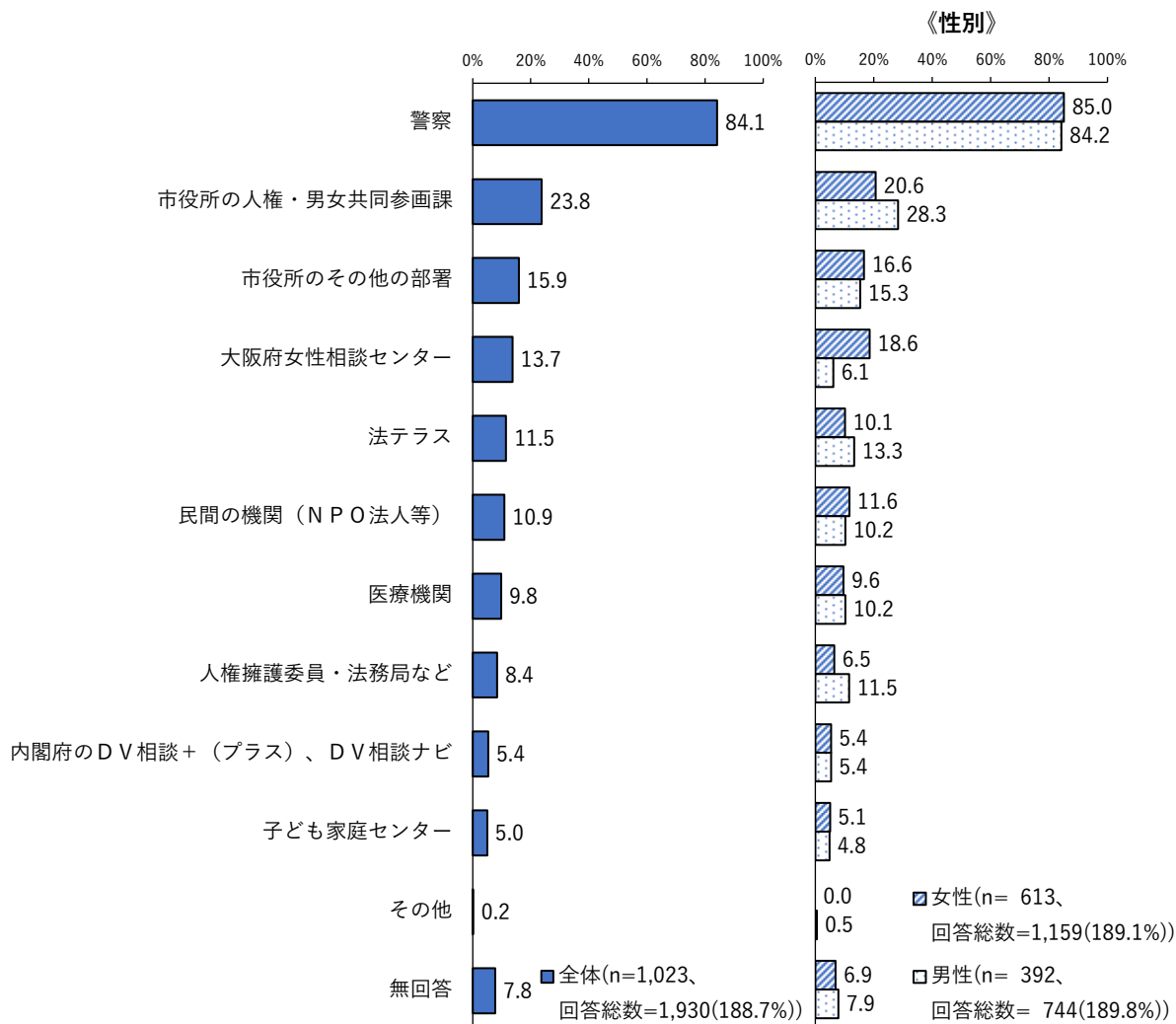
年代別にみると、女性の40歳代では「相談しても無駄だと思った」「自分さえ我慢したら、何とかこのままやっていたらいいかと思っただけ」の回答が他の年代に比べて高くなっている。男性では、40歳代、50歳代で「相談しても無駄だと思った」が高くなっている。

II 市民意識調査の結果

(6) 配偶者から暴力を受けた場合の相談機関で知っているもの

問 16 あなたは、配偶者・パートナーからの暴力を受けた場合の相談先として、どのような相談機関を知っていますか。(〇はいくつでも)

【図16-1 性別 配偶者から暴力を受けた場合の相談機関で知っているもの】



配偶者から暴力を受けた場合の相談機関で知っているものは、「警察」が 84.1%で最も高く、次いで「市役所の人権・男女共同参画課」が 23.8%、「市役所のその他の部署」が 15.9%、「大阪府女性相談センター」が 13.7%、「法テラス」が 11.5%、「民間の機関(NPO法人等)」が 10.9%、「医療機関」が 9.8%となっており、「警察」以外の認知は低い。

性別にみると、男女ともに「警察」が女性で 85.0%、男性で 84.2%と高くなっている。次いで、女性では「市役所の人権・男女共同参画課」が 20.6%、「大阪府女性相談センター」が 18.6%となっており、男性では「市役所の人権・男女共同参画課」が 28.3%、「市役所のその他の部署」が 15.3%となっている。「市役所の人権・男女共同参画課」「大阪府女性相談センター」でやや違いがみられる程度で、相談機関の認知状況に男女の差はほとんどみられない。

【表16-1 年代別 配偶者から暴力を受けた場合の相談機関で知っているもの】

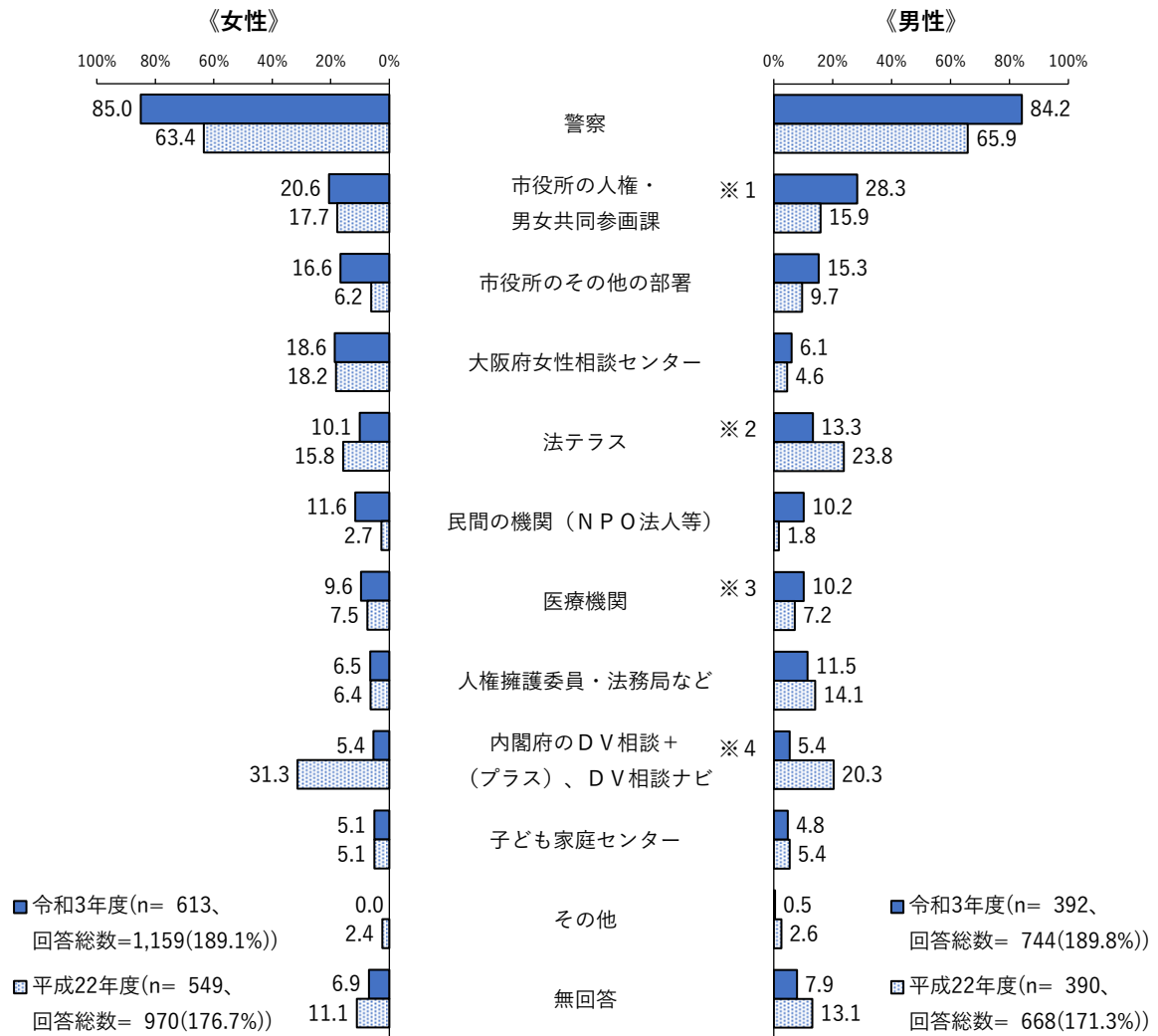
	回答者数 (n)	警察	市役所の人権・男女 共同参画課	市役所のその他の 部署	大阪府女性相談セ ンター	法テラス	民間の機関(NPO 法人等)	医療機関	人権擁護委員・法務 局など	内閣府のDV相談 + (プラス)、DV 相談ナビ	子ども家庭セン タ	
全体	1,023	84.1%	23.8%	15.9%	13.7%	11.5%	10.9%	9.8%	8.4%	5.4%	5.0%	
女性	10・20歳代	116	93.1%	19.8%	6.9%	14.7%	18.1%	19.8%	21.6%	7.8%	10.3%	9.5%
	30歳代	68	94.1%	26.5%	11.8%	11.8%	11.8%	14.7%	4.4%	5.9%	7.4%	
	40歳代	110	86.4%	15.5%	17.3%	20.0%	14.5%	9.1%	16.4%	3.6%	3.6%	7.3%
	50歳代	94	92.6%	17.0%	22.3%	26.6%	12.8%	11.7%	9.6%	2.1%	8.5%	7.4%
	60歳代	93	92.5%	24.7%	14.0%	26.9%	10.8%	9.7%	6.5%	6.5%	7.5%	3.2%
	70歳以上	194	71.6%	20.1%	18.0%	12.9%	2.1%	8.2%	2.6%	10.3%	1.5%	1.0%
	男性	10・20歳代	67	89.6%	25.4%	14.9%	7.5%	20.9%	20.9%	20.9%	7.5%	13.4%
30歳代		35	91.4%	25.7%	11.4%	11.4%	20.0%	20.0%	14.3%	8.6%	2.9%	5.7%
40歳代		56	85.7%	32.1%	16.1%	7.1%	28.6%	12.5%	12.5%	7.1%	3.6%	1.8%
50歳代		83	91.6%	25.3%	14.5%	8.4%	13.3%	7.2%	10.8%	3.6%	9.6%	6.0%
60歳代		55	78.2%	30.9%	12.7%	7.3%	12.7%	9.1%	9.1%	16.4%	3.6%	5.5%
70歳以上		124	79.0%	28.2%	17.7%	2.4%	4.0%	5.6%	6.5%	18.5%	1.6%	3.2%

	回答者数 (n)	その他	無回答	
全体	1,023	0.2%	7.8%	
女性	10・20歳代	116	-	0.9%
	30歳代	68	-	2.9%
	40歳代	110	-	1.8%
	50歳代	94	-	2.1%
	60歳代	93	-	2.2%
	70歳以上	194	-	17.5%
	男性	10・20歳代	67	-
30歳代		35	-	-
40歳代		56	-	8.9%
50歳代		83	1.2%	4.8%
60歳代		55	1.8%	10.9%
70歳以上		124	-	10.5%

年代別にみると、「警察」は女性の70歳以上と男性の60歳代以上で他の年齢層に比べて低く7割台となっている。男女ともに「民間の機関(NPO法人等)」は30歳代以下で高く、男女ともに年代が低くなるほど「医療機関」が高くなる傾向となっている。男性の40歳代で「法テラス」が28.6%と高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【図16-2 経年比較 配偶者から暴力を受けた場合の相談機関で知っているもの】



- ※1 平成22年度調査では「市役所の女性相談や男女共同参画課」
- ※2 平成22年度調査では「弁護士」
- ※3 平成22年度調査では「医者」
- ※4 平成22年度調査では「DVホットライン」

経年比較をみると、男女ともに「警察」「市役所の人権・男女共同参画課」「市役所のその他の部署」「民間の機関(NPO法人等)」は前回調査と比べて高くなっており、「警察」は女性で21.6ポイント、男性で18.3ポイントの増加となっている。前回調査と同一項目は概ね認知率が高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

デートDVの認識が相対的に低い項目についてみると、「(イ)相手の都合や意見を聞かず、二人のことを何でも自分で決める」は「場合によっては暴力だと思う」が47.0%で最も高く、「暴力だとは思わない」が10.0%で他の項目より高くなっている。「(ア)相手がどこで何をしているのか気になり、必要以上にメール、SNS、携帯電話で細かくチェックする」は、「どんな場合でも暴力だと思う」と「場合によっては暴力だと思う」がほぼ同程度である。「(ウ)メールや通信履歴を勝手に見たり、メールアドレスを勝手に消す」「(エ)友人との付き合いに干渉する、他の人との付き合いをさせない」「(オ)デート費用をいつも負担させる、借りたお金を返さない」では、「どんな場合でも暴力だと思う」が約6割、「場合によっては暴力だと思う」が約3割となっている。

【表17-2 性別、年代別 デートDVの認識】

	回答者数 (n)	(ア)相手がどこで何をしているのか気になり、必要以上にメール、SNS、携帯電話で細かくチェックする				(イ)相手の都合や意見を聞かず、二人のことを何でも自分で決める				(ウ)メールや通信履歴を勝手に見たり、メールアドレスを勝手に消す				
		暴力だと思 う	どんな場合でも 暴力だと思 う	場合によっ ては暴力だ と思わな い	無回 答	暴力だと思 う	どんな場合でも 暴力だと思 う	場合によっ ては暴力だ と思わな い	無回 答	暴力だと思 う	どんな場合でも 暴力だと思 う	場合によっ ては暴力だ と思わな い	無回 答	
全体	1,023	44.9%	43.7%	5.9%	5.6%	37.1%	47.0%	10.0%	5.9%	63.5%	27.4%	3.3%	5.8%	
性別														
女性	613	45.4%	42.6%	5.9%	6.2%	37.0%	46.3%	10.1%	6.5%	64.3%	25.8%	3.8%	6.2%	
男性	392	44.4%	46.4%	5.6%	3.6%	37.2%	50.0%	9.2%	3.6%	63.3%	30.6%	2.3%	3.8%	
女性	10・20歳代	116	33.6%	52.6%	13.8%	-	41.4%	44.0%	14.7%	-	68.1%	26.7%	5.2%	-
	30歳代	68	33.8%	47.1%	19.1%	-	27.9%	51.5%	20.6%	-	52.9%	35.3%	11.8%	-
	40歳代	110	40.9%	51.8%	6.4%	0.9%	40.9%	50.0%	8.2%	0.9%	62.7%	30.9%	5.5%	0.9%
	50歳代	94	58.5%	38.3%	2.1%	1.1%	44.7%	47.9%	6.4%	1.1%	79.8%	18.1%	2.1%	-
	60歳代	93	63.4%	33.3%	-	3.2%	45.2%	44.1%	7.5%	3.2%	76.3%	19.4%	-	4.3%
	70歳以上	194	39.2%	40.2%	3.6%	17.0%	29.4%	42.8%	9.8%	18.0%	52.6%	27.3%	3.1%	17.0%
男性	10・20歳代	67	29.9%	59.7%	10.4%	-	32.8%	53.7%	13.4%	-	61.2%	31.3%	6.0%	1.5%
	30歳代	35	28.6%	62.9%	8.6%	-	34.3%	57.1%	8.6%	-	68.6%	28.6%	2.9%	-
	40歳代	56	39.3%	50.0%	8.9%	1.8%	32.1%	57.1%	8.9%	1.8%	60.7%	33.9%	3.6%	1.8%
	50歳代	83	36.1%	54.2%	8.4%	1.2%	32.5%	51.8%	14.5%	1.2%	59.0%	37.3%	2.4%	1.2%
	60歳代	55	56.4%	38.2%	-	5.5%	38.2%	54.5%	1.8%	5.5%	70.9%	21.8%	1.8%	5.5%
	70歳以上	124	54.8%	33.1%	4.8%	7.3%	43.5%	40.3%	8.9%	7.3%	62.9%	28.2%	1.6%	7.3%

Ⅱ 市民意識調査の結果

	回答者数 (n)	(エ)友人との付き合いに干渉する、他の人との付き合いをさせない				(オ)デート費用をいつも負担させる、借りたお金を返さない				(カ)殴る、蹴る、髪の毛を引っ張るなどする				
		暴力だ と思う	どんな 場合でも 暴力だ と思う	場合によ っては 暴力だ と思 わない	暴力だ とは 思 わ な い	無 回 答	暴力だ と思う	どんな 場合でも 暴力だ と思 う	場合によ っては 暴力だ と思 わない	暴力だ とは 思 わ な い	無 回 答	暴力だ と思う	どんな 場合でも 暴力だ と思 う	場合によ っては 暴力だ と思 わない
全体	1,023	56.9%	33.1%	4.2%	5.8%	62.0%	26.9%	5.1%	6.1%	91.4%	2.5%	0.5%	5.6%	
性別														
女性	613	60.8%	28.9%	3.9%	6.4%	63.3%	25.3%	4.6%	6.9%	91.4%	2.1%	0.5%	6.0%	
男性	392	51.3%	40.8%	4.3%	3.6%	60.7%	30.1%	5.6%	3.6%	93.1%	3.1%	0.3%	3.6%	
女性	10・20歳代	116	71.6%	25.9%	2.6%	-	76.7%	18.1%	5.2%	-	98.3%	0.9%	0.9%	-
	30歳代	68	54.4%	38.2%	7.4%	-	63.2%	30.9%	5.9%	-	98.5%	1.5%	-	-
	40歳代	110	60.0%	36.4%	2.7%	0.9%	72.7%	23.6%	1.8%	1.8%	97.3%	1.8%	-	0.9%
	50歳代	94	75.5%	21.3%	2.1%	1.1%	78.7%	19.1%	1.1%	1.1%	100.0%	-	-	-
	60歳代	93	73.1%	20.4%	2.2%	4.3%	67.7%	26.9%	2.2%	3.2%	95.7%	1.1%	-	3.2%
	70歳以上	194	46.4%	31.4%	5.2%	17.0%	42.8%	30.4%	8.2%	18.6%	77.3%	4.6%	1.0%	17.0%
男性	10・20歳代	67	47.8%	41.8%	10.4%	-	62.7%	28.4%	9.0%	-	97.0%	3.0%	-	-
	30歳代	35	57.1%	37.1%	5.7%	-	62.9%	28.6%	8.6%	-	91.4%	8.6%	-	-
	40歳代	56	48.2%	44.6%	5.4%	1.8%	58.9%	32.1%	7.1%	1.8%	96.4%	1.8%	-	1.8%
	50歳代	83	42.2%	54.2%	2.4%	1.2%	59.0%	36.1%	3.6%	1.2%	96.4%	1.2%	1.2%	1.2%
	60歳代	55	60.0%	30.9%	3.6%	5.5%	61.8%	29.1%	3.6%	5.5%	90.9%	3.6%	-	5.5%
	70歳以上	124	54.8%	34.7%	3.2%	7.3%	60.5%	28.2%	4.0%	7.3%	89.5%	3.2%	-	7.3%

	回答者数 (n)	(キ)無理やりキスをしたり、体をさわってくる				(ク)別れ話をしても、相手がしつこくつきまったり、不愉快な内容のメールや電話をしてくる				
		暴力だ と思う	どんな 場合でも 暴力だ と思 う	場合によ っては 暴力だ と思 わ な い	暴力だ とは 思 わ な い	無 回 答	暴力だ と思う	どんな 場合でも 暴力だ と思 う	場合によ っては 暴力だ と思 わ な い	暴力だ とは 思 わ な い
全体	1,023	79.9%	13.2%	1.2%	5.8%	82.6%	10.6%	1.2%	5.7%	
性別										
女性	613	79.3%	13.2%	1.1%	6.4%	83.7%	9.1%	1.0%	6.2%	
男性	392	82.1%	13.3%	1.0%	3.6%	82.4%	13.0%	1.0%	3.6%	
女性	10・20歳代	116	90.5%	8.6%	0.9%	-	88.8%	9.5%	1.7%	-
	30歳代	68	83.8%	14.7%	1.5%	-	82.4%	16.2%	1.5%	-
	40歳代	110	84.5%	14.5%	-	0.9%	90.9%	8.2%	-	0.9%
	50歳代	94	89.4%	9.6%	-	1.1%	95.7%	4.3%	-	-
	60歳代	93	88.2%	8.6%	-	3.2%	92.5%	4.3%	-	3.2%
	70歳以上	194	61.3%	18.6%	2.6%	17.5%	66.5%	13.9%	2.1%	17.5%
男性	10・20歳代	67	89.6%	9.0%	1.5%	-	79.1%	16.4%	4.5%	-
	30歳代	35	80.0%	20.0%	-	-	77.1%	22.9%	-	-
	40歳代	56	85.7%	10.7%	1.8%	1.8%	85.7%	10.7%	1.8%	1.8%
	50歳代	83	85.5%	12.0%	1.2%	1.2%	86.7%	10.8%	1.2%	1.2%
	60歳代	55	83.6%	10.9%	-	5.5%	83.6%	10.9%	-	5.5%
	70歳以上	124	76.6%	15.3%	0.8%	7.3%	78.2%	13.7%	0.8%	7.3%

性別にみると、「(エ)友人との付き合いに干渉する、他の人との付き合いをさせない」では、「どんな場合でも暴力だと思う」は女性が9.5ポイント、「場合によっては暴力だと思う」は男性が11.9ポイント高くなっており、男女で認識の差がややみられる。他の項目では性別による違いはほとんどみられていない。

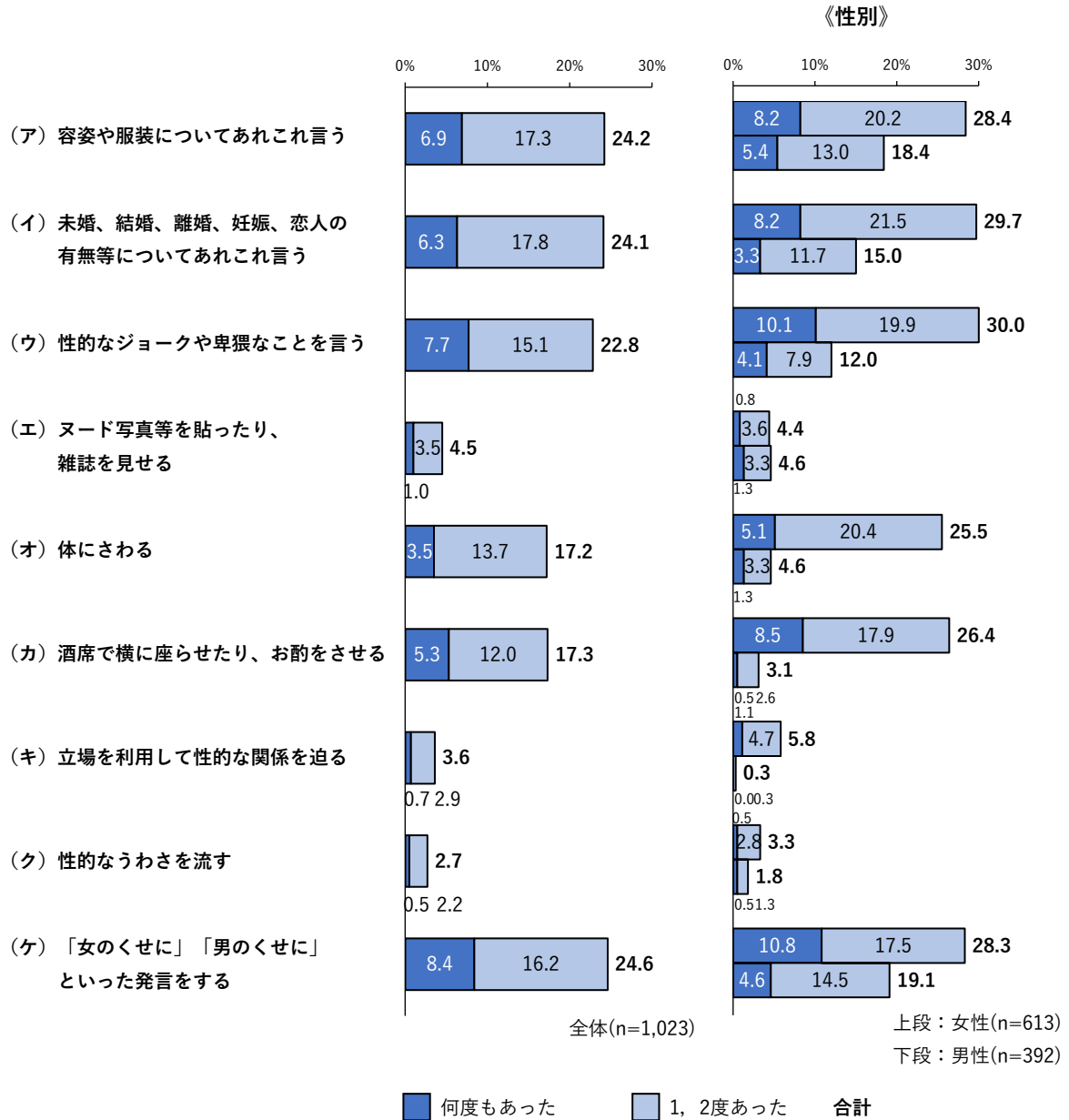
年代別にみると、女性では50歳代は項目全般にわたって「どんな場合でも暴力だと思う」が高い傾向であり、70歳以上は低い傾向がみられている。男性は女性に比べて年代による差が小さい傾向である。

Ⅱ 市民意識調査の結果

(8) 受けたことがあるセクシュアル・ハラスメント行為

問 18 セクシュアル・ハラスメントについてお聞きします。あなたは、これまでに(ア)～(ケ)のような行為を受けたことがありますか。(各項目に○は1つ)

【図18-1 性別 受けたことがあるセクシュアル・ハラスメント行為 - 行為があった割合】



【表18-1 性別 受けたことがあるセクシュアル・ハラスメント行為】

		回答者数 (n)	何度もあった	1, 2度あった	まったくない	無回答
(ア) 容姿や服装についてあれこれ言う	全体	1,023	6.9%	17.3%	70.9%	4.9%
	女性	613	8.2%	20.2%	67.2%	4.4%
	男性	392	5.4%	13.0%	76.8%	4.8%
(イ) 未婚、結婚、離婚、妊娠、恋人の有無等についてあれこれ言う	全体	1,023	6.3%	17.8%	70.7%	5.3%
	女性	613	8.2%	21.5%	65.3%	5.1%
	男性	392	3.3%	11.7%	80.1%	4.8%
(ウ) 性的なジョークや卑猥なことを言う	全体	1,023	7.7%	15.1%	72.2%	5.0%
	女性	613	10.1%	19.9%	65.6%	4.4%
	男性	392	4.1%	7.9%	82.9%	5.1%
(エ) ニード写真等を貼ったり、雑誌を見せる	全体	1,023	1.0%	3.5%	90.6%	4.9%
	女性	613	0.8%	3.6%	91.2%	4.4%
	男性	392	1.3%	3.3%	90.6%	4.8%
(オ) 体にさわる	全体	1,023	3.5%	13.7%	77.6%	5.2%
	女性	613	5.1%	20.4%	69.7%	4.9%
	男性	392	1.3%	3.3%	90.6%	4.8%
(カ) 酒席で横に座らせたり、お酌をさせる	全体	1,023	5.3%	12.0%	77.5%	5.2%
	女性	613	8.5%	17.9%	68.7%	4.9%
	男性	392	0.5%	2.6%	92.1%	4.8%
(キ) 立場を利用して性的な関係を迫る	全体	1,023	0.7%	2.9%	91.1%	5.3%
	女性	613	1.1%	4.7%	89.2%	4.9%
	男性	392	-	0.3%	94.6%	5.1%
(ク) 性的なうわさを流す	全体	1,023	0.5%	2.2%	92.1%	5.3%
	女性	613	0.5%	2.8%	91.5%	5.2%
	男性	392	0.5%	1.3%	93.6%	4.6%
(ケ) 「女のくせに」「男のくせに」といった発言をする	全体	1,023	8.4%	16.2%	70.2%	5.2%
	女性	613	10.8%	17.5%	66.9%	4.9%
	男性	392	4.6%	14.5%	76.0%	4.8%

受けたことがあるセクシュアル・ハラスメント行為について、行為が『あった』(「何度もあった」と「1, 2度あった」の合計)は9項目中6項目で 15%以上を占めており、そのうち「(ケ)『女のくせに』『男のくせに』といった発言をする」で 24.6%、「(ア)容姿や服装についてあれこれ言う」で 24.2%、「(イ)未婚、結婚、離婚、妊娠、恋人の有無等についてあれこれ言う」で 24.1%、「(ウ)性的なジョークや卑猥なことを言う」で 22.8%と、いずれも2割台となっている。

性別にみると、ほとんどの項目で行為が『あった』は女性の方が高くなっており、女性では「(ア)容姿や服装についてあれこれ言う」「(イ)未婚、結婚、離婚、妊娠、恋人の有無等についてあれこれ言う」「(ウ)性的なジョークや卑猥なことを言う」「(ケ)『女のくせに』『男のくせに』といった発言をする」はいずれも3割近くと高く、また「(オ)体にさわる」「(カ)酒席で横に座らせたり、お酌をさせる」も2割を超えている。男性では「(ケ)『女のくせに』『男のくせに』といった発言をする」「(ア)容姿や服装についてあれこれ言う」で行為が『あった』が約2割となっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表18-2 年代別 受けたことがあるセクシュアル・ハラスメント行為】

	回答者数 (n)	(ア)容姿や服装についてあれこれ言う				(イ)未婚、結婚、離婚、妊娠、恋人の有無等についてあれこれ言う				(ウ)性的なジョークや卑猥なことを言う				
		何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	
全体	1,023	6.9%	17.3%	70.9%	4.9%	6.3%	17.8%	70.7%	5.3%	7.7%	15.1%	72.2%	5.0%	
女性	10・20歳代	116	14.7%	25.0%	60.3%	-	14.7%	24.1%	61.2%	-	12.9%	20.7%	66.4%	-
	30歳代	68	10.3%	23.5%	66.2%	-	13.2%	23.5%	63.2%	-	14.7%	26.5%	58.8%	-
	40歳代	110	12.7%	28.2%	58.2%	0.9%	11.8%	33.6%	53.6%	0.9%	13.6%	28.2%	57.3%	0.9%
	50歳代	94	12.8%	24.5%	62.8%	-	12.8%	29.8%	57.4%	-	17.0%	24.5%	58.5%	-
	60歳代	93	7.5%	20.4%	69.9%	2.2%	4.3%	19.4%	72.0%	4.3%	9.7%	23.7%	64.5%	2.2%
	70歳以上	194	0.5%	12.4%	74.7%	12.4%	0.5%	9.3%	76.8%	13.4%	1.5%	8.2%	77.8%	12.4%
男性	10・20歳代	67	10.4%	20.9%	68.7%	-	7.5%	13.4%	79.1%	-	9.0%	11.9%	79.1%	-
	30歳代	35	8.6%	14.3%	77.1%	-	8.6%	11.4%	80.0%	-	5.7%	8.6%	85.7%	-
	40歳代	56	8.9%	16.1%	73.2%	1.8%	5.4%	23.2%	69.6%	1.8%	5.4%	12.5%	80.4%	1.8%
	50歳代	83	9.6%	14.5%	74.7%	1.2%	3.6%	13.3%	81.9%	1.2%	7.2%	7.2%	83.1%	2.4%
	60歳代	55	3.6%	9.1%	80.0%	7.3%	1.8%	7.3%	83.6%	7.3%	3.6%	3.6%	85.5%	7.3%
	70歳以上	124	1.6%	10.5%	77.4%	10.5%	1.6%	6.5%	81.5%	10.5%	2.4%	7.3%	79.8%	10.5%

	回答者数 (n)	(エ)ヌード写真等を貼ったり、雑誌を見せる				(オ)体にさわる				(カ)酒席で横に座らせたり、お酌をさせる				
		何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくくない	無回答	
全体	1,023	1.0%	3.5%	90.6%	4.9%	3.5%	13.7%	77.6%	5.2%	5.3%	12.0%	77.5%	5.2%	
女性	10・20歳代	116	1.7%	1.7%	96.6%	-	3.4%	24.1%	72.4%	-	6.0%	9.5%	84.5%	-
	30歳代	68	1.5%	4.4%	94.1%	-	8.8%	19.1%	72.1%	-	7.4%	17.6%	75.0%	-
	40歳代	110	-	3.6%	95.5%	0.9%	4.5%	30.0%	64.5%	0.9%	12.7%	26.4%	60.0%	0.9%
	50歳代	94	1.1%	5.3%	93.6%	-	13.8%	27.7%	58.5%	-	19.1%	24.5%	56.4%	-
	60歳代	93	-	7.5%	90.3%	2.2%	5.4%	19.4%	71.0%	4.3%	9.7%	21.5%	65.6%	3.2%
	70歳以上	194	0.5%	1.0%	86.1%	12.4%	0.5%	12.9%	73.7%	12.9%	2.1%	10.3%	74.2%	13.4%
男性	10・20歳代	67	-	3.0%	97.0%	-	4.5%	4.5%	91.0%	-	1.5%	3.0%	95.5%	-
	30歳代	35	2.9%	-	97.1%	-	-	5.7%	94.3%	-	-	-	100.0%	-
	40歳代	56	1.8%	5.4%	91.1%	1.8%	1.8%	1.8%	94.6%	1.8%	1.8%	7.1%	89.3%	1.8%
	50歳代	83	1.2%	3.6%	94.0%	1.2%	2.4%	4.8%	91.6%	1.2%	1.2%	1.2%	96.4%	1.2%
	60歳代	55	-	-	92.7%	7.3%	-	3.6%	89.1%	7.3%	-	1.8%	90.9%	7.3%
	70歳以上	124	1.6%	4.8%	83.1%	10.5%	1.6%	1.6%	86.3%	10.5%	-	2.4%	87.1%	10.5%

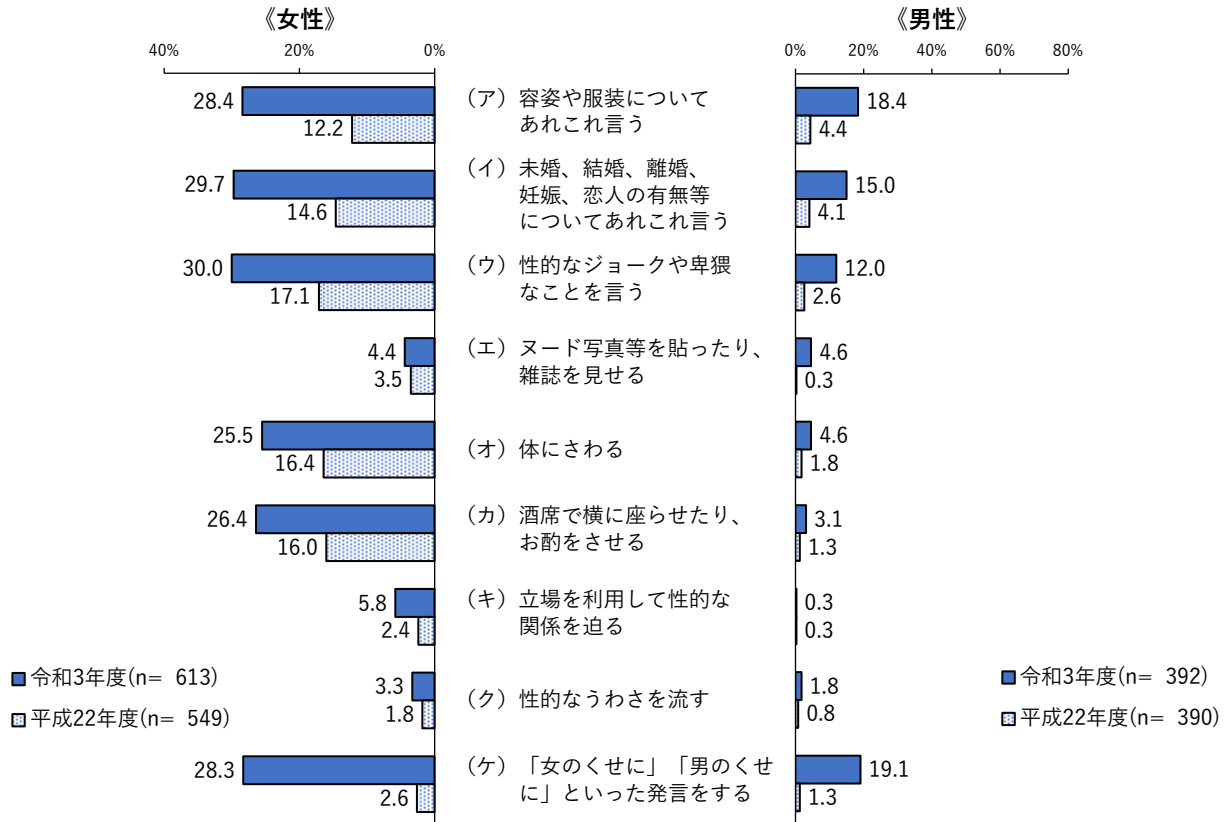
Ⅱ 市民意識調査の結果

	回答者数 (n)	(キ)立場を利用して性的な関係を迫る				(ク)性的なうわさを流す				(ケ)「女のくせに」「男のくせに」といった発言をする			
		何度もあった	1, 2度あった	まったくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくない	無回答	何度もあった	1, 2度あった	まったくない	無回答
全体	1,023	0.7%	2.9%	91.1%	5.3%	0.5%	2.2%	92.1%	5.3%	8.4%	16.2%	70.2%	5.2%
女性	10・20歳代	116	-	-	100.0%	-	3.4%	96.6%	-	9.5%	11.2%	79.3%	-
	30歳代	68	2.9%	2.9%	94.1%	-	1.5%	2.9%	95.6%	-	7.4%	19.1%	73.5%
	40歳代	110	0.9%	8.2%	90.0%	0.9%	-	4.5%	94.5%	0.9%	15.5%	23.6%	60.0%
	50歳代	94	2.1%	6.4%	90.4%	1.1%	1.1%	4.3%	93.6%	1.1%	23.4%	11.7%	63.8%
	60歳代	93	1.1%	7.5%	88.2%	3.2%	1.1%	2.2%	92.5%	4.3%	11.8%	19.4%	64.5%
	70歳以上	194	0.5%	2.6%	84.0%	12.9%	-	1.0%	85.6%	13.4%	1.0%	17.0%	69.6%
男性	10・20歳代	67	-	-	100.0%	-	3.0%	97.0%	-	9.0%	11.9%	79.1%	-
	30歳代	35	-	2.9%	97.1%	-	2.9%	-	97.1%	-	8.6%	14.3%	77.1%
	40歳代	56	-	-	96.4%	3.6%	-	5.4%	92.9%	1.8%	7.1%	14.3%	76.8%
	50歳代	83	-	-	98.8%	1.2%	-	1.2%	97.6%	1.2%	2.4%	14.5%	81.9%
	60歳代	55	-	-	92.7%	7.3%	-	-	92.7%	7.3%	1.8%	9.1%	81.8%
	70歳以上	124	-	-	89.5%	10.5%	0.8%	-	89.5%	9.7%	4.0%	16.9%	68.5%

年代別にみると、女性では行為が『あった』は40～50歳代で高い項目が多くみられ、「(ア)容姿や服装についてあれこれ言う」は40歳代で40.9%、「(イ)未婚、結婚、離婚、妊娠、恋人の有無等についてあれこれ言う」は40歳代で45.4%、50歳代で42.6%、「(ウ)性的なジョークや卑猥なことを言う」は40歳代で41.8%、50歳代で41.5%、「(オ)体にさわる」は50歳代で41.5%、「(カ)酒席で横に座らせたり、お酌をさせる」は50歳代で43.6%と、いずれも4割台と高くなっている。男性では行為が『あった』は、「(ア)容姿や服装についてあれこれ言う」が10・20歳代で31.3%、「(イ)未婚、結婚、離婚、妊娠、恋人の有無等についてあれこれ言う」が40歳代で28.6%と高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【図18-2 経年比較 受けたことがあるセクシュアル・ハラスメント行為】



※令和3年度調査の値は「何度もあった」と「1, 2度あった」の計

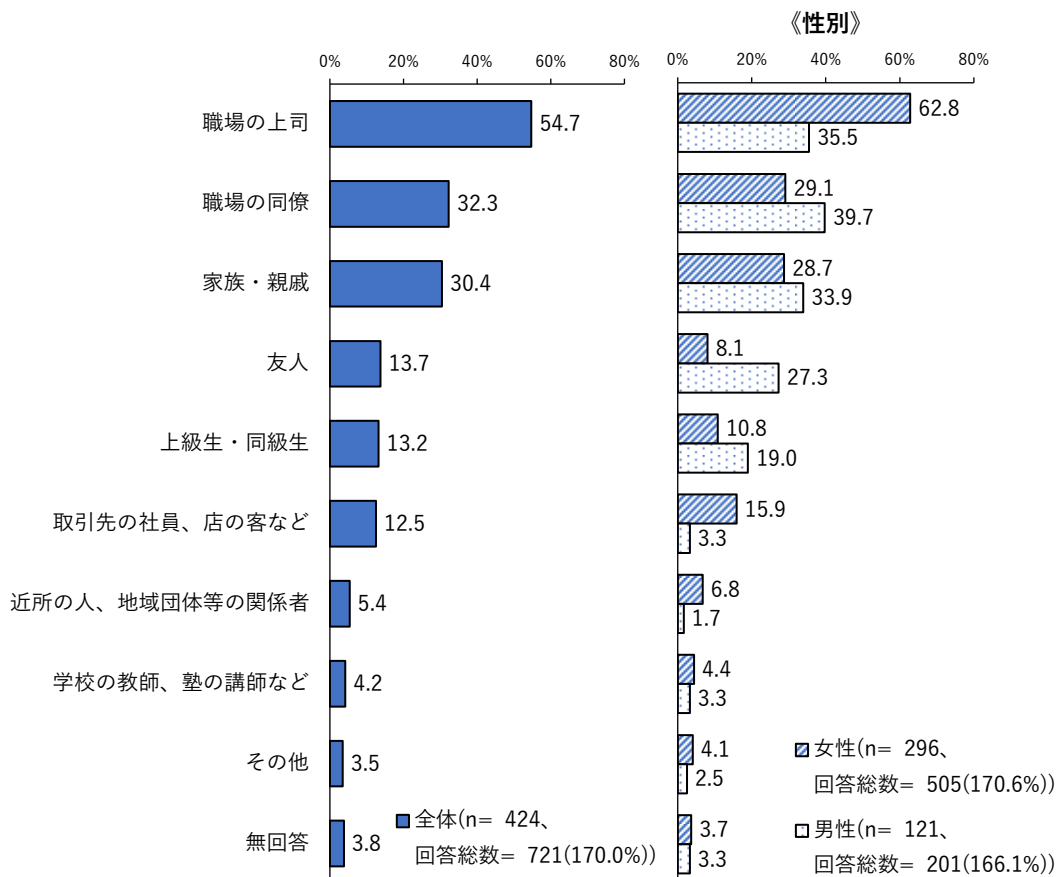
経年比較をみると、ほとんどの項目で平成22年度調査よりも割合が高くなっており、特に「(ケ)『女のくせに』『男のくせに』といった発言をする」は女性で25.7ポイント、男性で17.8ポイント高くなっている。また、女性では「(ア)容姿や服装についてあれこれ言う」「(イ)未婚、結婚、離婚、妊娠、恋人の有無等についてあれこれ言う」「(ウ)性的なジョークや卑猥なことを言う」「(オ)体にさわる」「(カ)酒席で横に座らせたり、お酌をさせる」、男性では「(ア)容姿や服装についてあれこれ言う」「(イ)未婚、結婚、離婚、妊娠、恋人の有無等についてあれこれ言う」「(ウ)性的なジョークや卑猥なことを言う」が平成22年度調査より約9～16ポイント高くなっている。

(9) セクシュアル・ハラスメントを受けた相手

《問 18 で「何度もあった」、「1, 2度あった」に1つでも○をつけられた方におたずねします。》

問 18-1 その行為を受けたのは誰からですか。(○はいくつでも)

【図18-3 性別 セクシュアル・ハラスメントを受けた相手】



セクシュアル・ハラスメントを受けた相手は、「職場の上司」が 54.7%で最も高く、次いで「職場の同僚」が 32.3%、「家族・親戚」が 30.4%となっている。

性別にみると、女性では「職場の上司」が62.8%と最も高く、男性より27.3ポイント高くなっている。男性では「職場の同僚」が 39.7%と最も高く、女性より 10.6ポイント高くなっている。また、男性では「友人」「上級生・同級生」がそれぞれ 27.3%、19.0%となっており、女性との差が目立つ。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表18-3 年代別 セクシュアル・ハラスメントを受けた相手】

	回答者数 (n)	職場の上司	職場の同僚	家族・親戚	友人	上級生・同級生	取引先の社員、店 客など	近所の人、地域団体 等の関係者	学校の教師、塾の講 師など	その他	無回答	
全体	424	54.7%	32.3%	30.4%	13.7%	13.2%	12.5%	5.4%	4.2%	3.5%	3.8%	
女性	10・20歳代	69	56.5%	10.1%	29.0%	24.6%	24.6%	7.2%	2.9%	5.8%	10.1%	4.3%
	30歳代	41	68.3%	22.0%	31.7%	7.3%	14.6%	22.0%	4.9%	4.9%	2.4%	-
	40歳代	66	72.7%	40.9%	18.2%	6.1%	7.6%	19.7%	6.1%	1.5%	1.5%	-
	50歳代	57	78.9%	33.3%	24.6%	12.3%	14.0%	24.6%	7.0%	10.5%	3.5%	1.8%
	60歳代	44	56.8%	29.5%	34.1%	6.8%	6.8%	13.6%	9.1%	2.3%	4.5%	-
	70歳以上	57	40.4%	22.8%	35.1%	-	5.3%	5.3%	8.8%	1.8%	3.5%	15.8%
男性	10・20歳代	28	32.1%	32.1%	17.9%	46.4%	42.9%	7.1%	3.6%	3.6%	-	-
	30歳代	13	61.5%	30.8%	30.8%	7.7%	38.5%	7.7%	7.7%	7.7%	-	-
	40歳代	26	38.5%	34.6%	30.8%	34.6%	15.4%	3.8%	3.8%	3.8%	-	15.4%
	50歳代	23	43.5%	56.5%	30.4%	17.4%	30.4%	4.3%	-	-	4.3%	-
	60歳代	12	41.7%	25.0%	66.7%	8.3%	8.3%	-	-	8.3%	-	-
	70歳以上	35	17.1%	42.9%	34.3%	37.1%	5.7%	2.9%	-	2.9%	5.7%	-

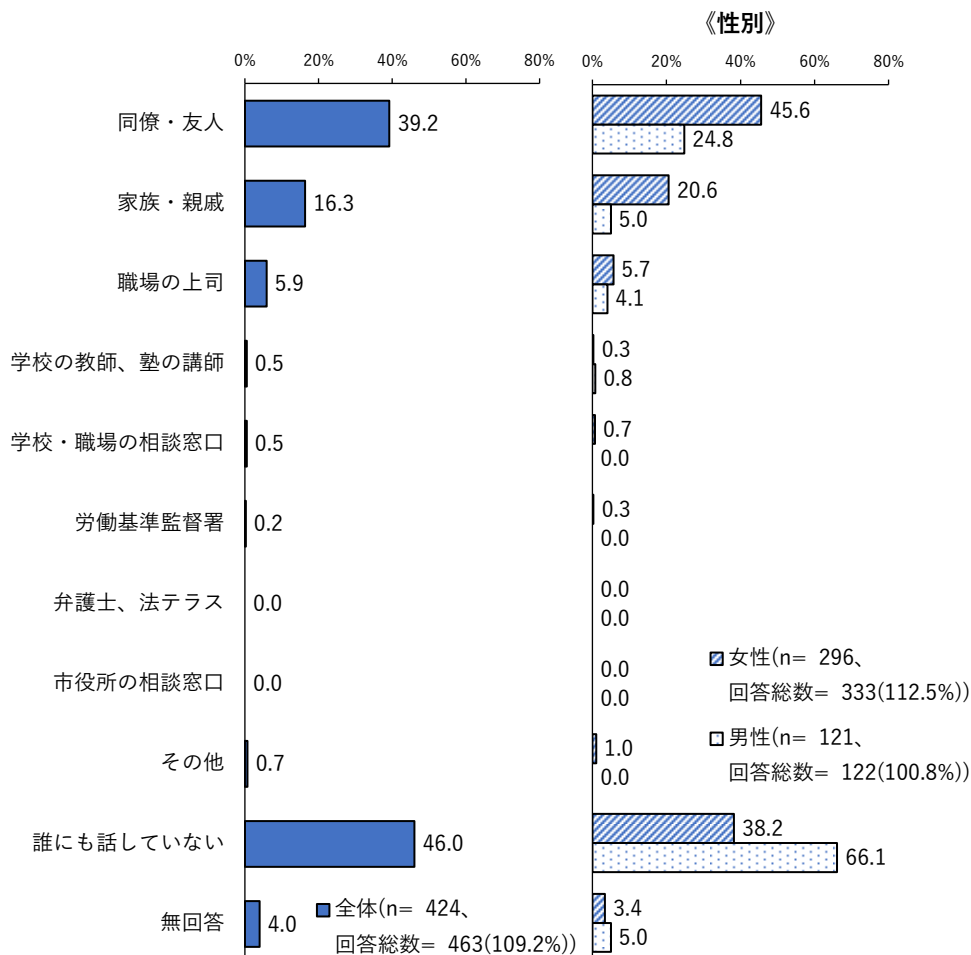
年代別にみると、女性では40歳代、50歳代は「職場の上司」「職場の同僚」が他の年代に比べて高くなっている。男性では30歳代は「職場の上司」、50歳代は「職場の同僚」、10・20歳代は「友人」が、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。

(10) セクシュアル・ハラスメントを受けた際の相談相手

《問 18 で「何度もあった」、「1, 2度あった」に1つでも○をつけられた方におたずねします。》

問 18-2 あなたは、それを誰かに話したり相談したりしましたか。(○はいくつでも)

【図18-4 性別 セクシュアル・ハラスメントを受けた際の相談相手】



セクシュアル・ハラスメントを受けた際の相談相手は、「誰にも話していない」が 46.0%で最も高く、次いで「同僚・友人」が 39.2%、「家族・親戚」が 16.3%となっている。

性別にみると、女性では「同僚・友人」が 45.6%と最も高く、「家族・親戚」が 20.6%となっている。男性では「同僚・友人」が 24.8%、「家族・親戚」が 5.0%となっている。「誰にも話していない」は女性で 38.2%、男性で 66.1%となっており、男性が 27.9 ポイント高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表18-4 年代別 セクシュアル・ハラスメントを受けた際の相談相手】

	回答者数 (n)	同僚・友人	家族・親戚	職場の上司	師 学校の教師、塾の講	口 学校・職場の相談窓	労働基準監督署	弁護士、法テラス	市役所の相談窓口	その他	誰にも話していな	無回答	
全体	424	39.2%	16.3%	5.9%	0.5%	0.5%	0.2%	-	-	0.7%	46.0%	4.0%	
女性	10・20歳代	69	39.1%	33.3%	10.1%	-	2.9%	-	-	-	1.4%	36.2%	4.3%
	30歳代	41	56.1%	22.0%	9.8%	-	-	2.4%	-	-	2.4%	26.8%	-
	40歳代	66	45.5%	15.2%	1.5%	1.5%	1.5%	-	-	-	-	39.4%	3.0%
	50歳代	57	56.1%	22.8%	5.3%	-	-	-	-	-	1.8%	35.1%	-
	60歳代	44	43.2%	18.2%	4.5%	-	-	-	-	-	2.3%	45.5%	-
	70歳以上	57	31.6%	15.8%	3.5%	-	-	-	-	-	-	45.6%	14.0%
男性	10・20歳代	28	25.0%	21.4%	-	7.1%	3.6%	-	-	-	-	64.3%	-
	30歳代	13	46.2%	-	-	7.7%	-	-	-	-	-	53.8%	-
	40歳代	26	19.2%	-	7.7%	-	-	-	-	-	-	65.4%	11.5%
	50歳代	23	30.4%	4.3%	4.3%	-	-	-	-	-	-	60.9%	4.3%
	60歳代	12	8.3%	8.3%	-	-	-	-	-	-	-	83.3%	8.3%
	70歳以上	35	22.9%	8.6%	5.7%	-	-	-	-	-	-	65.7%	2.9%

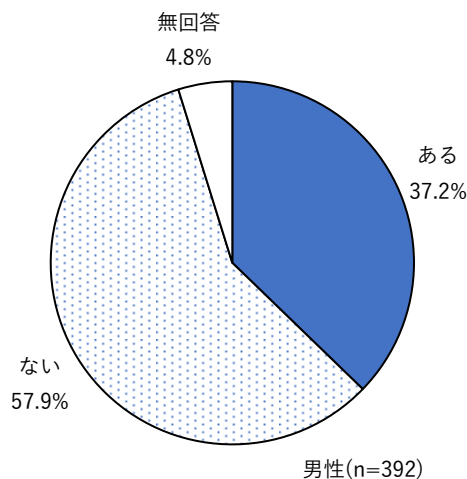
年代別にみると、女性では30歳代と50歳代は「同僚・友人」が他の年代に比べて高く、60歳代以上は「誰にも話していない」が高くなっている。男性では30歳代は「同僚・友人」が他の年代に比べて高く、10・20歳代は「家族・親戚」が高くなっている。

(11) 「男はつらい」と感じることの有無

《次の質問は、男性の方のみにおたずねします。》

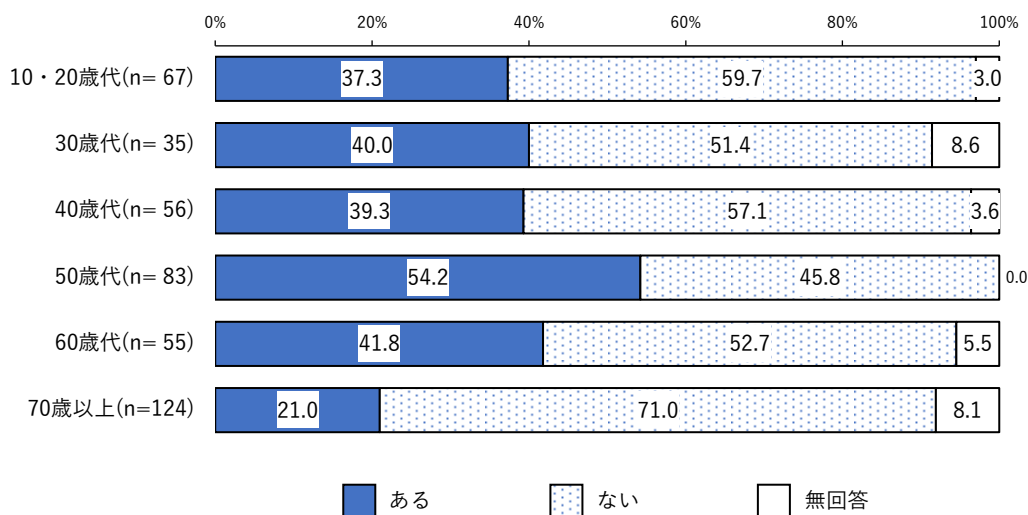
問 19 あなたは、「男はつらい」と感じることはありますか。(○は1つ)

【図19-1 「男はつらい」と感じることの有無】



「男はつらい」と感じることの有無は、「ある」が 37.2%、「ない」が 57.9%となっており、3人に1人が「男はつらい」と感じるがあると回答している。

【図19-2 年代別 「男はつらい」と感じることの有無】



年代別にみると、「ある」は 50 歳代が最も高く5割を超えており、70 歳以上で約2割と低くなっている。

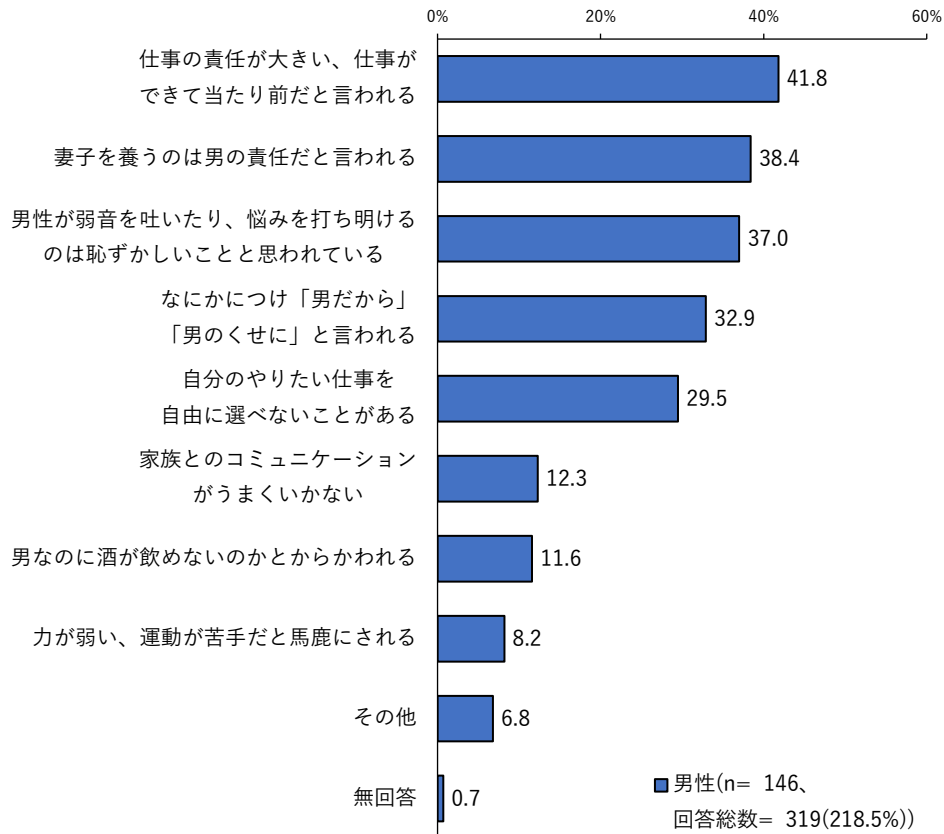
Ⅱ 市民意識調査の結果

(12) 「男はつらい」と感じる内容

《問 19 で「1」と答えられた方におたずねします。》

問 19-1 それはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【図19-3 「男はつらい」と感じる内容】



「男はつらい」と感じる内容は、「仕事の責任が大きい、仕事ができなくて当たり前と言われる」が 41.8%で最も高く、次いで「妻子を養うのは男の責任だと言われる」が 38.4%、「男性が弱音を吐いたり、悩みを打ち明けるのは恥ずかしいこととされている」が 37.0%、「なにかにつけ『男だから』『男のくせに』と言われる」が 32.9%、「自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある」が 29.5%となっている。

【表19-1 年代別 「男はつらい」と感じる内容】

	回答者数 (n)	仕事 の責任 が大きい 、仕事 ができて 当たり前 だと言わ れる	妻子を 養うのは 男の責任 だと言わ れる	男性が弱 音を吐い たり、悩 みを打ち 明けるの は恥ずか しいこと と思われ ている	なにかに つけ「男 だから」 「男のく せに」と 言われる	自分のや りたい仕 事を自由 に選ばな いことが ある	家族との コミュニ ケーショ ンがうまく いかない	男なのに 酒が飲め ないのか とからかわ れる	力が弱い 、運動が 苦手だと 馬鹿にさ れる	その他	無回 答	
全体	146	41.8%	38.4%	37.0%	32.9%	29.5%	12.3%	11.6%	8.2%	6.8%	0.7%	
男性	10・20 歳代	25	40.0%	36.0%	48.0%	52.0%	40.0%	8.0%	16.0%	24.0%	8.0%	-
	30 歳代	14	50.0%	64.3%	28.6%	35.7%	14.3%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%	-
	40 歳代	22	36.4%	27.3%	27.3%	40.9%	36.4%	18.2%	13.6%	9.1%	22.7%	-
	50 歳代	45	48.9%	31.1%	46.7%	24.4%	33.3%	6.7%	4.4%	8.9%	2.2%	2.2%
	60 歳代	23	34.8%	39.1%	39.1%	30.4%	17.4%	17.4%	8.7%	-	-	-
	70 歳以上	26	46.2%	46.2%	30.8%	23.1%	23.1%	15.4%	15.4%	3.8%	3.8%	-

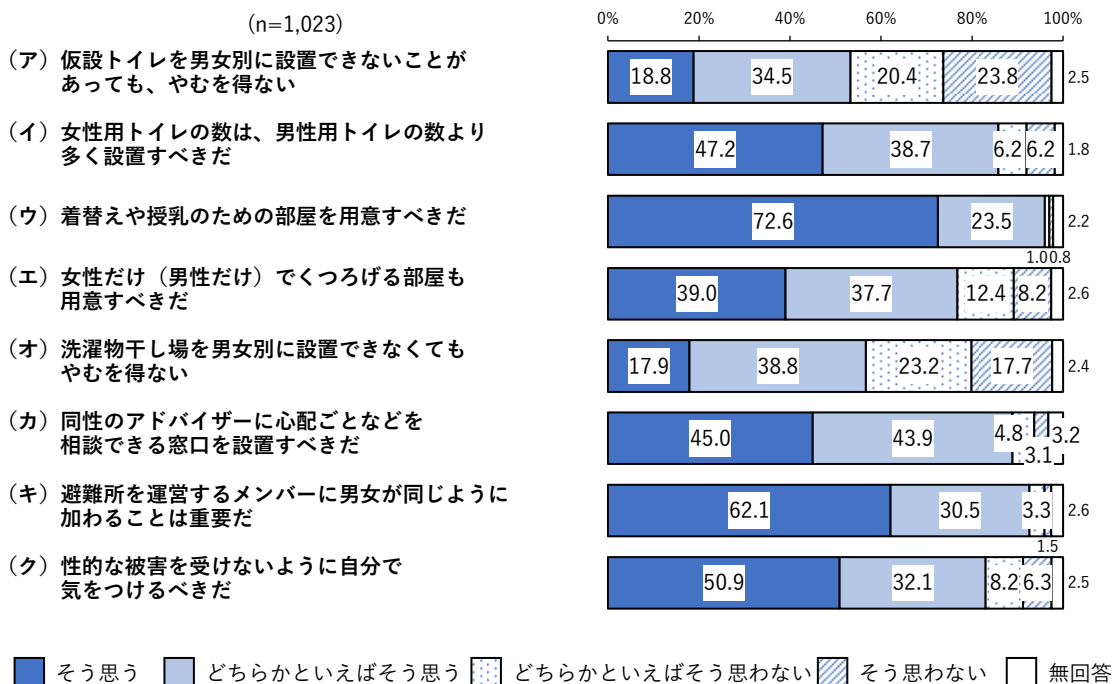
年代別にみると、10・20 歳代では「なにかにつけ『男だから』『男のくせに』と言われる」が 52.0%、「自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある」が 40.0%、「力が弱い、運動が苦手だと馬鹿にされる」が 24.0%と、他の年齢層に比べて高くなっている。30 歳代では「妻子を養うのは男の責任だと言われる」が 64.3%であり、6割以上ととびぬけて高くなっている。

8. 防災・災害復興対策について

(1) 防災・災害復興対策に関する考え方

問 20 災害などの緊急時における避難所に関する、次のような意見や考え方をあなたはどのように思いますか。(各項目に○は1つ)

【図20-1 防災・災害復興対策に関する考え方】



防災・災害復興対策に関する考え方については、「(ウ)着替えや授乳のための部屋を用意すべきだ」「(キ)避難所を運営するメンバーに男女が同じように加わることは重要だ」「(ク)性的な被害を受けないように自分で気をつけるべきだ」では「そう思う」が過半数を占めている。『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は「(ウ)着替えや授乳のための部屋を用意すべきだ」が最も高く、次いで「(キ)避難所を運営するメンバーに男女が同じように加わることは重要だ」「(カ)同性のアドバイザーに心配ごとなどを相談できる窓口を設置すべきだ」の順となっている。

「(ア)仮設トイレを男女別に設置できないことがあっても、やむを得ない」と「(オ)洗濯物干し場を男女別に設置できなくてもやむを得ない」は逆転項目であるが、『そう思う』は5割を超えており、『そう思わない』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)よりも高くなっている。

性別にみると、「(ア)仮設トイレを男女別に設置できないことがあっても、やむを得ない」「(オ)洗濯物干し場を男女別に設置できなくてもやむを得ない」では、『そう思わない』は女性の方が上回っており、「(ア)仮設トイレを男女別に設置できないことがあっても、やむを得ない」は女性で49.4%、男性で36.7%と、女性が12.7ポイント高くなっている。

【表20-1 性別、年代別 防災・災害復興対策に関する考え方 -

(ア) 仮設トイレを男女別に設置できないことがあっても、やむを得ない】

	回答者数 (n)	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体	1,023	18.8%	34.5%	20.4%	23.8%	2.5%	
性別 女性	613	15.0%	32.0%	23.0%	26.4%	3.6%	
性別 男性	392	24.5%	38.3%	17.1%	19.6%	0.5%	
女性	10・20歳代	116	30.2%	37.1%	17.2%	15.5%	-
	30歳代	68	22.1%	29.4%	17.6%	27.9%	2.9%
	40歳代	110	14.5%	32.7%	25.5%	26.4%	0.9%
	50歳代	94	11.7%	33.0%	34.0%	20.2%	1.1%
	60歳代	93	8.6%	23.7%	21.5%	46.2%	-
	70歳以上	194	13.4%	35.6%	19.6%	22.2%	9.3%
男性	10・20歳代	67	52.2%	25.4%	11.9%	10.4%	-
	30歳代	35	31.4%	51.4%	8.6%	8.6%	-
	40歳代	56	19.6%	51.8%	14.3%	14.3%	-
	50歳代	83	27.7%	28.9%	19.3%	24.1%	-
	60歳代	55	20.0%	43.6%	16.4%	18.2%	1.8%
	70歳以上	124	16.9%	35.5%	22.6%	24.2%	0.8%

年代別にみると、女性の60歳代で「そう思わない」が46.2%と高く、男性の10・20歳代で「そう思う」が52.2%と高くなっている。

【表20-2 性別、年代別 防災・災害復興対策に関する考え方 -

(イ) 女性用トイレの数は、男性用トイレの数より多く設置すべきだ】

	回答者数 (n)	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体	1,023	47.2%	38.7%	6.2%	6.2%	1.8%	
性別 女性	613	49.1%	39.0%	4.7%	5.1%	2.1%	
性別 男性	392	45.9%	37.2%	8.4%	7.7%	0.8%	
女性	10・20歳代	116	32.8%	44.8%	9.5%	12.9%	-
	30歳代	68	39.7%	39.7%	5.9%	11.8%	2.9%
	40歳代	110	46.4%	42.7%	5.5%	4.5%	0.9%
	50歳代	94	54.3%	39.4%	3.2%	2.1%	1.1%
	60歳代	93	60.2%	32.3%	4.3%	3.2%	-
	70歳以上	194	50.0%	38.1%	2.6%	4.6%	4.6%
男性	10・20歳代	67	28.4%	46.3%	13.4%	11.9%	-
	30歳代	35	51.4%	31.4%	8.6%	8.6%	-
	40歳代	56	39.3%	46.4%	3.6%	10.7%	-
	50歳代	83	44.6%	37.3%	10.8%	7.2%	-
	60歳代	55	43.6%	40.0%	9.1%	7.3%	-
	70歳以上	124	51.6%	33.1%	6.5%	6.5%	2.4%

年代別にみると、男女ともに10・20歳代で『そう思わない』が2割台で他の年齢層に比べて高くなっている。

II 市民意識調査の結果

【表20-3 性別、年代別 防災・災害復興対策に関する考え方 -

(ウ) 着替えや授乳のための部屋を用意すべきだ】

	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,023	72.6%	23.5%	1.0%	0.8%	2.2%
性別 女性	613	72.4%	23.8%	0.2%	0.7%	2.9%
性別 男性	392	73.5%	23.5%	1.8%	0.8%	0.5%
女性	10・20歳代	116	81.9%	18.1%	-	-
	30歳代	68	69.1%	26.5%	-	1.5%
	40歳代	110	66.4%	31.8%	0.9%	-
	50歳代	94	86.2%	11.7%	-	1.1%
	60歳代	93	79.6%	20.4%	-	-
	70歳以上	194	63.9%	27.8%	-	1.0%
男性	10・20歳代	67	74.6%	22.4%	1.5%	1.5%
	30歳代	35	88.6%	11.4%	-	-
	40歳代	56	67.9%	30.4%	1.8%	-
	50歳代	83	77.1%	22.9%	-	-
	60歳代	55	67.3%	30.9%	1.8%	-
	70歳以上	124	72.6%	20.2%	3.2%	2.4%

年代別にみると、女性の10・20歳代、50歳代、男性の30歳代で「そう思う」が8割以上と高くなっており、男女ともいずれの年代も『そう思わない』は、ゼロか、ごくわずかである。

【表20-4 性別、年代別 防災・災害復興対策に関する考え方 -

(エ) 女性だけ(男性だけ)でくつろげる部屋も用意すべきだ】

	回答者数 (n)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,023	39.0%	37.7%	12.4%	8.2%	2.6%
性別 女性	613	41.3%	37.4%	10.8%	7.2%	3.4%
性別 男性	392	35.5%	39.0%	15.1%	9.7%	0.8%
女性	10・20歳代	116	50.0%	36.2%	9.5%	4.3%
	30歳代	68	39.7%	32.4%	10.3%	14.7%
	40歳代	110	46.4%	40.0%	9.1%	3.6%
	50歳代	94	43.6%	41.5%	7.4%	6.4%
	60歳代	93	46.2%	38.7%	7.5%	6.5%
	70歳以上	194	33.5%	35.6%	14.9%	7.7%
男性	10・20歳代	67	38.8%	34.3%	13.4%	13.4%
	30歳代	35	48.6%	28.6%	17.1%	5.7%
	40歳代	56	37.5%	44.6%	14.3%	3.6%
	50歳代	83	44.6%	34.9%	14.5%	6.0%
	60歳代	55	34.5%	47.3%	10.9%	7.3%
	70歳以上	124	25.8%	37.9%	18.5%	15.3%

年代別にみると、女性では30歳代と70歳以上で『そう思う』がやや低くなっており、『そう思わない』が30歳代で25.0%、70歳以上で22.6%となっている。男性では70歳以上で『そう思う』が低くなっており、『そう思わない』が33.8%と高くなっている。

【表20-5 性別、年代別 防災・災害復興対策に関する考え方 -

(オ) 洗濯物干し場を男女別に設置できなくてもやむを得ない】

	回答者数 (n)	そう 思う	そう 思う どちらか といえ ば	そう 思わ ない どちらか といえ ば	そう 思わ ない	無 回 答	
全体	1,023	17.9%	38.8%	23.2%	17.7%	2.4%	
性別 女性	613	16.2%	38.0%	23.3%	19.2%	3.3%	
性別 男性	392	19.9%	40.8%	23.5%	15.1%	0.8%	
女性	10・20歳代	116	18.1%	36.2%	25.9%	19.8%	-
	30歳代	68	14.7%	39.7%	22.1%	20.6%	2.9%
	40歳代	110	10.9%	35.5%	30.9%	21.8%	0.9%
	50歳代	94	10.6%	37.2%	25.5%	25.5%	1.1%
	60歳代	93	9.7%	33.3%	24.7%	30.1%	2.2%
	70歳以上	194	25.8%	40.7%	17.0%	9.3%	7.2%
男性	10・20歳代	67	28.4%	31.3%	19.4%	20.9%	-
	30歳代	35	14.3%	37.1%	22.9%	25.7%	-
	40歳代	56	12.5%	51.8%	25.0%	10.7%	-
	50歳代	83	15.7%	36.1%	28.9%	19.3%	-
	60歳代	55	18.2%	56.4%	20.0%	5.5%	-
	70歳以上	124	24.2%	37.9%	21.8%	13.7%	2.4%

年代別にみると、女性では40歳代から60歳代で『そう思わない』が5割を超えている。男性では30歳代と50歳代で『そう思う』と『そう思わない』がほぼ半々となっている。

【表20-6 性別、年代別 防災・災害復興対策に関する考え方 -

(カ) 同性のアドバイザーに心配ごとなどを相談できる窓口を設置すべきだ】

	回答者数 (n)	そう 思う	そう 思う どちらか といえ ば	そう 思わ ない どちらか といえ ば	そう 思わ ない	無 回 答	
全体	1,023	45.0%	43.9%	4.8%	3.1%	3.2%	
性別 女性	613	47.8%	42.7%	3.1%	2.8%	3.6%	
性別 男性	392	40.8%	46.4%	7.1%	3.6%	2.0%	
女性	10・20歳代	116	44.0%	46.6%	6.0%	3.4%	-
	30歳代	68	44.1%	45.6%	4.4%	2.9%	2.9%
	40歳代	110	50.9%	42.7%	4.5%	0.9%	0.9%
	50歳代	94	54.3%	41.5%	1.1%	1.1%	2.1%
	60歳代	93	54.8%	39.8%	1.1%	3.2%	1.1%
	70歳以上	194	40.7%	42.3%	4.1%	4.6%	8.2%
男性	10・20歳代	67	47.8%	43.3%	6.0%	3.0%	-
	30歳代	35	40.0%	54.3%	-	5.7%	-
	40歳代	56	44.6%	44.6%	8.9%	1.8%	-
	50歳代	83	44.6%	49.4%	2.4%	3.6%	-
	60歳代	55	45.5%	41.8%	5.5%	3.6%	3.6%
	70歳以上	124	33.1%	45.2%	12.9%	4.0%	4.8%

年代別にみると、男女ともに70歳以上で『そう思う』が他の年齢層に比べて低くなっている。

II 市民意識調査の結果

【表20-7 性別、年代別 防災・災害復興対策に関する考え方 -

(キ) 避難所を運営するメンバーに男女が同じように加わることは重要だ】

	回答者数 (n)	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体	1,023	62.1%	30.5%	3.3%	1.5%	2.6%	
性別							
女性	613	65.3%	28.4%	2.0%	1.3%	3.1%	
男性	392	57.7%	34.2%	5.6%	1.5%	1.0%	
女性	10・20歳代	116	59.5%	32.8%	5.2%	2.6%	-
	30歳代	68	70.6%	25.0%	-	1.5%	2.9%
	40歳代	110	60.9%	31.8%	4.5%	1.8%	0.9%
	50歳代	94	63.8%	31.9%	-	1.1%	3.2%
	60歳代	93	76.3%	21.5%	2.2%	-	-
	70歳以上	194	61.3%	28.9%	1.0%	2.1%	6.7%
男性	10・20歳代	67	65.7%	26.9%	6.0%	1.5%	-
	30歳代	35	68.6%	28.6%	-	2.9%	-
	40歳代	56	53.6%	41.1%	3.6%	1.8%	-
	50歳代	83	53.0%	39.8%	6.0%	1.2%	-
	60歳代	55	50.9%	45.5%	3.6%	-	-
	70歳以上	124	60.5%	25.8%	8.9%	1.6%	3.2%

年代別にみると、女性では30歳代と60歳代では「そう思う」が高く7割を超えている。男女ともに70歳以上では『そう思う』が他の年齢層に比べてやや低くなっている。

【表20-8 性別、年代別 防災・災害復興対策に関する考え方 -

(ク) 性的な被害を受けないように自分で気をつけるべきだ】

	回答者数 (n)	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体	1,023	50.9%	32.1%	8.2%	6.3%	2.5%	
性別							
女性	613	55.8%	29.7%	6.7%	4.7%	3.1%	
男性	392	43.9%	35.5%	11.0%	8.4%	1.3%	
女性	10・20歳代	116	45.7%	36.2%	8.6%	9.5%	-
	30歳代	68	54.4%	29.4%	7.4%	5.9%	2.9%
	40歳代	110	44.5%	41.8%	7.3%	4.5%	1.8%
	50歳代	94	53.2%	34.0%	9.6%	1.1%	2.1%
	60歳代	93	55.9%	30.1%	7.5%	6.5%	-
	70歳以上	194	68.6%	17.5%	3.6%	3.6%	6.7%
男性	10・20歳代	67	38.8%	41.8%	10.4%	7.5%	1.5%
	30歳代	35	45.7%	34.3%	11.4%	8.6%	-
	40歳代	56	48.2%	35.7%	8.9%	7.1%	-
	50歳代	83	30.1%	45.8%	14.5%	9.6%	-
	60歳代	55	43.6%	29.1%	12.7%	10.9%	3.6%
	70歳以上	124	54.0%	29.0%	8.9%	6.5%	1.6%

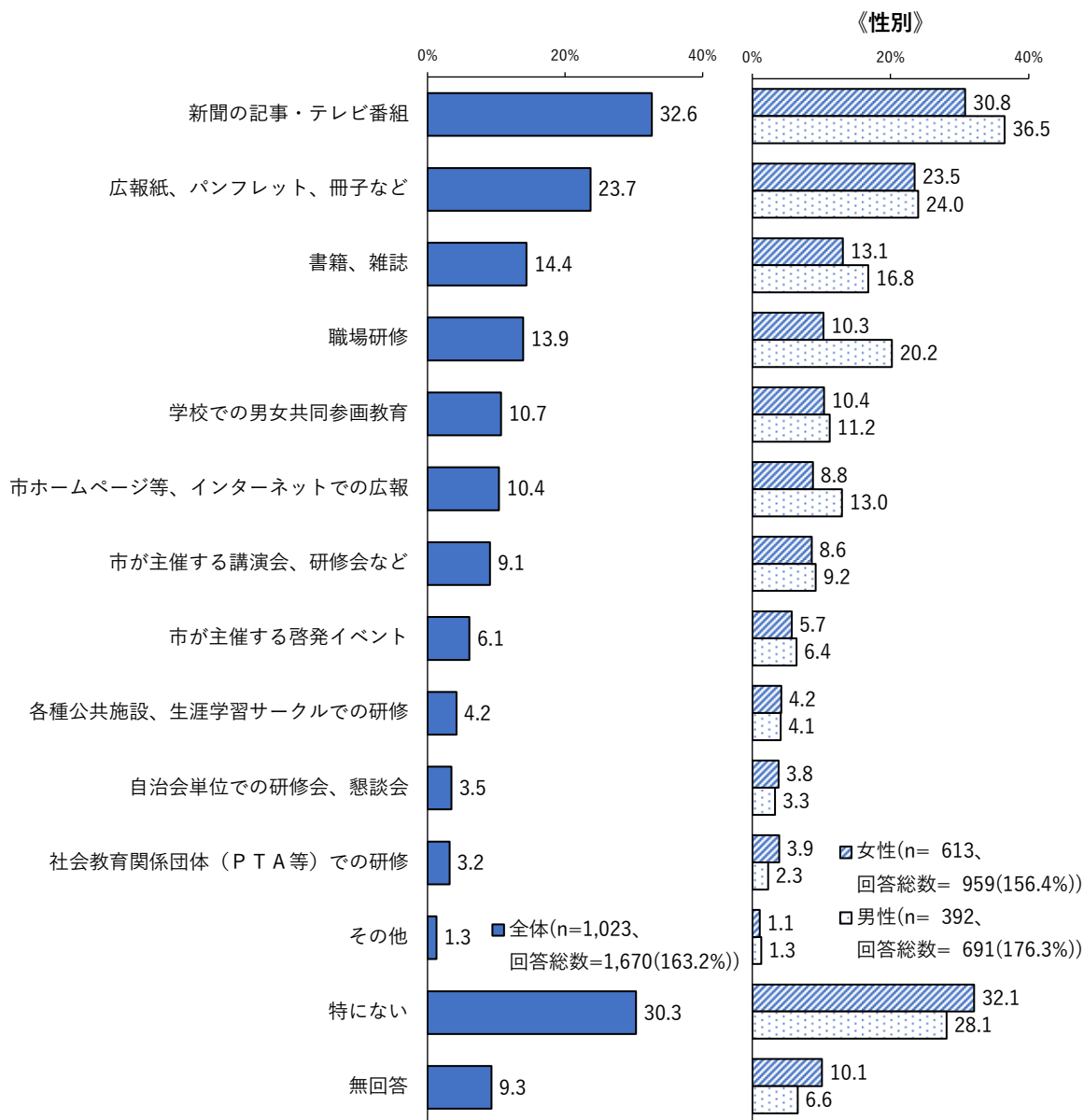
年代別にみると、女性の70歳以上では「そう思う」が68.6%と高くなっている。男性の50～60歳代では『そう思わない』がそれぞれ24.1%、23.6%とやや高くなっている。

9. 男女共同参画社会の推進に向けて

(1) 男女共同参画社会に関する考え方や気づきに役立ったもの

問 21 あなたが男女共同参画社会に関する考え方や、気づきに役立ったものはどれですか。(〇はいくつでも)

【図21-1 性別 男女共同参画社会に関する考え方や気づきに役立ったもの】



男女共同参画社会に関する考え方や気づきに役立ったものは、「新聞の記事・テレビ番組」が 32.6%で最も高く、次いで「特にない」が 30.3%、「広報紙、パンフレット、冊子など」が 23.7%となっている。

性別にみると、女性では「特にない」が 32.1%で最も高く、次いで「新聞の記事・テレビ番組」が 30.8%となっている。男性では「新聞の記事・テレビ番組」が 36.5%で最も高くなっている。多くの項目で男性の方が高くなっており、「職場研修」で9.9ポイント、「新聞の記事・テレビ番組」で5.7ポイント、「市ホームページ等、インターネットでの広報」で 4.2ポイント、女性より高くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表21-1 年代別 男女共同参画社会に関する考え方や気づきに役立ったもの】

	回答者数 (n)	新聞の 記事・テレビ 番組	広報紙、 パンフレッ ト、冊子など	書籍、 雑誌	職場 研修	学校での 男女共同 参画教育	市ホーム ページ等、 インタ ーネット での 広報	市が 主催する 講演 会、研 修会など	市が 主催する 啓発 イベ ント	各種 公共 施設、 生涯 学習 サー クル での 研 修	自治 会単 位で の研 修会、 懇談 会	
全体	1,023	32.6%	23.7%	14.4%	13.9%	10.7%	10.4%	9.1%	6.1%	4.2%	3.5%	
女性	10・20歳代	116	15.5%	7.8%	6.0%	8.6%	4.3%	-	-	1.7%	-	
	30歳代	68	14.7%	14.7%	13.2%	17.6%	8.8%	5.9%	2.9%	-	1.5%	
	40歳代	110	21.8%	17.3%	10.9%	12.7%	9.1%	7.3%	0.9%	-	0.9%	
	50歳代	94	35.1%	18.1%	16.0%	9.6%	6.4%	7.4%	3.2%	1.1%	2.1%	
	60歳代	93	46.2%	29.0%	12.9%	12.9%	6.5%	10.8%	12.9%	14.0%	6.5%	1.1%
	70歳以上	194	36.1%	35.1%	12.9%	5.7%	7.2%	10.8%	13.9%	9.3%	8.8%	9.3%
	男性	10・20歳代	67	23.9%	10.4%	14.9%	9.0%	32.8%	9.0%	1.5%	1.5%	1.5%
30歳代		35	22.9%	22.9%	22.9%	17.1%	11.4%	14.3%	2.9%	2.9%	-	-
40歳代		56	23.2%	8.9%	10.7%	25.0%	7.1%	3.6%	7.1%	1.8%	1.8%	3.6%
50歳代		83	37.3%	16.9%	14.5%	36.1%	12.0%	20.5%	6.0%	7.2%	2.4%	1.2%
60歳代		55	43.6%	23.6%	20.0%	21.8%	9.1%	12.7%	9.1%	7.3%	5.5%	1.8%
70歳以上		124	44.4%	40.3%	19.4%	10.5%	7.3%	12.9%	16.1%	10.5%	7.3%	7.3%

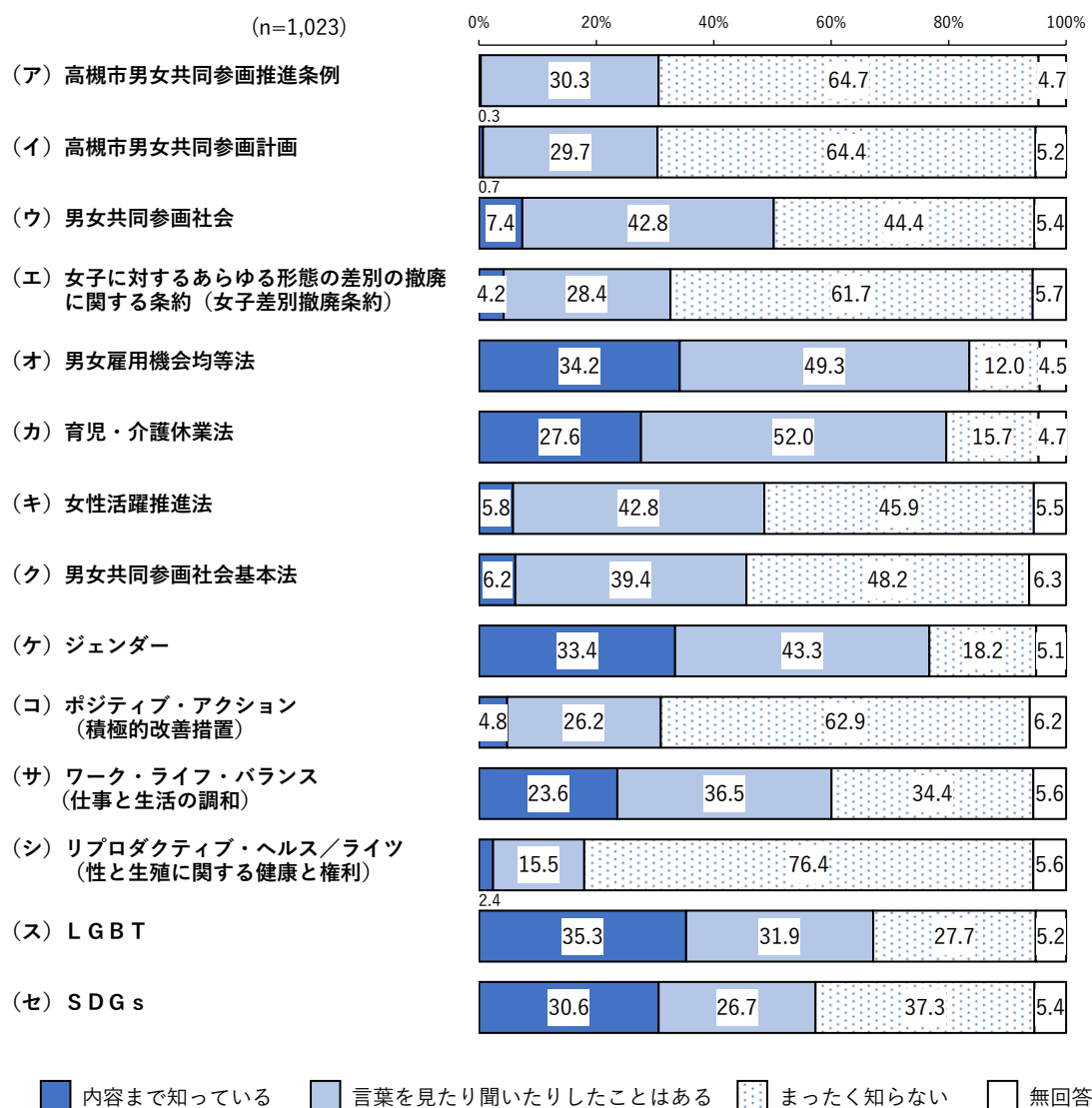
	回答者数 (n)	社会 教育 関係 団体 (PTA 等)の 研 修	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全体	1,023	3.2%	1.3%	30.3%	9.3%	
女性	10・20歳代	116	0.9%	4.3%	34.5%	7.8%
	30歳代	68	2.9%	-	48.5%	5.9%
	40歳代	110	4.5%	-	47.3%	9.1%
	50歳代	94	6.4%	2.1%	40.4%	2.1%
	60歳代	93	6.5%	-	26.9%	3.2%
	70歳以上	194	2.1%	0.5%	14.9%	20.1%
	男性	10・20歳代	67	-	4.5%	37.3%
30歳代		35	2.9%	2.9%	37.1%	5.7%
40歳代		56	1.8%	-	51.8%	1.8%
50歳代		83	2.4%	-	24.1%	4.8%
60歳代		55	1.8%	-	23.6%	10.9%
70歳以上		124	3.2%	0.8%	17.7%	8.9%

年代別にみると、男女ともに10・20歳代では「学校での男女共同参画教育」が突出して高く、女性で40.5%、男性で32.8%となっている。男女ともに50歳代以上では「新聞の記事・テレビ番組」が高くなっており、女性では年代が上がるほど「広報紙、パンフレット、冊子など」が高くなっている。「職場研修」は男性の50歳代で36.1%と高くなっている。一方、女性の30～40歳代、男性の40歳代では「特にない」が約5割を占めている。

(2) 見たり聞いたりしたことがある男女共同参画に関する用語

問22 あなたは次の(ア)～(セ)の項目についてご存知ですか。(各項目に○は1つ)

【図22-1 見たり聞いたりしたことがある男女共同参画に関する用語】



見たり聞いたりしたことがある男女共同参画に関する用語は、『知っている』(「内容まで知っている」と「言葉を見たり聞いたりしたことはある」の合計)は、「(オ)男女雇用機会均等法」が83.5%、「(カ)育児・介護休業法」が79.6%、「(ケ)ジェンダー」が76.7%、「(ス)LGBT」が67.2%と高くなっているが、いずれも「内容まで知っている」は3割前後にとどまっている。「(シ)リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)」では『知っている』が17.9%と低くなっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

【表22-1 性別、年代別 見たり聞いたりしたことがある男女共同参画に関する用語】

	回答者数 (n)	(ア)高槻市男女共同参画推進条例				(イ)高槻市男女共同参画計画				(ウ)男女共同参画社会				
		内容まで知っている	見たり聞いたりしたことはある	まったく知らない	無回答	内容まで知っている	見たり聞いたりしたことはある	まったく知らない	無回答	内容まで知っている	見たり聞いたりしたことはある	まったく知らない	無回答	
全体	1,023	0.3%	30.3%	64.7%	4.7%	0.7%	29.7%	64.4%	5.2%	7.4%	42.8%	44.4%	5.4%	
性別 女性	613	0.3%	32.0%	62.3%	5.4%	1.0%	30.7%	62.5%	5.9%	6.2%	41.6%	45.8%	6.4%	
性別 男性	392	-	27.6%	69.1%	3.3%	0.3%	28.3%	68.1%	3.3%	8.9%	45.4%	42.1%	3.6%	
女性	10・20歳代	116	0.9%	23.3%	75.0%	0.9%	2.6%	28.4%	68.1%	0.9%	25.9%	50.0%	23.3%	0.9%
	30歳代	68	-	14.7%	85.3%	-	-	14.7%	85.3%	-	7.4%	33.8%	58.8%	-
	40歳代	110	-	35.5%	64.5%	-	-	33.6%	66.4%	-	2.7%	41.8%	53.6%	1.8%
	50歳代	94	1.1%	31.9%	67.0%	-	1.1%	37.2%	61.7%	-	2.1%	47.9%	50.0%	-
	60歳代	93	1.1%	44.1%	51.6%	3.2%	2.2%	41.9%	51.6%	4.3%	7.5%	55.9%	32.3%	4.3%
	70歳以上	194	-	32.0%	53.1%	14.9%	0.5%	26.8%	56.7%	16.0%	1.5%	33.5%	48.5%	16.5%
男性	10・20歳代	67	-	31.3%	68.7%	-	1.5%	32.8%	65.7%	-	37.3%	44.8%	17.9%	-
	30歳代	35	-	14.3%	85.7%	-	-	17.1%	82.9%	-	8.6%	42.9%	48.6%	-
	40歳代	56	-	23.2%	76.8%	-	-	28.6%	71.4%	-	3.6%	48.2%	48.2%	-
	50歳代	83	-	25.3%	72.3%	2.4%	-	27.7%	69.9%	2.4%	9.6%	43.4%	44.6%	2.4%
	60歳代	55	-	25.5%	69.1%	5.5%	-	27.3%	67.3%	5.5%	7.3%	45.5%	41.8%	5.5%
	70歳以上	124	-	34.7%	58.9%	6.5%	0.8%	32.3%	60.5%	6.5%	4.0%	46.0%	42.7%	7.3%

	回答者数 (n)	(エ)女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約(女子差別撤廃条約)				(オ)男女雇用機会均等法				(カ)育児・介護休業法				
		内容まで知っている	見たり聞いたりしたことはある	まったく知らない	無回答	内容まで知っている	見たり聞いたりしたことはある	まったく知らない	無回答	内容まで知っている	見たり聞いたりしたことはある	まったく知らない	無回答	
全体	1,023	4.2%	28.4%	61.7%	5.7%	34.2%	49.3%	12.0%	4.5%	27.6%	52.0%	15.7%	4.7%	
性別 女性	613	3.4%	26.4%	63.5%	6.7%	32.6%	49.8%	12.6%	5.1%	28.7%	51.1%	14.7%	5.5%	
性別 男性	392	4.8%	31.6%	59.9%	3.6%	37.0%	49.0%	11.0%	3.1%	26.0%	53.6%	17.6%	2.8%	
女性	10・20歳代	116	14.7%	43.1%	41.4%	0.9%	41.4%	45.7%	12.1%	0.9%	37.1%	46.6%	15.5%	0.9%
	30歳代	68	4.4%	19.1%	76.5%	-	33.8%	52.9%	13.2%	-	35.3%	44.1%	20.6%	-
	40歳代	110	2.7%	31.8%	65.5%	-	32.7%	58.2%	9.1%	-	34.5%	47.3%	18.2%	-
	50歳代	94	1.1%	23.4%	75.5%	-	38.3%	53.2%	8.5%	-	33.0%	62.8%	3.2%	1.1%
	60歳代	93	3.2%	28.0%	63.4%	5.4%	43.0%	48.4%	5.4%	3.2%	31.2%	59.1%	6.5%	3.2%
	70歳以上	194	1.0%	22.2%	58.8%	18.0%	20.1%	46.9%	19.1%	13.9%	14.9%	51.5%	18.6%	14.9%
男性	10・20歳代	67	22.4%	40.3%	37.3%	-	46.3%	44.8%	9.0%	-	29.9%	49.3%	20.9%	-
	30歳代	35	-	40.0%	60.0%	-	40.0%	57.1%	2.9%	-	28.6%	60.0%	11.4%	-
	40歳代	56	3.6%	25.0%	71.4%	-	48.2%	44.6%	7.1%	-	35.7%	39.3%	25.0%	-
	50歳代	83	4.8%	27.7%	65.1%	2.4%	42.2%	45.8%	10.8%	1.2%	28.9%	54.2%	15.7%	1.2%
	60歳代	55	1.8%	25.5%	67.3%	5.5%	32.7%	50.9%	10.9%	5.5%	25.5%	54.5%	14.5%	5.5%
	70歳以上	124	1.6%	33.9%	57.3%	7.3%	25.0%	52.4%	16.1%	6.5%	16.9%	58.9%	18.5%	5.6%

Ⅱ 市民意識調査の結果

	回答者数 (n)	(キ)女性活躍推進法				(ク)男女共同参画社会基本法				(ケ)ジェンダー				
		内容まで知っている	見たことある	聞いたことある	まったく知らない	無回答	内容まで知っている	見たことある	聞いたことある	まったく知らない	無回答	内容まで知っている	見たことある	聞いたことある
全体	1,023	5.8%	42.8%	45.9%	5.5%	6.2%	39.4%	48.2%	6.3%	33.4%	43.3%	18.2%	5.1%	
性別														
女性	613	5.1%	40.5%	48.1%	6.4%	4.1%	39.0%	49.6%	7.3%	35.2%	41.8%	17.1%	5.9%	
男性	392	6.9%	46.4%	43.1%	3.6%	9.2%	40.8%	46.2%	3.8%	30.6%	47.2%	18.9%	3.3%	
女性	10・20歳代	116	13.8%	51.7%	33.6%	0.9%	26.7%	50.9%	21.6%	0.9%	62.1%	30.2%	6.9%	0.9%
	30歳代	68	8.8%	36.8%	54.4%	-	4.4%	33.8%	61.8%	-	42.6%	44.1%	13.2%	-
	40歳代	110	5.5%	45.5%	49.1%	-	2.7%	41.8%	54.5%	0.9%	45.5%	44.5%	10.0%	-
	50歳代	94	1.1%	42.6%	55.3%	1.1%	1.1%	43.6%	55.3%	-	51.1%	42.6%	6.4%	-
	60歳代	93	4.3%	50.5%	39.8%	5.4%	-	45.2%	46.2%	8.6%	34.4%	54.8%	7.5%	3.2%
	70歳以上	194	3.1%	32.0%	48.5%	16.5%	1.0%	32.0%	49.0%	18.0%	11.3%	38.1%	34.0%	16.5%
男性	10・20歳代	67	14.9%	46.3%	38.8%	-	35.8%	43.3%	20.9%	-	61.2%	29.9%	9.0%	-
	30歳代	35	5.7%	51.4%	40.0%	2.9%	11.4%	42.9%	45.7%	-	48.6%	45.7%	5.7%	-
	40歳代	56	7.1%	50.0%	42.9%	-	5.4%	42.9%	51.8%	-	28.6%	60.7%	10.7%	-
	50歳代	83	6.0%	53.0%	38.6%	2.4%	10.8%	33.7%	51.8%	3.6%	36.1%	43.4%	19.3%	1.2%
	60歳代	55	9.1%	47.3%	38.2%	5.5%	7.3%	47.3%	40.0%	5.5%	25.5%	52.7%	16.4%	5.5%
	70歳以上	124	2.4%	38.7%	52.4%	6.5%	2.4%	38.7%	51.6%	7.3%	12.1%	50.0%	30.6%	7.3%

	回答者数 (n)	(コ)ポジティブ・アクション (積極的改善措置)				(サ)ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)				(シ)リプロダクティブ・ヘルス／ライツ (性と生殖に関する健康と権利)				
		内容まで知っている	見たことある	聞いたことある	まったく知らない	無回答	内容まで知っている	見たことある	聞いたことある	まったく知らない	無回答	内容まで知っている	見たことある	聞いたことある
全体	1,023	4.8%	26.2%	62.9%	6.2%	23.6%	36.5%	34.4%	5.6%	2.4%	15.5%	76.4%	5.6%	
性別														
女性	613	3.3%	26.6%	63.1%	7.0%	21.7%	35.6%	36.5%	6.2%	2.4%	13.7%	77.8%	6.0%	
男性	392	7.1%	26.5%	62.2%	4.1%	26.5%	38.3%	31.1%	4.1%	2.3%	17.9%	75.3%	4.6%	
女性	10・20歳代	116	8.6%	25.9%	64.7%	0.9%	53.4%	27.6%	18.1%	0.9%	10.3%	19.0%	69.8%	0.9%
	30歳代	68	2.9%	17.6%	79.4%	-	33.8%	29.4%	36.8%	-	2.9%	17.6%	79.4%	-
	40歳代	110	3.6%	29.1%	67.3%	-	27.3%	46.4%	26.4%	-	2.7%	21.8%	75.5%	-
	50歳代	94	2.1%	30.9%	66.0%	1.1%	23.4%	35.1%	41.5%	-	1.1%	12.8%	86.2%	-
	60歳代	93	6.5%	36.6%	50.5%	6.5%	18.3%	48.4%	29.0%	4.3%	-	15.1%	80.6%	4.3%
	70歳以上	194	1.5%	21.1%	59.3%	18.0%	4.1%	30.9%	47.9%	17.0%	1.0%	5.7%	76.8%	16.5%
男性	10・20歳代	67	13.4%	26.9%	58.2%	1.5%	49.3%	31.3%	19.4%	-	7.5%	25.4%	65.7%	1.5%
	30歳代	35	2.9%	40.0%	57.1%	-	42.9%	40.0%	17.1%	-	2.9%	22.9%	71.4%	2.9%
	40歳代	56	8.9%	17.9%	73.2%	-	33.9%	33.9%	32.1%	-	3.6%	17.9%	78.6%	-
	50歳代	83	9.6%	26.5%	60.2%	3.6%	31.3%	41.0%	25.3%	2.4%	-	20.5%	77.1%	2.4%
	60歳代	55	9.1%	30.9%	54.5%	5.5%	27.3%	30.9%	34.5%	7.3%	1.8%	14.5%	74.5%	9.1%
	70歳以上	124	1.6%	23.4%	66.9%	8.1%	7.3%	41.9%	42.7%	8.1%	0.8%	12.9%	78.2%	8.1%

Ⅱ 市民意識調査の結果

	回答者数 (n)	(ス) L G B T				(セ) S D G s				
		る 内容 まで 知っ てい	る た り し た こ と は あ	ま っ た く 知 ら な い	無 回 答	る 内 容 ま で 知 っ て い	る た り し た こ と は あ	ま っ た く 知 ら な い	無 回 答	
全体	1,023	35.3%	31.9%	27.7%	5.2%	30.6%	26.7%	37.3%	5.4%	
性別 女性	613	36.2%	29.9%	27.9%	6.0%	28.2%	25.8%	39.6%	6.4%	
性別 男性	392	33.9%	36.0%	26.8%	3.3%	34.7%	29.1%	32.9%	3.3%	
女性	10・20 歳代	116	64.7%	22.4%	12.1%	0.9%	56.0%	22.4%	20.7%	0.9%
	30 歳代	68	60.3%	27.9%	11.8%	-	41.2%	27.9%	30.9%	-
	40 歳代	110	50.0%	34.5%	15.5%	-	40.0%	32.7%	27.3%	-
	50 歳代	94	46.8%	38.3%	14.9%	-	36.2%	33.0%	30.9%	-
	60 歳代	93	30.1%	38.7%	28.0%	3.2%	22.6%	33.3%	39.8%	4.3%
	70 歳以上	194	9.3%	22.2%	52.1%	16.5%	7.7%	16.5%	58.8%	17.0%
男性	10・20 歳代	67	73.1%	19.4%	7.5%	-	56.7%	26.9%	16.4%	-
	30 歳代	35	48.6%	37.1%	14.3%	-	51.4%	34.3%	14.3%	-
	40 歳代	56	33.9%	48.2%	17.9%	-	37.5%	44.6%	17.9%	-
	50 歳代	83	43.4%	31.3%	24.1%	1.2%	42.2%	28.9%	27.7%	1.2%
	60 歳代	55	27.3%	40.0%	27.3%	5.5%	32.7%	23.6%	38.2%	5.5%
	70 歳以上	124	14.5%	36.3%	41.9%	7.3%	16.9%	25.0%	50.8%	7.3%

性別にみると、「内容まで知っている」はいずれの項目も男女で大きな差はみられないが、『知っている』は大半の項目で男性の方が高く、「(セ)SDGs」は女性で54.0%、男性で63.8%と、男性が9.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、10・20 歳代の男女は「(ウ)男女共同参画社会」「(エ)女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約(女子差別撤廃条約)」「(ク)男女共同参画社会基本法」で『知っている』が他の年齢層に比べて高くなっている。「(オ)男女雇用機会均等法」「(カ)育児・介護休業法」「(ケ)ジェンダー」では『知っている』は60 歳代以下では、いずれも約8割かそれ以上と高くなっている。男女とも「(ス)LGBT」「(セ)SDGs」は、『知っている』が50 歳代以下では7割以上で、60 歳代以上に比べて高くなっている。

(3) 多様な生き方をしている人との関わり の程度

問 23 次のような人は、あなたの身近にいますか。(各項目に○はいくつでも)

【表23-1 性別、年代別 多様な生き方をしている人との関わり の程度】

	回答者数 (n)	(ア)別姓で暮らしている夫婦・カップル						
		ある 自分 自身が そうで	家族 や親 戚に いる	親 しい 友人 に いる	知 人 に い る	い な い、 わ か ら な	無 回 答	
全体	1,023	0.7%	1.5%	2.5%	11.1%	81.4%	3.1%	
性別 女性	613	0.8%	1.3%	2.4%	10.6%	82.4%	2.8%	
性別 男性	392	0.5%	1.8%	2.8%	12.2%	80.1%	3.1%	
女性	10・20歳代	116	1.7%	4.3%	6.9%	6.0%	80.2%	0.9%
	30歳代	68	1.5%	-	4.4%	13.2%	80.9%	-
	40歳代	110	-	0.9%	1.8%	10.0%	87.3%	-
	50歳代	94	-	1.1%	4.3%	16.0%	79.8%	-
	60歳代	93	2.2%	2.2%	-	11.8%	83.9%	1.1%
	70歳以上	194	0.5%	-	1.0%	7.7%	83.0%	7.7%
男性	10・20歳代	67	1.5%	3.0%	3.0%	13.4%	79.1%	-
	30歳代	35	-	2.9%	5.7%	34.3%	60.0%	-
	40歳代	56	1.8%	1.8%	3.6%	19.6%	75.0%	-
	50歳代	83	-	-	3.6%	13.3%	81.9%	1.2%
	60歳代	55	-	3.6%	3.6%	7.3%	80.0%	5.5%
	70歳以上	124	-	0.8%	0.8%	3.2%	88.7%	6.5%

	回答者数 (n)	(イ)1か月以上の育児休業を取得した男性						
		ある 自分 自身が そうで	家族 や親 戚に いる	親 しい 友人 に いる	知 人 に い る	い な い、 わ か ら な	無 回 答	
全体	1,023	0.1%	1.8%	1.9%	11.3%	81.9%	3.3%	
性別 女性	613	-	2.3%	2.0%	7.7%	85.3%	2.9%	
性別 男性	392	0.3%	1.0%	1.8%	17.3%	77.3%	2.8%	
女性	10・20歳代	116	-	2.6%	2.6%	14.7%	79.3%	0.9%
	30歳代	68	-	2.9%	7.4%	20.6%	70.6%	-
	40歳代	110	-	0.9%	0.9%	9.1%	89.1%	-
	50歳代	94	-	1.1%	2.1%	7.4%	89.4%	-
	60歳代	93	-	7.5%	1.1%	6.5%	83.9%	1.1%
	70歳以上	194	-	-	0.5%	2.1%	89.2%	8.2%
男性	10・20歳代	67	-	-	3.0%	11.9%	85.1%	-
	30歳代	35	2.9%	2.9%	2.9%	34.3%	60.0%	-
	40歳代	56	-	1.8%	5.4%	28.6%	66.1%	-
	50歳代	83	-	-	1.2%	21.7%	75.9%	1.2%
	60歳代	55	-	-	1.8%	16.4%	78.2%	3.6%
	70歳以上	124	-	1.6%	-	6.5%	85.5%	6.5%

II 市民意識調査の結果

	回答者数 (n)	(ウ)家事・育児・介護等を行う男性						
		ある 自分 自身が そうで	家族 や親戚 にいる	親しい 友人に いる	知人 に いる	いい ない、 わから ない	無 回答	
全体	1,023	4.3%	13.1%	4.9%	19.6%	56.7%	3.4%	
性別 女性	613	-	17.0%	3.6%	15.8%	61.5%	2.8%	
性別 男性	392	11.2%	7.7%	6.9%	26.0%	49.0%	3.3%	
女性	10・20 歳代	116	-	22.4%	4.3%	20.7%	51.7%	0.9%
	30 歳代	68	-	35.3%	10.3%	20.6%	36.8%	-
	40 歳代	110	-	14.5%	2.7%	22.7%	60.9%	-
	50 歳代	94	-	17.0%	6.4%	16.0%	60.6%	-
	60 歳代	93	-	18.3%	-	15.1%	66.7%	1.1%
	70 歳以上	194	-	8.8%	1.5%	9.8%	72.2%	7.7%
男性	10・20 歳代	67	6.0%	16.4%	4.5%	26.9%	46.3%	-
	30 歳代	35	34.3%	11.4%	2.9%	28.6%	28.6%	-
	40 歳代	56	23.2%	5.4%	19.6%	17.9%	48.2%	-
	50 歳代	83	8.4%	4.8%	8.4%	32.5%	50.6%	1.2%
	60 歳代	55	9.1%	18.2%	5.5%	29.1%	34.5%	5.5%
	70 歳以上	124	3.2%	3.2%	2.4%	21.8%	62.1%	7.3%

	回答者数 (n)	(エ)里親として子どもを育てている夫婦・カップル						
		ある 自分 自身が そうで	家族 や親戚 にいる	親しい 友人に いる	知人 に いる	いい ない、 わから ない	無 回答	
全体	1,023	0.1%	1.1%	0.8%	3.9%	90.5%	3.6%	
性別 女性	613	0.2%	1.1%	0.5%	3.9%	91.0%	3.3%	
性別 男性	392	-	1.0%	1.3%	3.8%	90.8%	3.1%	
女性	10・20 歳代	116	-	-	0.9%	4.3%	94.0%	0.9%
	30 歳代	68	-	-	-	7.4%	92.6%	-
	40 歳代	110	0.9%	0.9%	-	4.5%	92.7%	0.9%
	50 歳代	94	-	1.1%	2.1%	6.4%	90.4%	-
	60 歳代	93	-	3.2%	-	5.4%	90.3%	1.1%
	70 歳以上	194	-	1.0%	-	0.5%	89.7%	8.8%
男性	10・20 歳代	67	-	-	-	7.5%	92.5%	-
	30 歳代	35	-	-	2.9%	2.9%	94.3%	-
	40 歳代	56	-	1.8%	3.6%	7.1%	87.5%	-
	50 歳代	83	-	1.2%	-	4.8%	92.8%	1.2%
	60 歳代	55	-	-	1.8%	-	92.7%	5.5%
	70 歳以上	124	-	1.6%	0.8%	1.6%	89.5%	6.5%

	回答者数 (n)	(オ)セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)						
		ある 自分 自身が そうで	家族 や親 戚に いる	親 しい 友人 に いる	知 人 に い る	い い な い、 わ か ら な	無 回 答	
全体	1,023	0.5%	0.4%	2.2%	9.6%	84.3%	3.3%	
性別 女性	613	0.2%	0.7%	2.1%	10.0%	84.0%	3.1%	
性別 男性	392	0.8%	-	2.3%	8.9%	85.7%	2.6%	
女性	10・20歳代	116	3.4%	-	7.8%	19.0%	71.6%	0.9%
	30歳代	68	-	1.5%	8.8%	17.6%	72.1%	-
	40歳代	110	-	0.9%	2.7%	13.6%	82.7%	-
	50歳代	94	-	2.1%	-	17.0%	80.9%	-
	60歳代	93	-	-	-	5.4%	93.5%	1.1%
	70歳以上	194	-	-	-	0.5%	90.7%	8.8%
男性	10・20歳代	67	4.5%	-	4.5%	14.9%	76.1%	-
	30歳代	35	2.9%	-	2.9%	31.4%	62.9%	-
	40歳代	56	-	-	3.6%	10.7%	87.5%	-
	50歳代	83	-	-	2.4%	4.8%	91.6%	1.2%
	60歳代	55	-	-	1.8%	7.3%	87.3%	3.6%
	70歳以上	124	-	-	0.8%	2.4%	91.1%	5.6%

	回答者数 (n)	(カ)同性カップル						
		ある 自分 自身が そうで	家族 や親 戚に いる	親 しい 友人 に いる	知 人 に い る	い い な い、 わ か ら な	無 回 答	
全体	1,023	0.1%	0.7%	1.5%	4.7%	89.7%	3.6%	
性別 女性	613	-	1.1%	1.0%	5.2%	89.2%	3.4%	
性別 男性	392	-	-	2.0%	3.6%	91.8%	2.8%	
女性	10・20歳代	116	1.7%	0.9%	7.8%	12.1%	76.7%	0.9%
	30歳代	68	-	1.5%	2.9%	13.2%	82.4%	-
	40歳代	110	-	0.9%	-	5.5%	93.6%	-
	50歳代	94	-	3.2%	-	6.4%	90.4%	-
	60歳代	93	-	1.1%	-	1.1%	96.8%	1.1%
	70歳以上	194	-	-	-	-	90.2%	9.8%
男性	10・20歳代	67	1.5%	-	1.5%	3.0%	94.0%	-
	30歳代	35	-	-	8.6%	17.1%	74.3%	-
	40歳代	56	-	-	3.6%	5.4%	92.9%	-
	50歳代	83	-	-	1.2%	1.2%	96.4%	1.2%
	60歳代	55	-	-	1.8%	1.8%	92.7%	3.6%
	70歳以上	124	-	-	0.8%	0.8%	91.9%	6.5%

多様な生き方をしている人との関わりの程度は、「(ウ)家事・育児・介護等を行う男性」を除いて「いない、わからない」が8割以上となっており、「(ア)別姓で暮らしている夫婦・カップル」「(イ)1か月以上の育児休業を取得した男性」「(オ)セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)」で「知人にいる」が約1割となっている。「(ウ)家事・育児・介護等を行う男性」では、「知人にいる」が19.6%、「家族や親戚にいる」が13.1%となっている。

性別にみると、男性では「(イ)1か月以上の育児休業を取得した男性」「(ウ)家事・育児・介護等を行う男性」で「知人にいる」がそれぞれ17.3%、26.0%と高くなっている。女性では「(ウ)家事・育児・介護等を行う男性」で「家族や親戚にいる」が17.0%と高くなっている。

年代別にみると、男女とも概ね若い年代の方が、多様な生き方をしている人が身近にいる割合が高い傾向がみられている。

II 市民意識調査の結果

【表23-2 多様な生き方をしている人との関わりの程度別

結婚や家族に関する意見や考え方に対する『そう思う』の割合】

		回答者数 (n)	結婚は個人 の自由である から、結婚 してもしな くても、ど ちらでもよ い	結婚は個人 の自由である から、結婚 しても、必 ずしも子ど もをもつ 必要はない	結婚したら、 夫婦は同じ 姓を名乗る べきだ	育児に専念 したほうが よい	子どもが3 歳くらいま では、母親 が	夫は外で働 き、妻は家 庭を守るほ うがよい	妻が働きに 出る場合は 、フルタイ ムの仕事を 避け、パート ・アルバイト などにとど めるべきだ	妻が働いて いなくても 、夫は家事 ・育児をす るほうがよ い	自分の家族 や親戚が未 婚のまま子 どもを産む ことは好ま しくない	だ 男同士、女 同士の結婚 を認めるべ き	自分の家族 や親戚に同 性愛者はい てほしくない
(ア)別姓で暮らしている夫婦・カップル	『親しい友人等にいる』	40	92.5%	87.5%	45.0%	37.5%	15.0%	10.0%	85.0%	45.0%	75.0%	25.0%	
	知人にいる	111	82.0%	72.0%	37.8%	44.1%	17.1%	14.4%	88.2%	62.1%	62.1%	36.9%	
	いない、わからない	833	83.0%	70.4%	53.0%	52.4%	25.6%	21.5%	73.4%	61.1%	41.0%	47.2%	
(イ)1 か月以上の育児休業を取得した男性	『親しい友人等にいる』	37	91.9%	75.7%	40.5%	32.4%	13.5%	13.5%	86.5%	59.4%	72.9%	32.4%	
	知人にいる	113	88.5%	77.0%	41.6%	43.3%	16.8%	15.1%	80.6%	58.4%	56.7%	44.2%	
	いない、わからない	838	82.3%	70.3%	52.5%	52.8%	25.7%	21.4%	74.5%	61.1%	41.8%	45.5%	
(ウ)家事・育児・介護等を行う男性	家族や親戚にいる	130	89.2%	76.2%	32.3%	37.6%	16.9%	15.4%	85.4%	52.3%	58.5%	31.6%	
	親しい友人にいる	42	92.9%	88.1%	38.1%	35.7%	23.8%	14.3%	83.4%	54.8%	66.6%	28.6%	
	知人にいる	192	84.9%	72.4%	54.7%	51.1%	19.8%	12.5%	77.6%	62.0%	52.6%	44.8%	
(エ)里親として子どもを育てている夫婦・カップル	『身近にいる』	59	84.7%	79.6%	45.7%	49.1%	13.6%	20.3%	78.0%	66.1%	50.8%	37.2%	
	いない、わからない	926	83.3%	70.7%	51.3%	51.0%	24.8%	20.3%	75.6%	60.6%	44.4%	45.3%	
	『親しい友人等にいる』	26	92.3%	92.3%	26.9%	30.8%	11.5%	7.7%	80.7%	34.6%	80.8%	15.3%	
(オ)セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)	知人にいる	96	93.7%	82.3%	25.0%	34.4%	6.2%	4.1%	86.4%	53.2%	71.9%	18.7%	
	いない、わからない	862	81.9%	69.2%	54.6%	53.6%	26.3%	22.3%	74.3%	62.8%	40.3%	49.0%	
	『身近にいる』	67	92.5%	86.5%	29.8%	38.8%	9.0%	9.0%	86.6%	46.2%	82.1%	16.4%	
(カ)同性カップル	『身近にいる』	67	92.5%	86.5%	29.8%	38.8%	9.0%	9.0%	86.6%	46.2%	82.1%	16.4%	
	いない、わからない	918	82.9%	70.2%	52.4%	51.9%	25.0%	21.0%	74.9%	61.9%	41.9%	46.9%	

多様な生き方をしている人との関わりの程度に関する問23では、項目によって「自分自身がそうである」「家族や親戚にいる」「親しい友人にいる」「知人にいる」、それぞれの回答数が非常に少なかった。そのため、数の少ない項目のクロス集計では、「家族や親戚にいる」と「親しい友人にいる」を合わせて『親しい友人等にいる』としたり、「家族や親戚にいる」「親しい友人にいる」「知人にいる」の3つを合わせて『身近にいる』とした。なお、「自分自身がそうである」については、回答数が少なかったため、クロス集計は行っていない。

多様な生き方をしている人との関わりの程度別に問1の結婚や家族に関する意見や考え方に対する『そう思う』(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)割合をみると、関わりの程度が高いほど、多様な家族のあり方を肯定したり、性別役割分業には否定的で、同性愛者に対する忌避意識が弱いという回答傾向がみられる場合が多いといえる。特に「(ア)別姓で暮らしている夫婦・カップル」や「(オ)セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)」が『親しい友人等にいる』という人と、「(カ)同性カップル」が『身近にいる』という人に、上記の傾向がより強くみられる。

【表23-3 多様な生き方をしている人との関わりの程度別

子どもに受けさせたい教育について『四年制大学卒業以上』と回答した割合】

		回答者数 (n)	男の子 の場合 (a)	女の子 の場合 (b)	a - b
(ア)別姓で暮らしている夫婦・カップル	『親しい友人等にいる』	40	82.5%	70.0%	12.5
	知人にいる	111	88.3%	76.6%	11.7
	いない、わからない	833	86.1%	66.9%	19.2
(イ)1か月以上の育児休業を取得した男性	『親しい友人等にいる』	37	91.9%	81.1%	10.8
	知人にいる	113	90.3%	85.0%	5.3
	いない、わからない	838	85.2%	65.2%	20.0
(ウ)家事・育児・介護等を行う男性	家族や親戚にいる	130	82.3%	70.8%	11.5
	親しい友人にいる	42	85.7%	78.6%	7.1
	知人にいる	192	86.4%	70.3%	16.1
	いない、わからない	580	86.8%	65.0%	21.8
(エ)里親として子どもを育てている夫婦・カップル	『身近にいる』	59	84.8%	74.6%	10.2
	いない、わからない	926	86.1%	67.8%	18.3
(オ)セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)	『親しい友人等にいる』	26	73.0%	73.1%	-0.1
	知人にいる	96	85.4%	80.2%	5.2
	いない、わからない	862	86.5%	66.6%	19.9
(カ)同性カップル	『身近にいる』	67	79.1%	74.7%	4.4
	いない、わからない	918	86.4%	67.6%	18.8

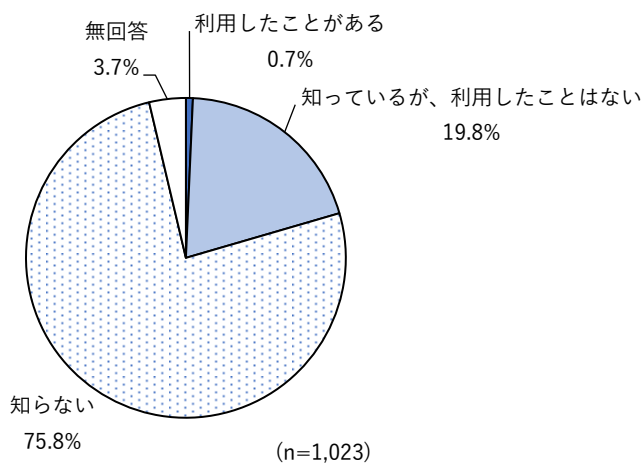
多様な生き方をしている人との関わりの程度別に問6の子どもに受けさせたい教育について『四年制大学卒業以上』と回答した割合をみると、男の子の場合の割合から女の子の場合の割合を差し引いた正の値(女の子よりも男の子の方により高い学歴をつけさせたいという希望)は、多様な生き方をしている人が自分の周りにいなかったり、わからないと回答した人よりも、家族や親戚、親しい友人、知人にいるという人の方が小さくなっている。とりわけ、「(オ)セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)」が『親しい友人等にいる』という人では、この差がマイナス0.1となっている。

Ⅱ 市民意識調査の結果

(4) 高槻市立男女共同参画センターの認知度

問 24 あなたは、高槻市立男女共同参画センターをご存知ですか。(○は1つ)

【図24-1 高槻市立男女共同参画センターの認知度】



高槻市立男女共同参画センターの認知度は、「知らない」が 75.8%で最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が 19.8%、「利用したことがある」が 0.7%となっており、『知っている』（「利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」の合計）は 20.5%である。

【表24-1 性別、年代別 高槻市立男女共同参画センターの認知度】

	回答者数 (n)	利用したことがあ る	知っているが、利用 したことはない	知らない	無 回 答	
全体	1,023	0.7%	19.8%	75.8%	3.7%	
性別 女性	613	0.8%	18.9%	76.8%	3.4%	
性別 男性	392	0.5%	21.4%	74.7%	3.3%	
女性	10・20 歳代	-	19.8%	77.6%	2.6%	
	30 歳代	-	14.7%	85.3%	-	
	40 歳代	-	22.7%	76.4%	0.9%	
	50 歳代	94	-	21.3%	77.7%	1.1%
	60 歳代	93	4.3%	21.5%	73.1%	1.1%
	70 歳以上	194	0.5%	17.0%	74.7%	7.7%
男性	10・20 歳代	67	3.0%	26.9%	70.1%	-
	30 歳代	35	-	11.4%	88.6%	-
	40 歳代	56	-	23.2%	76.8%	-
	50 歳代	83	1.2%	19.3%	77.1%	2.4%
	60 歳代	55	-	27.3%	69.1%	3.6%
	70 歳以上	124	-	17.7%	75.0%	7.3%

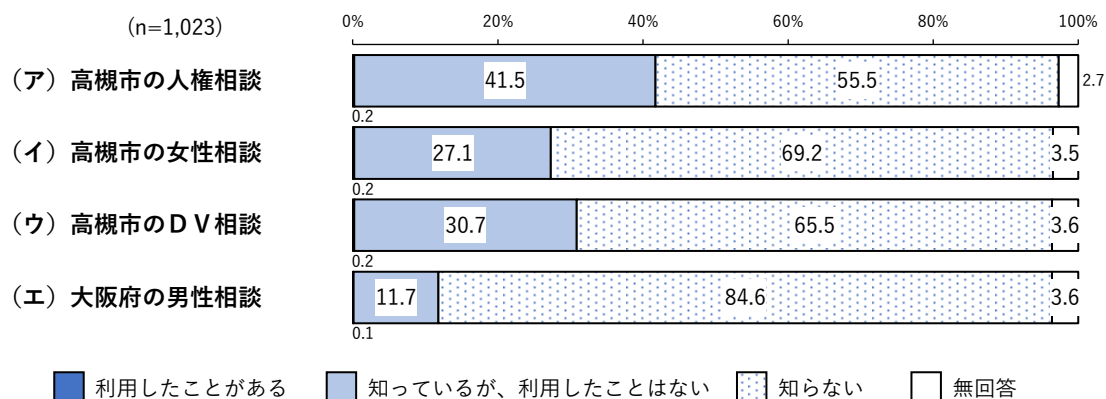
性別にみると、『知っている』は男性、「知らない」は女性がわずかに高くなっているが、男女で大きな違いはみられない。

年代別にみると、女性の 60 歳代と男性の 10・20 歳代で「利用したことがある」がそれぞれ 4.3%、3.0%みられ、『知っている』が女性の 60 歳代で 25.8%、男性の 10・20 歳代で 29.9%と他の年齢層に比べてやや高くなっている。男女ともに 30 歳代で「知らない」が 85%以上と高くなっている。

(5) 相談窓口の認知度

問 25 あなたは、次の相談窓口をご存知ですか。(各項目に○は1つ)

【図25-1 相談窓口の認知度】



相談窓口の認知度は、いずれの相談窓口も「知らない」が過半数を占めており、「(エ)大阪府の男性相談」では 84.6%となっている。いずれの相談窓口も「利用したことがある」は1%以下となっており、「知っているが、利用したことはない」は、「(ア)高槻市の人権相談」が 41.5%と他の相談窓口と比べて認知度が高くなっている。

II 市民意識調査の結果

【表25-1 性別、年代別 相談窓口の認知度】

	回答者数 (n)	(ア)高槻市の人権相談				(イ)高槻市の女性相談			
		利用 した こと があ る	知 つ て い る が、 利 用 し た こ と は な い	知 ら な い	無 回 答	利用 した こと があ る	知 つ て い る が、 利 用 し た こ と は な い	知 ら な い	無 回 答
全体	1,023	0.2%	41.5%	55.5%	2.7%	0.2%	27.1%	69.2%	3.5%
性別									
女性	613	0.3%	41.8%	55.5%	2.4%	0.3%	29.2%	67.5%	2.9%
男性	392	-	41.1%	56.4%	2.6%	-	24.5%	71.9%	3.6%
女性									
10・20歳代	116	-	29.3%	69.8%	0.9%	-	25.0%	74.1%	0.9%
30歳代	68	-	29.4%	70.6%	-	-	25.0%	75.0%	-
40歳代	110	-	33.6%	66.4%	-	-	29.1%	70.9%	-
50歳代	94	1.1%	39.4%	59.6%	-	-	30.9%	69.1%	-
60歳代	93	1.1%	53.8%	44.1%	1.1%	1.1%	37.6%	60.2%	1.1%
70歳以上	194	-	51.0%	42.3%	6.7%	0.5%	28.4%	62.9%	8.2%
男性									
10・20歳代	67	1.5%	35.8%	62.7%	-	-	29.9%	70.1%	-
30歳代	35	-	28.6%	71.4%	-	-	20.0%	80.0%	-
40歳代	56	-	32.1%	67.9%	-	-	21.4%	78.6%	-
50歳代	83	-	43.4%	55.4%	1.2%	-	24.1%	74.7%	1.2%
60歳代	55	-	47.3%	49.1%	3.6%	-	23.6%	70.9%	5.5%
70歳以上	124	-	45.2%	49.2%	5.6%	-	26.6%	65.3%	8.1%

	回答者数 (n)	(ウ)高槻市のDV相談				(エ)大阪府の男性相談			
		利用 した こと があ る	知 つ て い る が、 利 用 し た こ と は な い	知 ら な い	無 回 答	利用 した こと があ る	知 つ て い る が、 利 用 し た こ と は な い	知 ら な い	無 回 答
全体	1,023	0.2%	30.7%	65.5%	3.6%	0.1%	11.7%	84.6%	3.6%
性別									
女性	613	0.3%	31.6%	64.4%	3.6%	0.2%	10.1%	86.3%	3.4%
男性	392	-	29.8%	67.3%	2.8%	-	14.0%	82.9%	3.1%
女性									
10・20歳代	116	0.9%	28.4%	69.0%	1.7%	-	12.1%	87.1%	0.9%
30歳代	68	1.5%	27.9%	70.6%	-	-	2.9%	97.1%	-
40歳代	110	-	30.9%	69.1%	-	-	10.9%	89.1%	-
50歳代	94	-	36.2%	63.8%	-	-	9.6%	89.4%	1.1%
60歳代	93	1.1%	45.2%	51.6%	2.2%	1.1%	17.2%	80.6%	1.1%
70歳以上	194	-	27.3%	63.4%	9.3%	-	9.8%	80.9%	9.3%
男性									
10・20歳代	67	-	31.3%	68.7%	-	-	19.4%	80.6%	-
30歳代	35	-	22.9%	77.1%	-	-	14.3%	85.7%	-
40歳代	56	-	28.6%	71.4%	-	-	14.3%	85.7%	-
50歳代	83	-	31.3%	67.5%	1.2%	-	8.4%	90.4%	1.2%
60歳代	55	-	30.9%	65.5%	3.6%	-	10.9%	85.5%	3.6%
70歳以上	124	-	30.6%	62.9%	6.5%	-	17.7%	75.0%	7.3%

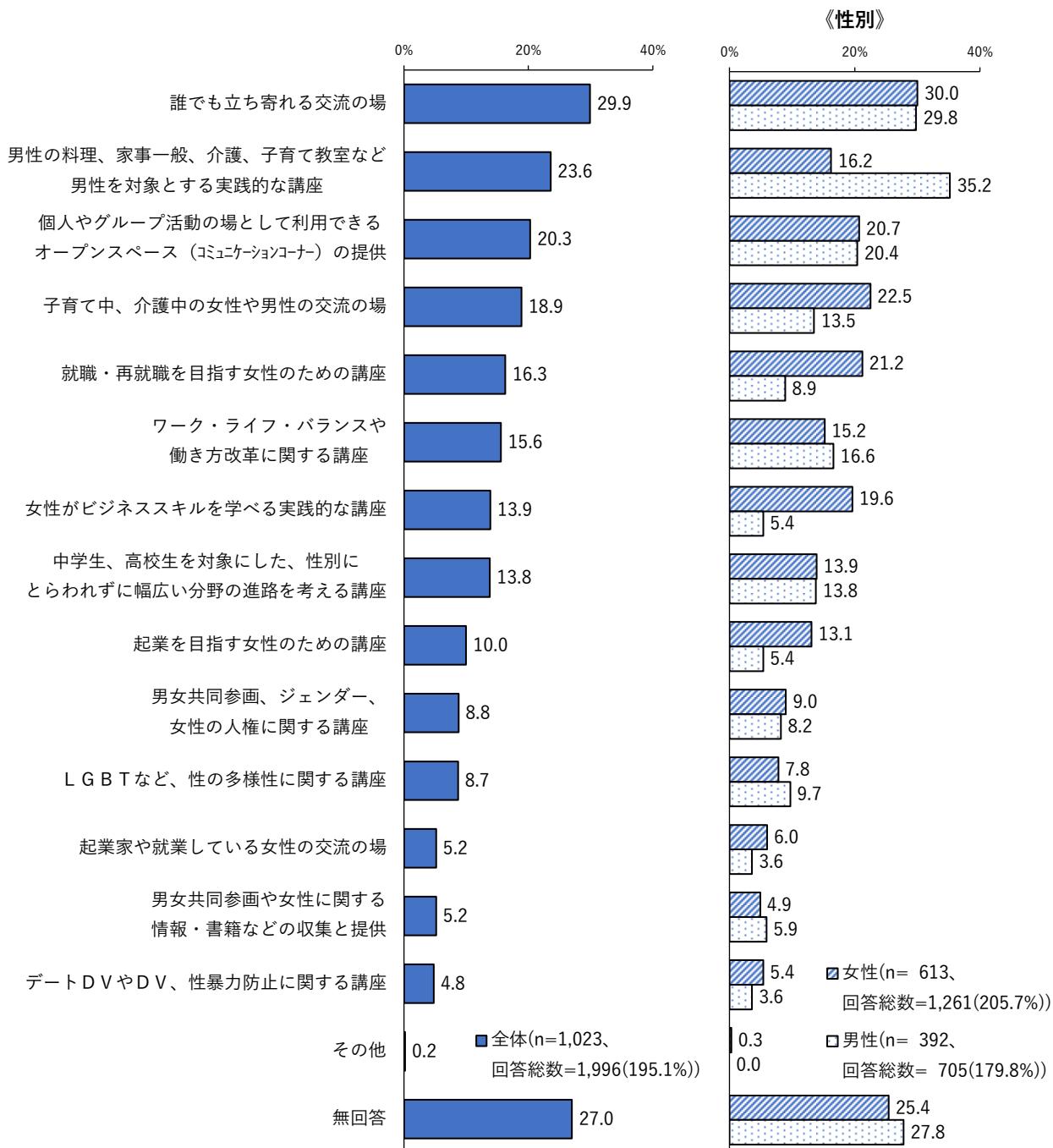
性別にみると、『知っている』は、「(イ)高槻市の女性相談」は女性の方が5.0ポイント高く、「(エ)大阪府の男性相談」は男性の方が3.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「(ア)高槻市の人権相談」は男女ともに50歳代以上で『知っている』が高くなっており、女性の60歳代以上では5割を超えている。女性の60歳代では「(ウ)高槻市のDV相談」で『知っている』が46.3%と高くなっている。

(6) 関心のある高槻市立男女共同参画センターの事業

問 26 高槻市立男女共同参画センターで次のような事業をしています。関心のある講座やサービスはありますか。(〇はいくつでも)

【図26-1 性別 関心のある高槻市立男女共同参画センターの事業】



関心のある高槻市立男女共同参画センターの事業は、「誰でも立ち寄れる交流の場」が 29.9%で最も高く、次いで「男性の料理、家事一般、介護、子育て教室など男性を対象とする実践的な講座」が 23.6%となっている。

性別にみると、女性では「誰でも立ち寄れる交流の場」の次に「子育て中、介護中の女性や男性の交流の場」が高くなっており、男性では「男性の料理、家事一般、介護、子育て教室など男性を対象とする実践的な講座」が最も高く 35.2%となっている。

II 市民意識調査の結果

【表26-1 年代別 関心のある高槻市立男女共同参画センターの事業】

	回答者数 (n)	誰でも立ち寄れる交流の場	実践的な講座 男性の料理、家事一般、介護、子育て教室など男性を対象とする実践的な講座	個人やグループ活動の場として利用できるオンラインスペース(コミュニケーションコーナー)の提供	子育て中、介護中の女性や男性の交流の場	就職・再就職を目指す女性のための講座	ワーク・ライフ・バランスや働き方改革に関する講座	女性がビジネススキルを学べる実践的な講座	中学生、高校生を対象にした、性別にとらわれずに幅広い分野の進路を考える講座	起業を目指す女性のための講座	男女共同参画、ジェンダー、女性の権利に関する講座	
全体	1,023	29.9%	23.6%	20.3%	18.9%	16.3%	15.6%	13.9%	13.8%	10.0%	8.8%	
女性	10・20歳代	116	25.0%	21.6%	20.7%	32.8%	33.6%	18.1%	33.6%	23.3%	21.6%	17.2%
	30歳代	68	26.5%	19.1%	14.7%	36.8%	38.2%	26.5%	32.4%	26.5%	23.5%	5.9%
	40歳代	110	20.0%	13.6%	16.4%	26.4%	26.4%	22.7%	26.4%	18.2%	17.3%	11.8%
	50歳代	94	24.5%	16.0%	25.5%	21.3%	24.5%	20.2%	22.3%	11.7%	14.9%	7.4%
	60歳代	93	40.9%	19.4%	24.7%	28.0%	16.1%	12.9%	17.2%	10.8%	9.7%	10.8%
	70歳以上	194	35.6%	13.4%	20.1%	11.3%	7.7%	3.6%	5.2%	5.7%	5.2%	5.2%
男性	10・20歳代	67	25.4%	40.3%	23.9%	20.9%	9.0%	25.4%	7.5%	19.4%	7.5%	16.4%
	30歳代	35	25.7%	54.3%	22.9%	25.7%	11.4%	14.3%	2.9%	20.0%	11.4%	11.4%
	40歳代	56	26.8%	32.1%	26.8%	10.7%	5.4%	17.9%	10.7%	21.4%	12.5%	5.4%
	50歳代	83	22.9%	30.1%	15.7%	9.6%	12.0%	30.1%	4.8%	12.0%	1.2%	4.8%
	60歳代	55	45.5%	38.2%	20.0%	14.5%	7.3%	10.9%	5.5%	12.7%	3.6%	9.1%
	70歳以上	124	31.5%	32.3%	19.4%	10.5%	7.3%	8.1%	3.2%	8.1%	3.2%	8.1%

	回答者数 (n)	LGBTなど、性の多様性に関する講座	起業家や就業している女性の交流の場	男女共同参画や女性に関する情報・書籍などの収集と提供	デートDVやDV、性暴力防止に関する講座	その他	無回答	
全体	1,023	8.7%	5.2%	5.2%	4.8%	0.2%	27.0%	
女性	10・20歳代	116	25.9%	10.3%	4.3%	14.7%	-	9.5%
	30歳代	68	13.2%	11.8%	5.9%	7.4%	-	13.2%
	40歳代	110	9.1%	6.4%	1.8%	5.5%	-	21.8%
	50歳代	94	7.4%	5.3%	6.4%	5.3%	-	21.3%
	60歳代	93	5.4%	5.4%	5.4%	4.3%	-	18.3%
	70歳以上	194	1.0%	2.6%	5.2%	2.1%	1.0%	40.7%
男性	10・20歳代	67	28.4%	7.5%	9.0%	6.0%	-	16.4%
	30歳代	35	14.3%	8.6%	5.7%	2.9%	-	11.4%
	40歳代	56	7.1%	7.1%	3.6%	3.6%	-	35.7%
	50歳代	83	9.6%	-	4.8%	2.4%	-	25.3%
	60歳代	55	9.1%	3.6%	9.1%	1.8%	-	18.2%
	70歳以上	124	4.0%	1.6%	5.6%	4.8%	-	36.3%

年代別にみると、「誰でも立ち寄れる交流の場」は男女ともに60歳代で高く4割を超えている。「男性の料理、家事一般、介護、子育て教室など男性を対象とする実践的な講座」は男性の30歳代で高く5割を超えている。講座関係の事業は男女とも概ね若年層で高くなっている中で、「ワーク・ライフ・バランスや働き方改革に関する講座」は男性の50歳代で30.1%と高くなっている。男女ともに10・20歳代では「LGBTなど、性の多様性に関する講座」が高くなっている。

10. 自由記述

最後に男女共同参画社会に関して、ご意見や感想がございましたらご自由にお書きください。

自由記述意見の回答は130人(11.6%)で、意見は延べ150件である。

分類番号	項目	件数
1	男女平等について	23
2	家庭生活について	3
3	子育てや教育について	6
4	仕事について	3
5	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について	3
6	男女の人権について	8
7	男女共同参画社会の推進に向けて	33
8	アンケートについて	39
9	その他	32
	計	150

自由記述については、その内容から9のグループに大分類し、さらにそれぞれのグループ内で分類を行い、取りまとめた。また、漢字表記や用語などに関しては統一した。

1 男女平等について …… 23件

- ・男性と女性は違うのだから全てが平等である必要はないと思う (5)
- ・男性、女性の性差を認め、それぞれ個人として尊重されるのがよい (4)
- ・男性、高齢者の意識改革が必要である (3)
- ・性別による固定観念を無くすべき (2)
- ・昔に比べ男女平等である場面が増えてきた (2)
- ・女性が男女平等を都合よく利用している (2)
- ・男女の役割の不平等を是正すべき (1)
- ・男性だから女性だからにこだわる必要はない (1)
- ・過度な男女平等意識がかえって男女平等を遠ざける (1)
- ・女性の活躍によって、男性が取り残されるという認識がある (1)
- ・男女で格差があることを知らなかった (1)

Ⅱ 市民意識調査の結果

2 家庭生活について …… 3件

- ・家庭での役割は、各家庭の事情で流動的であってよい (1)
- ・男性の家庭での役割を増やすべき (1)
- ・男性は育児教室に参加し、妊娠や育児について理解すべき (1)

3 子育てや教育について …… 6件

- ・学校教育でジェンダー・LGBT・性暴力などの問題を教えるべき (5)
- ・学校教育で男子にも生理について教えるべき (1)

4 仕事について …… 3件

- ・職場で女性をもっと活躍できる時代を望む (1)
- ・企業と協力して女性労働者が子育てしやすい環境を整備すべき (1)
- ・女性ばかりの職場でも人間関係の悩みはある (1)

5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について …… 3件

- ・男性が育児休暇や子どもの看護休暇を取りやすくする施策が必要である (2)
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進のためには政府主導で会社の協力が不可欠である (1)

6 男女の人権について …… 8件

- ・高槻市でDV 電話相談窓口を設置して欲しい (1)
- ・男性の相談窓口が不足している (1)
- ・あらゆる暴力について、ひどいものは犯罪として処罰すべき (1)
- ・人によってセクハラやパワハラの受け取り方は違う (1)
- ・DV 相談において、相談者の話のみを根拠にDV 支援が行われることに疑問を感じる (1)
- ・男尊女卑の考えから、女性に対する暴力について自覚と認識がない男性が実際にいる (1)
- ・DV 等を市に相談できることを知れた (1)
- ・調査を通じてDV が存在することに心が痛んだ (1)

7 男女共同参画社会の推進に向けて …… 33件

- ・男女共同参画社会の実現を望む (8)
- ・「男女共同参画」の情報発信に工夫が必要である (5)
- ・政治の場で積極的に女性を登用すべき (3)
- ・用語や事業の内容等がよくわからない (3)
- ・政治家の男女共同参画に関する認識不足を感じる (2)
- ・民間企業等と共に男女共同参画社会を実現する必要がある (2)
- ・子育て中の女性支援制度の充実が必要である (2)
- ・多様な生き方を容認すべき (2)
- ・「男女共同参画」政策の策定に工夫が必要 (1)
- ・男女共同参画社会の実現の場としての自治会の育成が必要 (1)
- ・ひとり親家庭への支援制度の充実が必要である (1)

- ・女性が自分のことを主張できる社会になって欲しい (1)
- ・男女共同参画社会の男性のメリットや理解が必要 (1)
- ・「男女共同参画」や夫婦別姓を必要以上に問題にしている (1)

8 アンケートについて …… 39 件

- ・男女共同参画について知り、考えるきっかけとなった (15)
- ・質問項目、用語に違和感がある (13)
- ・高齢者や障がい者であるため回答が困難 (6)
- ・質問項目が多すぎる (2)
- ・調査方法に工夫が必要 (2)
- ・調査を続けるべき (1)

9 その他 …… 32 件

- ・他施策に関すること (11)
- ・特になし (6)
- ・自分自身のこと (3)
- ・その他 (12)